

Reフォオ・クローバー



目次

仮設最新更新情報

仮設更新情報履歴

2020.12.28	今年最後であります	4
2020.12.22	特別休暇が起るかも	5
2020.12.14	TENET	6
2020.12.6	やることの多い師走	7
2020.12.1	の事後報告 & デスブログ認定	7
2020.11.29	特別給付悪魔に対抗	8
2020.11.22	読売巨人軍日本一につき セール無し	10
2020.11.21	の事後報告	11
2020.11.16	閲覧数を稼ぎたいので 近藤真彦	11
2020.11.8	『毒と花道』を応援してあげて下さい	12
2020.11.2	の更新情報	13
2020.10.27	ベースボール・オペレーション・システムを阪神が導入していた！	14
2020.10.19	ブレイザーのシンキングベースボール	15
2020.10.13	「スタンカとしました」	16
2020.10.7	「スタンカとしたんか？」	17
2020.10.6	やっと「海外向けソフトを目指して」を申請	18
2020.9.30	杉浦茂以来のショック	18
2020.9.25	平沢勝栄を先に復興しなければいけない	19
2020.9.18	ヴァイオレット・エヴァーガーデンの新作映画を拝見	20
2020.9.11	ヤングな読者獲得にかける	21
2020.9.7	九月で40度越えの日が？ 今が夏真っ盛り！	22
2020	の防災訓練の日 関東大震災があった月日に更新	22
2020.8.30	から 31 ゲキチュウゲキカゲノオウジ 第六回アップ	23
2020.8.17	は 更新の日	24
2020.8.13	頃 13日の木曜日	25
2020.8.9	から 10 第五回がKindleにアップ アマゾンさんの	26
2020.8.3	はてなはてなはてな	27
2020.7.30～31	真空ジェシカ オイラのジェシカは二人もいる	28
2020.7.22	の更新していないか、した情報	29

2020.7.16 ぐらい さあ 行こう 夢に見た異種族レビュアーズへと	30
2020.7.10 から 11 にかけてキンドルにアップ	31
2020 の七夕 の更新できてるか、できなかった情報	31
2020.7.2 頃に書いている大事な更新情報	32
2020.7.1 しきりなおし	34
2020.6.26 から 27 にかけての更新情報	35
2020.6.19 開幕連敗スタート	36
2020.6.14 やっと第三回を	37
2020.6.3 ガルパン最終章の第二話をレンタルビデオ店で借りて観た	38
2020.5.22 毎週毎週更新していたんじゃないかな！	39
2020.5.15 の更新できない情報	40
2020.5.8 ヤングライオン2？	40
2020.5.1 また同じことを書く	41
四月にこういう更新情報を書いていたよ	42
eBOOK Promotion	
たけちゃんから大事なお知らせ	46
たけちゃんから大事なお知らせ2	49
いろいろと工事中	
.....	56
美恵子さんの話	58
精神という科学の分裂症	61
心の中のモスバーガー	66
.....	66
困った現象／問われる検証	68
最近の日記	
愚かだぞNHK 6.18	76
ゲーラボを読んだよ 7.1	78
めでたい 7.9	81
アオイホノオ史観 7.19	83
八月の大相撲 8.2	84
ダメ虎列伝 8.20	85
クラスメイトが「口からうんこを吐いた」8.30	87
コンティニュー、売ってないぞ 9.12	89
電子書籍製作大変だ 10.10	91
茂ジミン 10.23	93
垂と龍統の一二三っぷり 11.1	95
尿スピ禁 11.13	96
私個人はL G B Tを理解しているけど 11.17	97

アニメーター入門が？ 11.25	99
PC と LOVE るアリ 12.17	102
レタス!! 12.27	103
あり思の製作日誌 Go	
『あり思』制作日誌その十四	106
日記 『あり思』制作日誌その十五	111
日記 『あり思』制作日誌その十六	117

假設最新更新情報

假設更新情報履歴

2020.12.28 今年最後で あり ま す

「YoUNG LION3.1」では、画像一枚だけ追加。

「YoUNG LION3.2」を更新。

「YoUNG LION V」は文字情報だけ。と思ったら、「やさしい人」の広告を追加している、ようだ。

「プロモーションブック」はIV号の方、四号雑誌である、そちらを更新。

『アサルトリリィ BOUQUET』（ブーケは仏語らしくてアメリカ英語みたいにサイレント・ティーで無声化しているらしい）は、なんかアーサー王伝説っぽい。結果的なものなんだろう。アサルトのアサはアーサーの意味なのか、銃を撃つからアサルトライフル（突撃銃）のアサルトだと思う。

アーサー・ペンドラゴンが女の子だったんじゃないか、なんて文献が急に見つかった、「それ偽史じゃないか？」と、余計な事を言ってしまいそうだけど。

エクスカリバーは二本ある説、一本は折れてるという、ヴァリアントで幾つも話があるから、確定的ではないが、二本の剣を一本に合わせているような、そんな湖の代わりに深海、底（そこ）に元に戻されるような。（もしかしたら、ここからエクスカリバーが着想された・・・約三十年ぐらい前のネタ）

だから、銀聖剣も二つある。

急ごしらえでもう一本、「包丁♪ 二本 さらしに」という歌があったように。

ムーア人＝クレオパトラでブラッククレオパトラ説がある。

少なくともアラブ系で、映画のエリザベス・テーラーのせいで白人美女だと、世界中に思われている。もちろん地肌は色黒で、さらに当時虫除けかスパイスを身体にまぶしていたから、エキゾチックでエスニックな、現代の黒ギャルみたいなもの。

変な妄想するな！

ここから小さい文字指定（小さい文字にした後 この行 を 消去デリート）

「悪友」。

もしかしたら、24日で特別給付奴隸を手に入れられなかつた奴隸主さんがいたかもしれないけれど、それは気にしなくていい。

たぶんそれは、キンドルの無料配布は、日本時間の17時から、午後五時からはじめり、翌17時午後五時で終わる。はず。

まあ、クリスマスにサンタはいなかつたと、あきらめちまいなよ。

2020.12.22 特別休暇が起る かも

もう、来年の準備。

そろそろ、Puboo でも、運営の側が、決断を下す時が近づいていると、思われる。

という、縁起でもないことを書いていたら、予定が飛んだ。

PCがフリーズして、動かなくなってしまった。

それなら、電子書籍制作を断念して、新しいことをしようと、思っていたら、復旧した。（舌打ちの音が聞こえる）

それで今回、「YoUNG LION4.1」が更新されている。

今度こそ「YoUNG LION3.2」を更新。

「プロモーションブック やり直C号」も更新して、ほぼ予定通りにできた。

予定通りできなかったのが、クリスマスにガンダム本を間に合わせるつもりだったが、間に合わなかった。それはできれば、かくしごとにしたいが、来年のクリスマスに間に合うようにしたい。

かくしごとと言えば、しょ（以下、毎回同じ事を繰り返し言うボケ老人みたいなことになってきているので、割愛）

しょこたんに届いていなかったということは、届けたい人に届いてないプロモーションという、隠し事の題名通り？ 「しょこたんは大事にしない」、そう受け取られると、困るので、あんまりしないように、今年いっぱいだけに、しよう。（といいつつタマにやる。四コママンガのキャラクターたちもする）

来年、新年明けたら、新しい更新情報誌が出て、そのうち本書が非公開に。

非公開にわざわざしなくとも、いずれ非公開になる。

Puboo がダメになるかもしれないから、そのカウントが見えていないだけで、あると思う。

「フォオ・クローバー」を非公開にしたために、森口博子が夢に出てきた日記は、今読み返せない。このネタは、しょこたんのネタを封印する代わりに続けようとは、思う。

お金を払う場に、コンバート。（つまりお金を払った場なら読めるようになる）

小さい字指定

自分のモノにお金を払いたくないので、自分の電子書籍を無料で手に入れる、それとともに、無料提供という事だったけれど、結果の事後報告をすると、あんまりダウンロード数が少ないので、来年のクリスマスは無いと思われる。

昔は、横井さんの論文は 100 とか 200 とか落ちたからね。それに比べたら、少ない。

特別給付だったんだね。もらっておいて酷いと言われるかもしれないけど、COVID-19 専門の「野戦病棟」を建てた方が、武漢みたいに良かったのでは？ つまり、何か野戦病棟のようなモノを作った方がいいという事だが、そんなアイディアは思いつかない。

2020.12.14 TENET

製作資金2億ドルで『TENET』は撮られている。

最近の為替で日本円換算だと、だいたい210億弱の予算をかけている。

カナダで撮影して減税しないと、やばいんじゃないかな。

こんな予算、ウルトラビッグバジェットの超大作、危ないんじゃないのか。ギャレゴジが一億ドルで、その倍の制作費にワーナー傾かないか、大丈夫なのか身勝手な心配してしまう。

時間遡行って 刀ラブ？ 時間遡行軍？

制作陣が『刀剣乱舞』見てるかも。豊田有恒さんの本を読むと、知ってるかも。本に書いてあるので、読んで下さい。

と、言われて本を読むようなら、「本のセールスマン」を閉めていない。書評に情報流出を求めるフリーライダーが、いけないと言っても、しょうがない。

「YoUNG LION V」

「YoUNG LION4.1」

「YoUNG LION3.1」

のヤング誌を更新。

…「プロモーションブック IV号戦車」も更新。

「YoUNG LION3.1」を更新と思っていたら、「YoUNG LION3.2」に「旅館！」の四コママンガを追加して、更新。

何をやっていたのかというと、『TENET』をまだ観ていなかった。

小さい文字

「悪友」が更新されているだろう。

『TENET』は回収できたのか？ 貧しい国か国土の小さい国の国家予算並みの映画って、ナンだよ。

2020.12.6 やることの多い師走

「プロモーションブック C号」を修正。

「ヤングライオンフォーヤング」と読む「YoUNG LION for young」を追加・修正し更新。

どこを修正したかというと、「行」を「言」の漢字に誤記、変換ミスが見つかって、それなら、ジェシカの三角、Jリーグサポーターの皆さん之力を借りて開示されたデルタ情報、その部分を画像コピーし、カラーページを修正する時に紙を貼るみたいに、ペースト修正した。

ちょうど、『神話論理』の第一巻で料理の三角形のことを学びなおしていて、『あり思』第四巻に被る、内容を等しくする話で黄金のトライフォース、銀のトライフォース、鉛のトライフォースがあるんじやないか。『トリスタンとイゾルデ』みたいに、船に乗っている時に、薬飲まされるとか。

ともかく昔はうまく製版ができなくて、ああするしか修正できなかった事のマネである。

「ヤングライオン ブイ」と読む「YoUNG LION V」を修正。（5.1があるとしたら、ちゃんとテコンVになる予定 「V！ V！ テコンブイー♪ コン●トラーワンツースリー♪ フォー ファイブ テコンブイ～♪」で有名な歌）

「YoUNG LION3.2」にちゅるちゅるを足した。

「くそ四コマ漫画 三」が出ていると、いいな。

アマゾンさんのキンドルに。

ということで、「フォオ・クローバー」は未公開に。（これで「回収な」とかをやっているのも、引退に繋がっておらず、お金を払う人だけにしか知られていない、高度な第三次産業の娯楽経済活動の皮を被った証拠隠滅行為）

2020.12.1 の事後報告 & デスブログ認定

事後報告というか、『ありえない未来の思い出たち』第三巻、「バックスステージ 731」の第十回がアップされている。第六回も、修正が加えられた47頁が交換されている。47頁

目を修正していなかったからだ。肌色塗っている修正画像を作っていたのにアップしていなかった。

ともかくアマゾン、キンドルの無料マンガの方に、アップした。

キンドルの無料マンガである。

もう一回、繰り返そうか？

それで、失敗があった。

たけちゃんマンの頃のビートたけしやオリエンタルエース等のモブキャラを描き足さなくてはいけなくて、82頁が間に合わなかった。（翌日に持ち越して編集版をアップ）

「ヤングライオン3.1」に画像を足しているかも。

トカレフの資料を見て描くような、ヒマは無い。

小さい字

この日、報道にあるように、「引退」が取り沙汰された。わずらわしい、よけいなタイミングで引退した。みんな伊集院のせいだ。なんか小さなミスにすぎないことを大げさな「回収な」とか、やるから。

織本順吉さんなら「忙しいんだよ」「人の身にもなれ」と。

ついでに「神経を使うんだよ」「濡れ衣ギャグないか！？」と。（ぬれぎぬ～）

なんのリアクションもしないのも、ちょっとおかしい、気が引ける。

これがクメダルマ親方だったら、スルーしてノーリアクションで「マンガ家たちの序列を表現」されていて皆さんに笑っていただけるので、大変助かるが、かくしごと基金はマジカントみたいに幻で存在しなかったし、ショコたんの…（以下、毎回同じ事しているので省略）

カプコンのゲームを復刻してほしい。

ズームを作るかーずS Pと同じに、ここでデスブログを認定をしよう。

日本シリーズ4連敗した、原監督を認定。

2020.11.29 特別給付悪魔 に 対抗

何を追加・修正したか、ちょっと具体的に。

「プロモーションブック IV号戦車」は著作権問題がありそうな、四コママンガ二本を足して、「てづかに帰れ！」のプロモーション。

「YoUNGLION4」と「YoUNGLION4.1」を追加修正。

(for young) は前回できなかった「○●学院2」の四コママンガを一本、そしてもう一本を追加。

「社長が訊く」と「流川高校」を修正。『背番号0』にはちゃんとカツオというキャラクターは出てくる。

4.1は桑田マットがいる四コマを足した。アニ観たXも『パンダコパンダ』を観たので、そして画像も足した。

「YoUNGLION5」こと「V」は「ずんの飯尾和樹の足し算の美学 山中クローン・ウォーズ」と「思わずツイートしてみましたIV」を修正し、四コママンガはスタルヒンハイスクールを一本足した。

このように、ヤング誌なので、全年齢でお年よりもお姉さんも読む、更新情報誌的このパブリックな電書には書けないので。

令和二年12月24日に、くそマンの特別給付があり、無料配信の事だけど、更新情報誌を読んできた人向けの、お得情報。聖飢魔IIのマネだ。

マネをするといえば、「映画秘宝」で中川翔子の連載に『フラッシュダンス』をとりあげたのを、チラっと見て、あのしょこたんのイラストを元に、ライオンヘアーのライオン娘で、そういう事をしよう。

しょこたんと言えば、『かくしごと』のネタで、落語の根多の名作、何度繰り返しても面白い、

それは本当に、ラジオを聴いて驚いて、繰り返すけど、「はい、しょこたんのため～」という内容なのに、ご本人様には届いていなかった。

しょこたんのために作ったんじゃないか、と思えるマンガで、中川勝彦さんが一人で子育てしたらという、空想が『パパ・トールド・ミー』が先行しているけど、そういうマンガだと。

お父さんが怪獣好きで、娘はポケモン好きで、『かくしごと』も、遺伝子はウソをつかない内容。しょこたんをいじめているわけではなく、いじってるのでもなく本当にびっくりして・・・何が言いたいかというと、「針もぐら日記」のEXTRAに「しょこたんの話」がある。

小さい文字

しょこたんを宣伝に利用したな！？ 昔は無料で読めたのに。

「悪友」を読んで下さい。

これから、あり思のために、免疫を付けてください。予防接種を脳内に打ってください。

見事、読売巨人軍が日本一になったので、デスブログの呪いも無い事が判明。よかつた探ししたおかげだね。（事実と異なる記述があっても原監督には黙っていよう）

セ・リーグ一位、パ・リーグ七位の成績。

2020.11.22 読売巨人軍日本一につき セール無し

「YoUNG LION V」

「YoUNG LION for young」

「YoUNG LION4.1」

「プロモーションブック やりなおC号」

を追加・修正。

だが「YoUNGLION for young」は失敗した。

本書の表紙画像の生成が深夜におよんでしまって、てっぺんを越えたとかは、そこは別にいいか。「都合の悪いのが出てくる」ように、ちょっと、失敗した。

「やりなおC号」では、「花のアン杰リーク文化」を修正したが、そろそろ編集掲載版にして、本物のゲームソフトの方をプレイして、みたいとは思う。

しかし、ゲームレビューって、「男色ディーノのゲイムレビュー」ぐらいしか、あまり読んでもらえないようだ。

男子視聴者に乙女ゲー文化が浸透していなかったから、『はめふら』は面白かったのかかもしれない。

と、「針もぐら日記」に『毒と花道』の応援が載っている。

なんで、『毒と花道』を応援をするのか。

公式がこちらを発見したわけではないだろう。

ただ、女の子達が活躍する歌舞伎はシスティーナ歌舞伎と勉強会だけで、マンガではダメだったと。マンガですらダメだった、と。

（あれ）と同じようにありえない未来の思い出になったけど、それはいいよね。

よかったよかった。

よくないのは、芳文社の字が間違っていたことだ。

よくなかった、よくなかった。

よくなかった事探しなら、ひとつ見つけた。

小さい字

それで、巨人軍が敗退して、目標は一つのセリーグ優勝を達成したので、原辰則が活躍した『文章読本』をセール期間中、安売りにする。

2020.11.21 の事後報告

アマゾン・キンドルの方に、急に「バックスステージ 731 第六回」がアップされている。
無料マンガのところに、である。（無事、当日に「新しいエピソードが追加されました」
のメールが届いた）

『ありえない未来の思い出たち 第三巻』のコーナーにある。
問題がなければ、事後報告されたリアルタイム（アップが22日頃）では、閲覧可能
になっている、はず。

なんで、急に三章の六話という中途半端な回かと言うと、たった今、修正が終わった
からである。

何を修正したかというと、肌色を塗り忘れていたのだ。

どんだけ、作業が遅てるんだ。

「YoUNGLION3.1」に一枚、画像を足してみたが、ちゃんと、足されただろうか。

2020.11.16 閲覧数を稼ぎたいので 近藤真彦

広告にはあるのに、やっと「針もぐら日記」をアマゾンさんに申請した。先行的に予告
だったと、思ってほしい。「MEN'S ONLY」の日記を全て収録する予定が、あまりにも、
ページ数が多いから分割した。受理されて公開まで時間がかかると思われる。（当日に
OKになった？ どういうこと？）

「山あらし日記」が作られる、予定。そこから「年号形式」の「日記 2020（仮題）」
とか、表紙は「もぐらのクルテク」のヤツになるだろう。

「プロモーションブック IV号戦車」を追加・修正。

「プロモーションブック やりなおC号」も追加・修正

「ヤングライオン 4」は、「野球以外に興味が無いんです」という、事を足してある。
「月刊ベースボールマガジン」システム化。人生、四打数二安打、一打点。
「ヤングライオン 4.1」がやっと、アップできた。これで「光る目のたつのり」が判明
したと思われる。（日本シリーズも輝くような成績）

「ヤングライオン3」にはデス似顔絵が足されているかもしれない。何かあっても、知らん振り。

「ヤングライオン3.1」と「ヤングライオン3.2」を追加・修正した。

「ヤングライオンV」は、イケない事を、している気も、しないではない。これでサッカーファンの票を失うかもしれないが、ノーモア・ウォーの中身が女の子の心を手に入れるために雇われた暴漢たちであったという、そういう後付であると。

イタミじゃなく、キャップの方、キャプテン・小津。

と、いろいろやったけど、たくさんやると、後で都合の悪いのが出てくる可能性がある。

全部読めるか、わからないが、ともかく見てほしい。

「針もぐら日記」を。

小さい文字指定

「悪友たちが騒ぐので」をアップしている。以後、こちらを「悪友」と変更。

どこかで見たような表紙だが、何か言われたら、変更しよう。

腹の内では、何か持ってるけど、文句を言わない。

「マッチで～す」「黒柳さ～ん」以来の「オレ、もみ消せる権力持ってるから」と、ダイノジの大地くんのモノマネのレパートリーが増えた。

2020.11.8 『毒と花道』を応援してあげて下さい

「ヤングライオン3.2」に「ご説明させて下さい」が抜けていたのが、足されただろう。

「プロモーションブック IV号戦車」も、キャプションが正式に付いた。はず。「ディズニーへの不確かな返礼」も足した。

「ヤングライオン3.1」が修正されて、これで北新地が、まあいいや。

ヤング誌なんだから、企画としてヤング層に喜ばれるような、グラビアアイドル撮影会に参加して、写真を撮って掲載するという、まんまな事を考えたけど、現在の状況だと、どうしてもしにくい。（そのためあーいーことに）

「悪友たちが騒ぐので」が、上げられていない。設楽さんが後輩を「182726」と番号で呼ぶ、ナチスギャグ。

太郎先生はご病気をされたそうだが、復帰も近いらしいので、ひとまず安心である。ナチスギャグの隣に、このセンテンスは、いいのか。

小田部さんの両親は、カソリック教徒。

だから長男で羊、らしい。

生きていたら、茂ジミンを応援？　まだ売れていないぞ。あおぞら。

小さい文字

説明すべきか、花とゆめ？ 系で、歌舞伎のマンガがリリースされていて、「えっ？

公式がやっているの？　失敗したらどうすんの？　オ、オ、オイラ知らないよ」と。

例のリメイクと同じく立ち消えになっちゃったけど、いいんじゃない。

2020.11.2 の更新情報

いろいろたくさん更新していて、抜けがあるかもしれない。

「プロモーションブック C」を修正。「ノムさん」と「ドカベン」の記事には、新規は無い。

「テコンV」じゃなく「ヤングライオン V」も出た。

「ヤングライオン 3.1」は修正。

「ヤングライオン 3.2」は出た。

「ヤングライオン 4」と「3」も修正し、後は「プロモーションブック」の四号目である、「IV号戦車」は「ガルパンが好きだから」という理由で名づけられている。

なんで「なんでガルパンが好きなんですか」と言われたら、「ドカベンみたいだから」と答える。

さらに、「なんで、ドカベンが好きなんですか」と言われてしまったら、「そこは質問の意図がちょっとよくわからない。ドカベンだからであって、ドカベンが好きじゃないです。大事な事だから、ドカベンが好きじゃないです、よっ」と、正式な事を伝える。

戦車兵のイラストは間に合わなかった。

ビッグ・ザ・戦車道の中身の人が、IV号っぽいのに乗っている戦車長だね。

そういえば、忘れていたけど、「くそ4コマ漫画 二」、Amazonに申請している。

タイトルページのセリフ通りである。押見修造さんの『アクの華』のキャラクターがセリフを言っている表紙を真似した、事にしよう。

すぐに公開OKが出て、「えっ？　いいの？」と、「なんで日記の方が時間かかるんだ？」と、首を傾げた。

詳細情報中「くそマンシリーズ」が無く、翌日に修正した。

情報流出のコーナー！

奥山パートナーに原画を持っていったら、紙を裏返されて光で透かされてデッサンがちゃんとしているか、チェックされた。この小田部さんの証言から、手塚も苦しめられた東映動画の人々に「デッサン力が無い」と言わされたのは本当であると、傍証がとれた。

小さい字指定

まだ、「コンティニュー」、売れ残っているのかよ。

抜けは、「IV号」のキャプションや、「3.2」の「説明」が丸々抜けている。

2020.10.27 ベースボール・オペレーション・システムを阪神が導入していた！

巨人優勝、おめでとう。

のビーチフラッグをフライングで取る！

ところが、ソフトバンクの方が晩に優勝して、そっちのフラッグをとりに行けばよかった。

画像が追加されている「ヤングライオン 3.1」。

「ヤングライオン for YOUNG」は、修正。

容量が多くなってきたので、「4.1」の準備中。「光る眼」のマネして「光るたつおり」である。

「プロモーションブック やりなおC号」

は、まだ「野球読本は売れてない」が二回、コピー&ペーストの失敗が、直っていない。サクをモデルにしたキャラクターに、あの「〇〇〇は弱いんです」と言わせたいけど、それは世界各国の人たちに「ファタアアア」と鳥啼き声を発声させるから。「プロレスラーは強いんです」はOKだけど、ソレは言っちゃうと、中国から刺客が「贈られて」くるようなまずい発言で、『サラリーマン球団社長』は、本当は『阪神マネーボール』だったという話をどこかで読んだ。

ベースボール・オペレーション・システムを阪神が導入していて、現場のスカウトが無視して、それで日ハムにビリー・ビーンみたいな人が、移籍してヒルマン監督のもと、球団を変えていったそうな。

「そうか。

プロ野球選手は歯首に出来ても、スカウトはできないんだ。

それがメジャーと日本の違い、なのか」

と、感想が漏れた。

連載をとびとびに読んでいたが、清武さんは我々の宇宙にショックを与える存在だ。

何度も書くと思うけど、私の「ベースボール宇宙にショックを与えられた」

ノムさんが阪神タイガースでぜんぜん勝てなかったのに、死後もてはやすような、そういう気分にはなれず、死〇するようなマネまでして、『サラリーマン球団社長』に清武革命を見た。

SHINJOH が、新庄くんがドラフトに指名されなかった。

新庄くんのこの一年は、何だったんだ。

パ・リーグの方に球団が増えて、日拓ホームライヤーズみたいな球団に、川崎宗則とか鳥谷とか楽天球団一年目みたいな、選手がプロ野球をやめたくないロートルばかりの東京メッツ、みたいな球団があればいいのに。中国資本でなんとか、60 億のみかじめ料を払って、それは水島新司の脳内世界でしか、実現できない。ティモンティ高岸くんとかも指名して、パイレーツを。

ダメ拡張思想。

新庄じゃなくて、便乗させてもらうと、

「ゴトチヒの野球読本」

を、読んで下さい。

「新庄君のウルトラポジティヴ」もあり。

2020.10.19 ブレイザーのシンキングベースボール

「ヤングライオン 3」で、スタンカとしたんか？ の秘密がわかる。

「ヤングライオン 3.1」で、何も秘密はわからないが修正。

「ヤングライオン for YOUNG」は、修正。

「プロモーションブック やりなおC号」もいろいろと修正。

「くそ四コマ漫画 一」をアマゾンさんのキンドルに、配信できるか、微妙な線である。と、思っていたら、今日中に公開OKが出た。「あの、くそマンガを～？」と、だったらナンでもありになってしまうぞ、と。さらに検索ワードに「擬似うんこ製造マシーン」がありだから、キンドルを汚している。（Puboo を汚してもなんの良心の呵責も感じないけど）

小田部さん、大学時代に、学食のアルバイトしている一年先輩の人にたくさんキャベツをおまけをしてもらったが、この方が東映動画に入社していたらしい。

どこから、情報が提供された。

東側諸国なら、「同志を裏切った」スパイ行為で銃殺刑。

小さい字

「悪友」を更新と書いて、わかる人は私の【悪友】。

もうツーカーである。

まあ、皆さんも残念な事に、「悪友」はダウンロードデータファイルがセーブできなかった。更新内容を閲覧して確かめることができない。

ちょうどよかった。

GREENBOOK2 に収録や「テキストのゴミ捨て場」にコンバートして、あのシリーズも非小説なんだけど、小説として Pixiv に。

ということで九月 25 日の更新で打ち止め。

こういうことは、これから何度もあると思われる。今まで何度もあった。

そして、こういうことがあるから、Puboo で「ありえない未来の思い出たち」のシリーズの続きを掲載できなくなったんだよ。

文句があるなら、Puboo に言ってください。

としか、言えない状況下にある。

2020.10.13 「スタンカとしました」

いつもの如く、

「プロモーションブック やりなおC号」

「ヤングライオン 3.1」

「ヤングライオン for YOUNG」

を修正している。

と、まるで、先週の更新情報のように、なってしまったので、順序を変えただけになっている。

「ヤングライオン V (ブイ)」をもう、用意しないといけない。

「月刊ベースボールマガジン」にはお世話になっているというか、「野球読本」でお世話になったから、とても言いにくいけど、2020 年九月号の 61 ページに、思いっきり「なつぞら」を「あおぞら」と誤植があり、えのきどいちろうさんの書いたところで、朝ドラを観て「なつ」と毎日内村さんの声を聴いていなかったのかと、それは言わないでおこうか、どうしようか迷ったが、メモとして残しておこう。

メモである。

あくまでもメモ。

モデルとなった人のパートナー小田部さんは、これをどう思うのか。「なつぞら」のパロディなら許してくれるのか。大川博の「東映動画はディズニーのアニパロを目指す」は、本当に正しいのか。（一部誤記あり）

上島という名字があるなら、南海ホークスに島下という選手がいないかな。

「スタンカと島下、泰典（仮定名）」だとオチるんだけどなあ。

スタンカと野村がバッテリー。

ノムさんの話では、キャッチャーがマイナスでピッチャーが投げてプラスだからバッテリー、だとさ。

2020.10.7 「スタンカとしたんか？」

いつもの如く、

「ヤングライオン 3.1」

「ヤングライオン for YOUNG」

「プロモーションブック やりなおC号」

を修正している。

不都合がなければ。

「海外向けソフトを目指して」の公開OKは、まだか、今かと、待ちわびていたが、72時間かかると、言われている。

情報が増えてない。

申請は昨日のことで、まだかかるのだろう。

(後でメールチェックしたら午前二時過ぎ「4-06」と午前四時過ぎ「5-01」に来ていた)

倒れた青木くんに「もう一発あてろ」とカープの人たちの誰かが言って、広島ヤクザな本性が出て、こんな行幸に与れて、うれしい限り。

ただ、たつのは「あれでは子供ちゃんのような野球になっている」と、いつもの独特な古大将的発言に『仁義無き戦い』のテーマ曲が脳内でかかる。(違う事で言ったけど)「神輿だけで動けるモンなら、動いてみいや！」

「珍プレー好プレー」が楽しみな、話題である。

中居くんに代わって、観なくなつたけど。

小さい字指定

「俯瞰の男」はアマゾン・キンドルで1100円を330円にちょっと安くしたけれど、無印良品の品を百円ショップでほぼ同じ物を手に入る雑誌の特集みたいに、お得情報だと思つたら、ぜんぜんお客様が手を出さない。つまり客はない。フリーライダーグらいしかいない。

日記も無料配信していて、これはあれも、銃四輪忌が終わるまで。

終わるまでの辛抱。

『仁義無き戦い』は野球賭博の話もあるが、それとこれとは関係ないマルキ・ド・佐渡高ががんばる甲子園大会には「神輿」という選手が出てくる。

2020.10.6 やっと「海外向けソフトを目指して」を 申請

こういう一連の更新情報誌では、事後報告になってしまふキンドルの無料マンガに、「ありえない未来の思い出たち」第三巻のラストチャプターと言っていい「海外向けソフトを目指して」をアップロードして、後は公開を待つばかり。

このように、「ありえない未来の思い出たち」のシリーズは、ずっと無料マンガに掲載していた。amazonさんは基金から、お金が出るので、それで一応経費を貯えない。セリフをプリントアウトして、それは小銭がかかっているが、貯えない。そんな紙でセリフを調べてみると、それでも誤字脱字が多い。

ついでに、「劇中劇影の王子」の第六回も修正し、リア王がコーディーリアを持ち上げるシーンも追加。

といつても、針子姫と影の王子だけど。

スマブラでも、この技を使うのを忘れていた。

先月の「芸術新潮」（9月25日発売）が出るまで、ネームが完成してなかったのか？

と。八月三十日から、なんでこんなにページ数も少ないので、時間がかかってしまったんだと、思われるかもしれない。

「時間を…かけたんです」

72時間以内に公開されると、思われる。

著作権問題は、大丈夫。

なんだけど、「TEAM 発砲・B・ZIN の頃のきださんの戯曲は著作権問題でいろいろと交渉しないといけません。」をカットして、さらに実銃が「150ドルで買えて、モデルガンよりも安い。」というのも、カットしてしまった。

スペースが余らなかった。というわけでもないのに。

完成を急いだ結果だ。

2020.9.30 杉浦茂以来のショック

「ヤングライオン3.1」という、意に沿わない本ができてしまった。

「ヤングライオン4」こと「for YOUNG」も、修正。

親方に言われる前に先回り。

「マルキ・ド・佐渡高 高校野球編は面白いよ。自信があるんです」

「ゴトチヒの野球読本」（宣伝）でも水島新司の小ネタで触れている。宣伝で高校野球編が始まったんだから。

苦情なら、アマゾンのカスタマーレビューで言ってくれ。

「プロモーションブック やりなおC号」も追加はあるのか、修正はした。

やっと、「針ねずみ日記」がKindle公開で、48時間以内じゃ、なかったのか、と思った。

本当は処理をして、ちゃんと30日に公開したかったが、一日前倒しの29日になっている。

「コンティニュー」の情報流出コーナーで、小田部さんは大学で日本画を学んでいた。神武以来の天才という言葉があるが、杉浦茂の以来の天才。

2020.9.25 平沢勝栄を先に復興しなければいけない

「ヤングライオン3」に四コママンガを追加。

あまりにも、容量が多くなってしまったので、3.1を作る構想が出来てしまう。『初恋の来た道』を「映画を観た」のコーナーでとりあげたけど、ダウンロードデータファイルの容量が多くて、検証で一回見たら、すぐ端末内のファイルを削除した。

「ヤングライオン4」が修正・追加。

あの表紙がデス似顔絵になると、問題じゃないかと思われるが、逃げ切り優勝できる貯金が十分あるから表紙にできる。日本シリーズはどうなるか、わからない。「熱盛」のコーナー、無くなったら何を言っているのか、わからない。顔が「あつもり」というか、「たつおり」というか。

「プロモーションブック やりなおC号」も追加・修正。

「プロモーションブック やり直C号」じゃない。

「リンガンの習作文がところどころ載っているよ」は、何度か継ぎ足しや修正している。黒歴史書の写本を見たことがあるから女型ジェガンを見て「セント・マルタか」ま

で、まだ書いてない。ジェシカも隠れて写本を見たから、「ジェシカはそれを-G-と呼んだ」がある。哨戒時に見かけて、思わず呟いてもいる。

どうでもいい事だと、この間まで左用ベースを下げていたひばりくんがデスクトップの背景画だったが、今は写真撮影したひふみ。「ウヒョーー」の加藤の方じゃなく、きらら展で手に入れた new game なひふみ。

私は「野球少年」を出していた頃から、芳文社がひいきだから。（歴史修正主義）かくしごと基金を、また使ってしまった。

「劇場版！ 永遠の庭」

よかったです、聞いてください。

アマゾンのキンドルで「パブパブ」までの日記をまとめた「針ねずみ日記」を公開したかったが、公開出版OKメールが本日中に届かず。

小さい字指定

「悪友ども吼える叫ぶ木靈する」もちょっと修正。

阿久悠！ ビートたけしさんが言ったことにしてほしい「平沢勝栄が死にかけている」「あれをまず先に復興されるのが大臣の仕事だろう」「デジタル庁に行って身体を作り変えて」「サイボーグになって、また政界時代劇」テレビにタックル。

2020.9.18 ヴァイオレット・エヴァーガーデンの新作映画を
拝見

「ヤングライオン3」と「ヤングライオン4」が修正されている。

どちらかの表紙が変わったかもしれない。

「プロモ」のC号も修正。「アシタカパッション」や「ガンダム本のこと」を修正更新したはずだけど、意外にうまくいかなかったりするから。

その時は、更新できていなかった、ということになる。

『変ゼミ』というマンガで、「全部お母さんのせいにしたい」という言葉があったけど、「全部Pubooさんのせいにしたい」と思う。

音響的に生きている。

あのね、『少女終末旅行』でおじいさんは、液体が入った内容物が割れるような音がしているから、確実に脳漿が飛び散って死んでいる。“少佐”はその音が鳴っていないから、生きている。

音と言うのは、家電芸人が話題にしたのを、前に引いたように、テレビモニターの画質を上げる事が難しくなってくると、音響まわりを良くするといわれる。つまり、視覚的クオリティーの天井、壁に突き当たったから、音が異常に良くなる。

シェルショックになりそうな音。

小さい文字指定

「いろいろな事情により、ポケモンショック以後みたいに、画面から 30 メートルぐらい離れて読んでもらいたい」

「阿久悠」が更新されている。

「カベギわになんたら♪」みたいに、「Puboo で掲載されている間に～ 見て読んでくれ～♪」で、GREENBOOK2 に書評が。

2020.9.11 ヤングな読者獲得にかける

「ヤングライオン3」が修正されている。

「ヤングライオン forYOUNG」がアップされている、はず。「一行メールのコーナー」をコンバート予定。これで設楽ナチスが大暴れできる。

「プロモーションブック」のC号は、少ししか、修正は無い。「ドカベン読み直し」に佐久間象山のギャグを入れたけど、門下生に教えていたギャグではなく、『風雲児たち幕末編』でやっていたネタである。

太郎先生、大丈夫かなあ。

新しく、「映画批評」の本を作り直した。けっこう誤字が修正されている、はず。

「野球読本」も直っている。

amazon の kindle の話だが、元データは Puboo さんで作っている。

後は、Kindle の無料マンガに「シルエットアクター第 11 回」がアップされて、いる。
(九月十一日の日付で「新しいエピソードをアップしました」のメールが来た)

事後報告。

銃四輪忌まで『俯瞰の男』を、ちょっと安くしてみた。安いから買うというのは、無かろう。

小さい文字指定

「字を小さくする指定ができないので、ポケモンショック以後みたいに、画面から 20 メートルぐらい離れて読んでもらいたい」

「悪友」が修正されている。

2020.9.7 九月で 40 度越えの日が？ 今が夏真っ盛り！

「ヤングライオン 3」

と、

「プロモーションブック やりなおC号」

を、いつもの更新。「悪友」は修正していないのでは？

いつも省略しているが「悪友ども吼える叫ぶ木靈する」を「悪友」としている。わかりきっていることだが、阿久悠のことではない。

音楽著作権が厳しいので、いいづらい。

歌のタイトルの「夢光年」とか、ピンク・レディーの「UFO」とかしか、言えない。

木久扇がクロスワードパズル的お題で、小道具のパネルを渡されて真ん中に「口」があって、タロウとジロウをクロスさせるネタを言いたかったのだろうが、長男を「ジロウ」と言ってしまう。長男が「タロウ」で、次男が「イチロウ」とか、腹黒い三男が「ラクタロウ」と言ってから、こん平で～～すと、言うのが昔の『笑点』。（ここではできない「珍三郎」のネタも思いついているが、さすがにここではできない。寝そべっている方が亡くなられた歌丸師匠で膝についているのが楽太郎だった現円楽）

夏の暑さに、木久扇もオーバーヒートである。（影で「ボケ老人がっ」と、言ってはない）

いずれ、「くそ4コマ漫画」という企画本が出るはず。

もちろん、アマゾンで。

蛭子さんが地方に行った時、「ほらジロウ、蛭子さんが来たよ。写真取らせてもらひな」とおじいさんに呼ばれて出てきたのが、犬だった話。

2020 の防災訓練の日 関東大震災があった月日に更新

「プロモーションブック やり直C号」には、いろいろ加筆修正。

いろいろ、企画として「アシタカパッション」をしようとは思う。（理由 心の中の悪いチヒロに負けた）

もう、「ヤングライオン forYOUNG」の用意、これは情報を出すのがまだ、早い。フライングである。

画像を入れると、事の外、容量が多くなってしまったので、すぐ新しいのに切り替えないといけない。

「ヤングライオン3」に4コマのページが足されている。

広告板、広告看板のネタ、こういう場でしかできない。

青木雄二のマンガの街中みたいな、広告主を怒らせることになるから、広告はいじっちゃいけない。まあ、いいのである。

怒らせておけば。

「“モワ～ア”の擬音の使い方、おかしいじゃねえか」

と、ドカベンファンに言われても。暑い甲子園の最中だから、どうしても、“モワ～ア”と出るのだよ。

小さい字指定

裏表紙でおもらしを箔押し指定している「悪友ども吼える叫ぶ木霊する」をちょっと修正。（できれば箔押しの前に金粉をあしらって…ギャグマンガの単行本の装丁みたいにやりすぎ）

いらいな！ いらない情報かもしれないけど、銃四輪忌の期間には、いつものように無料提供する。

2020.8.30 から 31 ゲキチュウゲキカゲノオウジ 第六回
アップ

なんとか、「劇中劇影の王子第六回」をアップ……できていたら、いいな。

物撮りしてページ修正、そして、もう一枚ページ埋めの水彩画を足す。

ページ数が少なく今月末までという、一応の自主的な締め切りがあった。

マリアちゃんを描くつもりはなく、だけどチャプタータイトルが「影の王子」であるため、針子姫が出てこないと締まらない、と気づく。

急遽出す。（それで青い服着ている）

今年は去年に比べて、真夏日が続かなかった。これから残暑は苦しいかも。

去年は七月の中旬あたりから記憶が無い。

成井豊さん、ホンを依頼したら、ちゃんと書いてくれるかな。

カリ城好きで、当然宮崎駿が好きに決まっているが、どう考えてもブタちゃん（スタジオジブリ）をいじっている人から脚本依頼されても、断るんじゃないかな？ 実現するようなら、そもそも、スタジオジブリの脳から、ストローで吸ったりしないから、大丈夫！

はじめから依頼しないや。

最後、ちょっとナウシカっぽくとか、言わなくてE！

小さい字指定

わくわく〇とは「わくわくするようなおみあげ」の「〇」のことでは、本当はなかった事に謝罪。悟空の「オメエつえのか オラ わくわくすっぞ」のわくわくでもない。オメエの〇でもない。

ドラゴンボールハラスメント！

「これはクリリンの分！」って、南海キャンディーズがしていたのは、ドラハラだったんだ…知らなかったんだ。

2020.8.17 は 更新の日

「ヤングライオン3」に追加があり、「プロモーションブック やりなおC号」には、「ドカベン読み直し」が少し、書き足されている。

後はとくに何も。

そういえば、『打ち上げ花火（中略）シャフト度から見る！』が金曜ロードショーで放送、7日だったか… 14日はトトロのはず。（となりのシャフト？）

うっかり忘れていたわけではないが、何かしようとは、思っていた。

『YU-NO』のテレビアニメの放映に合わせたプロモーションの本が、キンドルにはある（データとしてまだ残っている）のだが、映画のテレビ放映を期に、再公開をしようと思ったが、キャプションを書き直すのが、めんどうだから、シャフトだから。

再公開しなかった。

これが京都アニメーションだったら、「なにかしよう」になる。

差をつけている。

小さい文字指定

日刊サイゾーの記事では、悪く書かれているけど、そんな悪いものじゃない。消費税分のサービス。だけど、「アイム は 京アニフレンド♪ ノット シャフトフレンド♪」…怒られるだろう。

今日は更新していない「悪友」でも書いたけど、『YU-NO』はロト三部作が川上で、というのは、そもそも言わずもがなで、皆わかっていたはずだ。もし、壁の内側ですら、語られていなかったら、それはどうなんだろう？ それで『YU-NO』の評価は高かったというのは、本物の質だったのか？

「ドラクエ研究指針」で、もうドラクエ研究打ち止め。

2020.8.13 頃 13日の木曜日

「プロモーションブック やりなおC号」はなんとか、なったと思われる。

「ヤングライオン3」は、一日前倒しで、『虐殺器官』と『アメリカン・スプレンダー』が間に合わず、掲載できなかった。（12日に更新したから）

チチさんもスポーツさんもやったことがないゲームの話題。

15が初週百万本売れなかったのに、三日で百万本売れたFリメイク7F、「ゲームラボ」の記事を読むと、今後の展開が危ぶまれる。

ひがもえるさん経由の話では、ゲーム業界のノムさんは「エアリスは死にます」と、変えないらしいけど、セフィロスに殺されなくても、メテオをなんとかするために、命を賭してホーリーをするから、結局同じ。（エフ10Fの焼き直しなノムリッシュ）

分割にするから悪い。

連載中のマンガみたいにオチを勝手に想像されて、掲示板に書かれて考察されて、ネタ潰しされる。

ゲームは秘密裏に作り、リリースされた後「それはネタバレだ」と言われるから、よかったです。連載方式的な分割をしてしまうと感想とか書いてたら、ついラストを想像して、的に中ってしまう。これもあるけど、ともかく考察厨というか、ネタつぶしの考察魔というか、それ（の想像）を越えないといけない。

「サイレント・エフェクト」が十年の時を経て「シー・ドーターズ・ボイス」をリリースしても、ネタ潰しができない。（リリースはされないけど）

トレジャーにはおみあげに「ガン・アウトロースター・ヴィランズ」を持っていくよ。おみあげが「わくわくO」なんだから。

小さい字指定

悪友だから。「悪友」を更新。ファイナルファンタジーをプレイした事が無い人には、情報のフォローをすると、ホリケンが他人のズボンのベルト付近を掴んで、「ホーリー！」ってやるだろ？

あれ。

それをエアリスという女装家がする。Fリメ●ク7Fといえば女装と言われているのは、ヒロインが女装家だったという、ミツ・マングローブみたいな話で、そもそもシナリオがおかしかった。「なんで、ホーリーを放てるのか、辻褄合わないじゃないか」と。もちろんオチは「うるさいわねアナタ！ ●るわよ」と苦しい駄洒落。（ホーリーじゃなくてホーモーだったんだね）

わくわく〇とは「わくわくするようなおみあげ」のこと。

2020.8.9 から 10 第五回がキンドルにアップ アマゾンさんの

本当は、六月末には、アップしないといけない。

「劇中劇影の王子第五回」がキンドルでアップされている。

『アクタージュ』の原作者が女子中学生に、性的事件を起したという、たしかマツヤマヒサシだっけ？（マツキタツヤ！）

メソード演技、これについては、百年くらい前に出来たモノだから批判点が多い。だいたい現代日本の劇団は、基本は非スタニースラフスキーシステム派が多いはず。

悪口になるから、ずっと作品を読まないでいた。

マンガでは、かわぐちかいじの『アクター』を読めばいいのだから、別に読まなくてもよかった。

『アクタージュ』について、なんか書いていたら、デスブログになっていた。

これが、ジャンプイズムだよ。

松山洋の言動だよね。

女子中学生に性暴力を働くのが、ジャンプイズムだった。

「イエス ロリータ ワンタッチ」

「アウト！」

ただ、人気作の後乗りしていただけなのが、棚橋の「ストロングスタイルは存在しない。ただの言葉だけだ」と、つっこみ待ちだったのか？ ジャンプイズムなんて呪いだよ。

都合が悪いものだけ、切り離すのか？

ジブリイズムも、そもそも子供向けで作られたアニメだから、いずれ卒業する。卒業してほしくないのは、トシちゃんのプロデュースで観客動員数を稼ぐためだ。ビジネスなんだよ。

きららの軍門に下れ。

京アニに魂のよりどころをあずけろ！

2020.8.3 はてなはてなはてな

「ヤングライオン3」を主に、更新した。

りんごの木には、電球の球はならないけど、あのマンガはメルヘンだから許してほしい。

「お許し願いたい」

野球マンガのパロディ、『すすめ!!パイレーツ』みたいになった。

社長さんは、ちゃんと部下にあの構図になるように、ポーズをとらせていた。

「プロモーションブック C号」の表紙画像を用意したのに、忘れていた。設定に記録し忘れた。

更新はしたので、閲覧はなんとかできる。

画像を入れると、ダウンロード用のデータファイルがセーブできない？ と思ったら、同時にデータファイルの保存をするなどか、作った理由じゃないか、みたいなことを「問い合わせ先」に言われた。

何か操作を誤ると、すぐラットトレーシングが起るしよう（仕様）。

「それは怒るっ、しょう！」

と、小林よしのりさんみたいな、高信太郎のサルに枠線を引かせて「猿のわくせん」とか、サルがオナラをして「サルのはくせえ」という、モノである。

新しくよしりん語を募集するらしい。私は奥ゆかしいので、何も送らない。（来年あるというゴー宣道場の新潟地方開催にもたぶん行かない。俺唯のライブに行かなくちゃ。結局どちらも反故）

小さい字指定

「悪友」は少しだけ。

時間が無かった。あの魔法使いのお姉さんのループするドットグラフィック、いいのになあ。

本当はマロールではまるネタ、普段はできないアライメント悪…もうリニューアル前に戻してほしい。魔法があって、リニューアル前に戻れたらなあ。

2020.7.30～31 真空ジェシカ オイラのジェシカは二人もいる

「ヤングライオン3」は更新している。

今までの横本通りの作り方ではなく、ヤング層向けの本と言うコンセプトを引き継いで、なんか、横本じゃなくなった。

画像も解像度 1000*1600 で作りにくくなった。データ量が「ハンパなく増えてる」と。「ヤングライオン3」はページ数が少ないので、もう 20 メガバイトに届きそう。

これは報告していなかったけど、Pixiv の方で Puboo の悪口じゃなくて、「ヤングライオン2」こと「若い雌獅子のための横本」が章で区切って、公開することになっている。

PDF のダウンロードデータでリーダー系アプリで読めず、Pixiv アプリで読めば、今までの読感とほとんど同じに読めるので、そちらにアップした方がよさそうだと結論。

はっきり言うが、悪リニューアルのせいで、とんだとばっちりだ。

スマホ時代なのに Puboo アプリが無いのは、大問題で、それは運営の問題だから。スマホで読みたいなら、キンドル・アプリで見ろと言うなら、

「それなら直接アマゾンのダイレクト・パブリッシングがいい」

と、いう事になる。

Puboo だけ、Pixiv だけを見る人は、「影の王子」第四回を見ていない。

だけど、これでいいのかもしれない。

テレビ視聴に例えると、チャンネルが違う。裏番組はチェックしない。視聴率調査ではビデオ録画はチェックされるが、こうしたビデオユーザーの事を考えて番組作りはない。

もう Puboo がもたないと考えているから、Kindle に脱出しないといけない。たしかに手続きは面倒だけど、それは Puboo の会員になる手間に比べたら、そんな差は無い。

後は、

「プロモーションブック やりなおC号」

は、どうなっているだろうか。

いろいろしていて、それよりも、コミケが無いのに太郎先生が『風雲児たち』を休んでいて、ご健康が危惧される。

また、ちょっと「野球読本」を修正した。

と、快調に更新できるかと思ったら、

「大間違い！」（100 デシベルで近所迷惑）

だと。

閲覧できない。なぜなら、ダウンロードデータの保存が出来ない、更新後の編集情報報を、データファイルの保存できない！ 正確にはダウンロード用のデータファイル（PDForEPUB）が保存できないで、ここまで書かないと運営側に伝わらない。

また、同じような不具合が出た。

問い合わせると、また、

「何言ってるか、わからないです」

みたいな事を返信される。

玉さんのマンガの住人でなくとも、腹を立てるとと思う。

何度も同じことがあって、何度も同じ問い合わせをしないといけない。

いつものことになってるから、

表紙画像も、自作画像は「PNG/JPG の形式」と書かれているのに、PNG しか受け付けない。これ、プレミアム会員でないと、ダメだったっけな？

小さい字

「阿炎～にできることは♪ キャバクラ通お～い♪」と替え歌を歌っていた。

阿炎はもう有名人だから、有名人の悪口を言うと、私のプロフィールに書いてあるから。

もしかしたら、「深夜のカウボーイ」で同じネタ、「思っちゃったんだからしょうがない」のコーナーであったかもしれない。今週の放送 は 聴いていないという、歴史修正主義。

2020.7.22 の更新していないか、した情報

前倒しになり、21日に更新していた。

「ということで、いろいろ更新したよ」

「悪友」のことはいいか。

「プロモーションブック やりなおC号」をアップした。

三号雑誌である。

表紙に用意した 1000*1600 がなぜか受け付けない。

JPG なのに。PNG でやってみよう。

二つしか、「タカハタ・イズ・デッド」が無料提供で、ダウンロードされなかったから、高畠人気が窺える。

やはり、高畑では商業的に苦しい。

『赤毛のアン』も『じゃりん子チエ』も広告主がお金を出している、無料媒体だからなんとかなっているのかもしれない。

今号の「アニメージュ」でも富野監督が師匠と高畑勲の死後に、言っている。義理を欠かさない人だから、ちゃんと宮崎と鈴木敏夫に断っている。

たしか、似たようなこと前にも書いたはずだけど、「美術手帳」の鼎談で、剛さんの『テヅカ・イズ・デッド』から「タカハタ・イズ・デッド」だと、言っていたはず。

それは「大人になったらジブリを卒業しなさい」の副題だから。

（心の中で悪いチヒロが「早く宮崎駿が亡くなつて、その特需を見込んだ電子書籍が売れないかな。デス似顔絵のコーナーに描いたらどうなるんだろう？」と思っていない）

2020.7.16 ぐらい さあ 行こう 夢に見た異種族レビュアーブヘと

できているか、確かめてほしい報告。

「ヤングライオン3」はどうなっているか。

「ご説明させてください」というか、いいわけが載っているか。

もしかしたら、アップデートに失敗しているのか、脱字を発見できるかもしれない。

「ゴトチヒの野球読本」は電書データを新しく一から作り直し。

このため、予定していない事をしなくてはいけない。

「レジェンダリーデベロッパー」も未公開に。

小さい文字

「悪友」は調べなくても良し。うつぶせがあおむけに直っていても、そんなこと情報としているらしい。

JASRACに「ガンバの冒険」の替え歌、著作権登録したい。

昭和の名作アニメのオープニング曲は、だいたいイントロ・ザ・ジャイアント。うまくいえないけど、「宝島」の替え歌も、エハラマサヒロが歌うといいんじゃないかな。

「行こうぜ楽園」は『宝島』の主題歌の“島”が“楽園（ニヤンニヤンパラダイス）”に代入された曲。

2020.7.10 から 11 にかけてキンドルにアップ

「劇中劇影の王子」の第四回、そのタイトル名を入れ忘れた表紙画のモノが 10 日の深夜に手続きして投入後、11 日の夕方近くになって、公開OKが出た。

歌舞伎役者が面白い顔グランプリをしているという批評。歌舞伎は『トリオ・ザ・パンチ』であるのか、そんなこと言っちゃいけない。「によき」とか「呪ってやる」とすっぽんから出てくる。コンティニュー画面が白粉で塗られた役者。（ピエロだろ！）

プロ野球死亡遊戯の人（中溝）の（原）辰則は面白い顔グランプリしている説、十字ボタンをレバガチャ（死語・指先の眩暈の一つ）、Aボタン高速連打、トリガーボタンが外れるんじゃないかというぐらい押しまくる。

したの名前を呼び捨てに、ついしてしまう。

そんな先週、新日のプロレス生中継があったのに、（棚橋の発音で）ヒロム対オカダ戦が勝負が着く前に放送が終わるという、「東京ポッド許可局」で鹿島記者が局長（ハチミツ二郎）と話題にするような、生中継の醍醐味である。

ということで「週刊ファイト」のような飛ばし記事。

七月 18 日午後五時から 24 時間以内だけ、京都アニメーションの 7.18 だから、「タカハタ・イズ・デッド」が支障さえなければ無料で読める。（支障が出ると思うので 24 時間も無料提供の時間が無いはず。そんなタダで読ませたくない）

七月中旬に「PickUP 文章読本」が、無料提供。

七月末日、「ドラクエ研究指針」が数日間、無料提供に。Pixiv に複数同じ記事があるから、そちらを読めばいいのでは？ ドラクエ批評をしたから「ロ・トリロジー」があるのは、なんとなく、おわかりいただけるだろう。

2020 の七夕 の更新できてるか、できなかった情報

いろいろした。

忙しいので、事後報告。

んで、その事後報告だけど、「Win10 でグーグルクロームでやれ！」と言われたから、やってみたけど、やっぱり「若い雌獅子のための横本」は新エディターにならない。

問い合わせの返答が、見当違いなアドバイスだった。

この「新エディター」の長音、そもそも誤字なんじゃないか？

「悪友」を編集して、ダウンロードデータが出来た。

だから閲覧可能。

「YoUNGLION3」も 1000*1600 の画像に張り替えてみた。

そして閲覧可能。

今回は、成功率が高かった。

もうちょっと、がんばれたと思う。

読者さんには、「ダウンロードデータがどうしても、保存できない」ということがあるかもしれません、それで更新が閲覧できることもあると、ということである。

2020.7.2 頃に書いている大事な更新情報

『若い雌獅子のための横本』は、結論を言うと、直らない。

直してもらえない。

もう、直さなくていい。

今後、再編集することはない。それは仕様が変わったから、724*1024 が一頁大にならない。

リニューアル前の、この間はダウンロードデータをセーブできなくなったのは、問い合わせたらすぐに直った。

リニューアルにしてから、旧エディタでは再編集後、ダウンロードデータを保存することが仕様のため、できない。まず新エディタにしなければいけない。

その新エディタにするためには、今までのデータ（テキスト・画像・章構造）を変換しないといけない。それで『若い雌獅子のための横本』の編集ページで新エディタにするボタンをクリックしたら、今もデータを変換中だ。

三ヶ月間も。

この変換プロセスで、ラットレーシングが起きていると判断している。

その原因はソースコードを読まないとわからない。

ずっと回りつづけている。

三ヶ月間も。

何度も運営側に問い合わせるのが、もう面倒だ。

運営サイト管理側になんでも文句をつける不良会員だと、勝手に思われるのは、イヤだ。すごく文句を付ける人なら「壊れている」と感じて、そのまま言う。バグか何かあると、すぐクソゲーと言う。

イヤがらせの線も、勘ぐってしまった。

いろいろ書きたい事（「手間かけさせるんじゃねえ」とか悪い言い草）もあるけど、推奨環境がWin10でグーグルのクロームを使え（ずっとクリームだと思っていた）と、あんまり言いたくないが、「FIREFOXの編集じゃダメになったか」と。「スマホで編集できねえじゃねえかよ」と、文句つけそうになった。

今までの環境じゃダメなのかよ。

これはワガママだと思われていいけど、そこまで合わせたくない。

もう、モチベーションが無い。

仮に編集ができるようになっても、今まで通りじゃない。

仕様変更によって余白（フチ）無し一枚画像一頁大が、できなくなった。（ePubなら一頁大かも？）

それで「横から読む」という、横本の読み方ができなくなった。

『若い雌獅子のための横本』はPixivで章ごとのパートに分けて、掲載することにして、電子上とはいえ本としての体裁が保てなくなった。

もともと、コマーシャルのためだから、若い女性読者を獲得しようとして、ズレているお色気サービスがギャグになっているユーモア雑誌。ボーイズラブで「餌付け」がゲイの「餌付け」になっている。

熊髭系じゃなくてベルセルク系好きの人が喜ぶ。ゲイが喜ぶ表現があると、興行成績が底上げされると同じく、ゲイ表現、があるとゲイコミュニティで反応があっても長い間読み接がれていたのは、平沢進の曲が鳴り響いて、実力以上が出ていた！　これはPixivで見て下さい、と。

『若い雌獅子のための横本』があまりお金をかけてないから、傷口が浅いし、他者の視点で見ると「悠長に構えている」ようなマネもできた。

有料であったら、エラいよ。（自民党から官房機密費を出してもらわないといけない）イラストレーターにイラストを発注して、校正校閲に人を使って手間賃かけて原稿をしあげて、取材費用もかけている、他になんらかの費用もかけて「再編集ができなくなりました」は、プラットフォームを鞍替えである。

プレミアム会員になれば、「旧エディタで編集できて、旧PDFおよび旧ePUBデータが出力できます」というなら、仕方なく会員になっていたかもしれないけれど、もう、そのモチベーションは無い。お金を払いたくない。

『あり思』の続きも、解像度724*1024にしていたのを、変えたくないから、Kindleの基金で無料閲覧できるマンガに、連載的に掲載せざるをえなくなった。

第四巻からやるつもりだったから、前倒しになっただけ。

2020.7.1 しきりなおし

よくわからない。

なんだが、よくわからない。

ともかく、この数日、動きがあったというより、四月に問い合わせしたのに、メールが来てなくて、ずっと放っておかれたと思っていた。運営サイドがコロナ過でいろいろ、できなくなったりと、と思っていた。

何度も問い合わせするのは、ためらわれる。

できるだけ、最小にトドめる。

今の日本って、なんか文句いうと、すぐクレーマーだから、何か言うのをためらう。Puboo 側がちゃんとリアクションしたら、動く。それまで待つ！ 動かざること山口県民の如し、というのが結果的によくなかった。だけど、裏でずっと陰口を叩いていた。

それで、問い合わせで、「詳しくないから、わからないよ」と“お問い合わせフォーム”というライン画面みたいなところに、すぐに返信があったことに、今の、今までずっと気づかずに入った。自動的にメールが来ているはずなのに、メールボックスを調べても、メールが来ていた形跡が無く、間違って消したはずもないのに、どういうことなのか、よくわからない。（あんまり言いたくないけど自動返信メール機能が「壊れて」いたんじゃないか？）

だから、冒頭のなんだか、よくわからない。

ということに繋がる。

これからは、徐々に更新ができるようになるはず。

ただ、この件でほぼフリーライダーしかいない読者が、かなり離れたと思われる。

今日の更新は、

「YoUNG LION」

「若い雌獅子のための横本」

「フォオ・クローバー」

を更新できて、新しくできるはず。閲覧してみると、結果がわかる。後半にその結果発表。

「Re フォオ・クローバー」と「YoUNG LION3」を新刊で公開。

もう、新刊は限られた本しか作らないつもりだったのに、「アピールプレイ」で出さざるをえなくなった。

「『あり思』の連載電書 02」も、一応、更新を試みてみるけど、閲覧して更新された画像が見えるところまでいけるか、保障は出来ない。

追加

結果発表！

「『あり思』の連載電書 02」はダメだった。

いろいろやってみたけど、ダウンロードデータができない。新規保存ができないから、更新した情報が閲覧できない。

なんとか「Re フォオ・クローバー」はダウンロードデータができた、閲覧可能になった。「フォオ・クローバー」は新エディタにするデータ変換は、なぜかうまくいったけど、ダウンロードデータの保存はできなかった。

「若い雌獅子のための横本」はダメだった。データ変換が終わらず、新エディターにならない。三ヶ月おなじみの画面が出た。別項で、もう再編集はやめることを書く。

事前に作っていた「やんぐらいおん 2」を編集しなおした「YoUNG LION3」はダウンロードデータがなんとか出来て、その PDF を見てみると、今まで通りの横本は残念ながら作れない。

「YoUNG LION」は修正すらしていない。

誤字を修正したものや、相撲四コマの新規は「調整の章」にまとめて収録。

こっそりやっていた「悪友」のダウンロードデータは出来ていて、リンクを貼ると、PDF のところでは、文字が消えている。

2020.6.26 から 27 にかけての更新情報

この記事は 28 日に書いているが、「tagtype をご存知ですか？」が、Kindle の無料の方にアップされた。副読本として、読みたい人用に、チャンネルが違うところに、アップしないといけない。

マンガという形体の本じゃ、ないんだけど、なぜか出来た。amazon の Kindle とかでは書いちゃいけないことだけど、書いちゃった。

本来、サブテキストは、言外の言葉みたいな意味らしい。裏読みできるサインが書かれていて、それが類推できるのがサブテキストで、副読本＝サブテキストではない。

26 日に用意して、27 日の深夜に公開手続き、昼間に amazon 側から OK が出た。

第三回で tagtype に触れたから、tagtype についてどれだけ思い入れがあるか、ちゃんとわかるように書いている。「レジェンダリーデペロッパー横井軍平」では、タグタイプ

がコントローラーのゲーム機を作る構想までやるつもりだったんだから。今だから言えるけど、それは卒業研究の射程範囲内で、研究の結論として実践となる成果が、タグタイプ基金を作って、そこに横井の思想も入れよう、四葉ボタンを入れよう、ということだった。

ところが、担当教諭がちょっと足りない人で、うまくいかなかった。

マリノフスキーアップダクションを知らなかったんだよ。演繹、帰納に続く仮説設定を知らない人だった。

Puboo 読者は読まなくていいが、将来 Puboo が駄目になった時に、保険になる。

バックアップとしての、こんなことをおおっぴらに書いていいのか、わからないけど、書いちやった。

2020.6.19 開幕連敗スタート

実はこの日から五日間ぐらい、「野球読本 縮小版」が無料提供されていた。

アマゾン・キンドルで。

プロ野球が開幕して、その開幕キャンペーンであるが、ぜんぜん、ダウンロードがない。

野球人気のかげりか、と反射でつい思ってしまう。

プロ野球が開幕できないとき、たぶん、プロ野球好きは、ストーブリーグの時期に書籍を読むのが、習慣化していると思われる。

シーズンインしたら、スポーツ紙、週刊（週刊ベースボール）とニュース番組に、データベース系ホームページを周回するので、山ほど時間をとられて忙しくなるから、ポッと出の本なんか、見向きもしない。

ただ、わかったのは、プロ野球の本ですら、こういう状況であるのは芳しくない。

なぜか、「タカハタ・イズ・デッド」はキンドルアンリミテッドで読む人が、増えていた。（すぐに気づかなかったが、99 円キャンペーンの新規加入者たちが読んでいるらしい）

高畠勲の悪口に聞こえるような、そんなことを書いているの、いいのか、と反射でつい思ってしまう。

アニメ『じゃりん子チエ』はちょうどいい。

参考でやらなくちゃいけないゲームをやりながら、ビデオを流しっぱなしにしていた「ながら観」だけど、いい。草相撲して円の外に足が出ているのに、ものいいがついているが、ちゃんと再生しなおすと、足が出ている。昔はビデオが無い時代だから再放送で確かめるとか、していたんだろうなあ。

とつてつけたようなフォローでいいのか、と反射でつい思ってしまう。

2020.6.14 やっと第三回を

第三巻「劇中劇影の王子第三回」のデジタル製版を完成させ、キンドルの無料の方にアップした。

一ヶ月かかった。

コマの枠線を引いてからも 14 日もかかった。

予定に無いことも、ねじこんだので、ネームが完成が遅れに遅れ、出来たのが前回の公開から、一ヶ月経ってしまった。

早く第四回をやらないといけない。

今年中に第三巻を終えて、来年は第四巻の準備をやりながら、二巻三巻の修正をしたい。第六巻は短いし、十年で「折り返し地点に行けた」ということだろう。

向こう十年で精魂が尽きるのが、目に見えている。

また、七月八月が生産力が無い日々で、休む。

お休みをいただいて、

こういう状況だと新しい記事を書くのが難しい。

「宝石のような美しい話」「美恵子さんのお話」を、どこかで有料の場でダイレクトに公開するのか、どうにかしたい。

Pubooさんは私は更新をしてほしくないのかもしれないが、ちゃんとサイトが直ったら、真面目に更新をしていこうと思う。

単純に、駄サイクルを止めさせるために、まず会員をプレミアム会員にして、というのは、功を奏すか、正直わからない。

2020.6.3 ガルパン最終章の第二話をレンタルビデオ店で借りて観た

キンドルの方で第三巻、「イントロダクション+お遊戯会のはじまり」が急に順不同でアップされている。中間がごっそり抜けていて、それは翻案権の問題で公開できず、という但し書きを掲載したかったのだ。

マリアさんがまったく出てこない。前からマリアさんが出てこない、回があるから気にしなくていい。（このサービスの無さを懸念して、後でマリアさんを描き足した）

最近の話題で良いのは、「映画秘宝」の即復刊ぐらいしか、無い。アマビエが効いたのか、秘宝ぐらいしかないのか…アマビエは秘宝館に置かれていそうな、これ以上のコメントはさしひかないといけない。マリアさんの声をあてさせたいのんちゃん（読者は「！」となる）とショコちゃんの連載も戻ってきて、よかった。

そういうえば、知らなかったが「アフター6 ジャンクション」がpodcastをやっている。聞いている。便利。

「アトロクっ！」

と、思った。Podcastで聞く習慣が出来ていて、音声も雑音が混じらないのが、いい。いったいなぜ、TBSクラウドのストリーミングをはじめたのか。（注・本当はこんなこと思っていない。アトロクで「コンティニュー」のPCエンジン特集が出されていたことを知る。書店に見かけない。ハドソンに失礼だけど、そんなものより「セガ大全」？

「メガドラ大全」を復刻してくれよ）

Pubooはセキュリティが上がって、そこはよくなつた。

このリニューアルは良かったのか、悪かったのか。読者の反応が知りたい。

なんだか新規参入を、阻んでいるのか。

プレミアム会員だけが、新刊を出来る、出せる、編集できるシステムになってしまった。無料で公開は、プレミアム会員なら出来るかもしれない。つまり有料会員なら、電子書籍を無料で公開できるシステムになった…らしい。しかし、いろいろな手続きで、「アマゾンに公開後、絶版すると5000円かかる」とか、面倒な事があるようである。

基本的に「あれが失敗した」「うまくいった」とか、「誤記を直した」とか、そういう情報が無いと、いけないはずでキャプションをいじるより、まとめて宣伝を入れる。

正直、「Kindleがあれば、Pubooはいらない。アマゾンでやっていく」と決意する人が多いだろうなあ。と思う。

私の場合、外資であるアマゾンに警戒を強めていて、かなり後発組だった。Pubooだけじゃなく、楽天もKoboを買収してキンドルに対抗しようとしたけど、手強くて敗北宣言は出してないけど、テコ入れもしないらしい。

できれば国内企業で国産で国内消費で内需で回転していく、それがしたいけど、それがなかなか難しくなってしまった。楽天みたいなグループカンパニーを作っている大企業が率先しても難しいのに、私個人の事業でなんとかなるわけがない。中国みたいに政府が動いて、アマゾンを締め出しするような、それは国家資本主義でないと、ダメなわけで。保護主義だから。

とはいえた海外に微々たるものとはいえ、お金が流れてしまうのは、忍びないと思っていた。はっきり書けば、国内市場だけでは難しく、アマゾンは電子書籍で赤字になっても逆にその分、税金を払わなくていい。

「人形アニメ講座」を、ライトというか、補講というか、つけ加えたい。

『マルコヴィッチの穴』を観て、人形劇の話が出てきて、「この＊＊野郎」と殴られる話とか、ティム・バートンが短編人形アニメ「ヴィンセント」を作り、「フランケンウィニー」の実写短編映画を作って、それを長編人形アニメにセルフリメイクしたのが、『フランケンウィニー』で、仕入れてきた話を継ぎ足す、何かをしたい。（「ヴィンセント」はちゃんと人形を使ってたかなあ。「アルファベット」はコマ撮り撮影があるらしい）

なかなかできないんだよなあ。

2020.5.22 毎週毎週更新していたんじゃないかな！

実はそうだった。

ずっと閲覧できない状態で、それがわからなかったのである。

Pixiv の AA が表紙の活動報告書でも、同じことを書いている。

いろいろやってみて、どうも失敗している。

『ガンパレード・マーチ』の資料を読み返して、影響というか、たまたま「リング・オブ・ガンダム」と似ているのを、「どうして何だろう」と思った。

それは本当にたまたま、「一秒もプレイした事が無い」を書き上げたら、確認のために、やったことがない『GPM』をプレイしてみる。みようとは、ずっとと思っていた。

まったく入れないのも、おかしいから、デブがミチエルの靴下を手に入れていたという話も、あとづけで作ろう。

似ている話には直接本人オファーを「シルエットアクター」関連ではしたいと書いても、芝村さんに脚本を一本頼むというのは、どうせ断るだろうし、もともと、サンライズさんの著作物だから。

小さい文字指定

「悪友」のヨブ記が、ちゃんとレビ記に直っているとか、ファンタシースター2だ、と思っていたら3の方だった、とか。

2020.5.15 の更新できない情報

アマゾンのキンドルか Pixiv で、
 「ありえない未来の思い出たち第三巻 劇中劇影の王子第二回」
 が、閲覧可能になっているはず。

記入している、画像編集に JPG 画像を保存しているけど、ePUB データをブラウザに読み込んで表示するような仕様になった。だから編集後にダウンロードデータをセーブしないと、ネットユーザーの人が閲覧できない。

ところが、新エディターにならないから……同じ事をここ一ヶ月以上、ずっと書いている。

いやはや、弱ったなあ。
 このまま、アマゾンさんと Pixiv へのシフトが完了するかもしれない。

正直に書くと「プレミアム加入しないヤツは、フリーミアムのフリーライダーに利用されるだけ利用されるので、出て行ってくれ」と、はっきり宣言してもらいたい。それをしないと、会員から搾り取りたいと思われる。

これ以上は、違う場でないと、書けない。

2020.5.8 ヤングライオン2？

「やんぐらいおん2」がアップされているかもしれない。

新しい本をわざわざ作った方が、早いんじゃないかな？
 そこでやってみたが、どうだっただろう？

まず、アップできただろうか？

それで結果は、

「できませんでした」

という、残念なお知らせ、となる。

新エディターにしないと、ダウンロードデータと表紙の新規変更ができない。

ところが、新エディターにならない。（なぜかわからないがエディターは長音に伸ばす
）

そのため、新エディターに切り替わるまで作業をペインティングしよう、というのが、今までの経緯だが、いろいろ試みることにした。

そこで新刊を作って、という話に戻る。

書籍データの仕様がアマゾン準拠、キンドルフォーマットになって、フリガナをして、ローマ字のアルファベットを入れて、というものに変化していた。

余計なことしなければいいのに。

それで失敗すると、また入力し直し。

記入した部分が、消えて無くなる。

そして、ダウンロードデータを作らないと、公開できなくなっていて、ダウンロードデータを作りに、五分から十分かかるとウエイトされて、案の定、ダウンロードデータができない。

あんなに、新刊を出しやすかった Puboo がどこかに行ってしまった。

Romanser だっけ？ 他の電子書籍フォーマットに鞍替えを、本格的に考えはじめて、バックアップの置き場だった BOOTH にも、いろいろな企画、勝亭式江呂羅之兵衛襲名披露同人小説「リング・オブ・ガンダム」を本格的に始動させるのか、書きたいとは思っているけど、半分冗談で著作権はサンライズにある。

同じことを書くけど、“あくまでも BOOTH はバックアップであって、そこを足場に、主軸に何かしようとは、思っていない。思っていなかった。”のである。

この場では、言えない。（Romancer が正しい）

2020.5.1 また同じことを書く

私が言えることは、

「Pixiv のゴトチヒを閲覧下さい。

特に、会員にならないと見れない『テキストのゴミ捨て場』を」と、いうことになってしまう。

あくまでも BOOTH はバックアップであって、そこを足場に、主軸に何かしようとは、思っていない。思っていなかった。

キンドルにはいろいろ、「劇中劇影の王子」の第一回がエピソードとして公開されたり、いろいろやっている。

考えを改めないといけない。

一ヶ月以上、新エディターにならない。

永田さんの『魂の叫び』で、FF 11 のオンライン手続きに「あと 3 分かかります」と、十分ぐらい他の作業をしながら待っていたら、まだ終わっていなかったのを「3 分って何分なんだ！」と、同じ。

しばらくしたら、新エディターに更新してくれと、ずっとウエイトされて、編集ができない状態に「しばらくって、何分なんだ？」と。

しばらくしたって、一ヶ月以上なのか？

こんなことは、私も言いたくない。

事後報告をすると、「銃四輪忌にはなむけを」を四月下旬から幾日か販売してみたが、売れなかったから販売停止にした。読者にとっては、ほしくなかった商品みたいだ。

「charity magazine」は、n 部売れたから、当初の予定通り、必要経費として便宜的に設定した約 1000 円を越えたら、東日本大震災関係に寄付をする。

四月にこういう更新情報を書いていたよ

2020.4.28 実はアマゾンさんの方で「劇中劇 影の王子」の第一回が！

この場で書いていいか、ためらわれるが、おんなんじ事を書くと、読者と作家が離れないか、それともただの杞憂か、正直、新型コロナウィルス（「悪友共」で書いた記事のエフェクト）でいろいろ、同じ事を繰り返して書かないといけない。

環境の変化がなく、ちっとも進捗がすすまぬ、である。

本当は、「ゴトチヒの野球読本」は、プラットフォームが Puboo で編集しているから、

かなり誤字脱字事実誤認の修正は原稿上終わっているが、再編集ができず、ペインティングになっている。

なんで、サードパーティーが任天堂からソニーに鞍替えした理由が、よくわかった気がする。

新エディタにしても、ずっとウエイトされるから、それが二週間ぐらい続いて、さすがに業を煮やして改善を求めるメールを出しても、まったく返信が無い。

前には「営業日二・三日でなんとかする」等の返信があった。

とりあえず返信メールを送れないぐらい、人手が足りていないようだ。

正直、潮時を感じる。

2020.4.20 の更新してない情報

何も更新せず。

いろんな事がリニューアルで差し支えている。

さらに新型コロナの影響もあるだろうし、本当はいろいろあると思う。
ネタが同じである。

というよりも、Puboo が元々…書くのが心苦しい。

あまり、言えない。

日記も新しく更新するネタがあり、たくさん更新しないといけないが、それができない。

二週間前と同じ事を、繰り返している。

2020.4.13 更新できない情報

あいかわらず、編集できないようだ。

しかたないので、溜まったネタは Pixiv の方に吐き出している。

運営側の「お知らせ」によると、これが数ヶ月続くらしい。

「残業」ということで、残っている仕事がどんどん増えている。

直さなくてはいけない、電子書籍のデータがいろいろある。

四月四日から、ある特定の電子書籍が閲覧できなかったのが、解除になるとされたのに、日付を過ぎても解除にならない。（後日、ちゃんと閲覧できるようになった）

「プロモーションブック」に四コマをそろそろコンバートしないといけない。

今までの四コママンガは、「女の子向けパブパブ」「ぱふぱふ FREE」にだいたい揃っている。そこで肘の爆弾が爆発するピッチャーの帽子に何もなかったのを、見つけてほ

しい。

この更新できない情報のテキストも、ゴミ捨て場に捨てられる。

Pixiv の「テキストのゴミ捨て場」、会員でないと閲覧できない。

ここまで書かないと、ウソをついていると、思われる。

2020.4.6 プレミアムには加入せず

リニューアルの混乱で、いろいろ、私はプレミアムに加入しない。したくない。関西の商売人の考えにノれない。ノリたくない。

プロフィールがリセットされて、またやり直しとか、煩雑な作業をするのが、面倒だからもう、新しいプラットフォームを探さないといけない時期に、きている。

Puboo だと電子書籍が極端に売れない。

アマゾン・キンドルでは Puboo に比べたら、売れる。微々たるものだが、たぶん他のプラットフォームでも同じ。

すると、心苦しいが Puboo 離れするのは、なんとなくわかる。

何を更新しているのか、何も更新していなかったという、未更新情報ということだった。

そもそも電子書籍のブラウザ上で閲覧ができないとか、それだと、難しい。

だから、新しいプラットフォームに行かないといけないと、考えるというより悩むようになった。

これから当分、ほとんど、事後報告になるだろう。

とくに、「バックステージ 731」の第十一回がデジタル製版の用意ができたのに、Zip ファイルでのインポート・アップが工事中になってしまい、うまく上げられなかった。

しかたなく、Pixiv にアップして、どうにかその場はしのいだ。

これは Kindle の無料マンガで一エピソードずつを前倒しでアップしていく計画に変更した方がいい。四巻から始めるつもりであったが、どうやら、もうその時期にきている、春風を感じた。

eBOOK Promotion

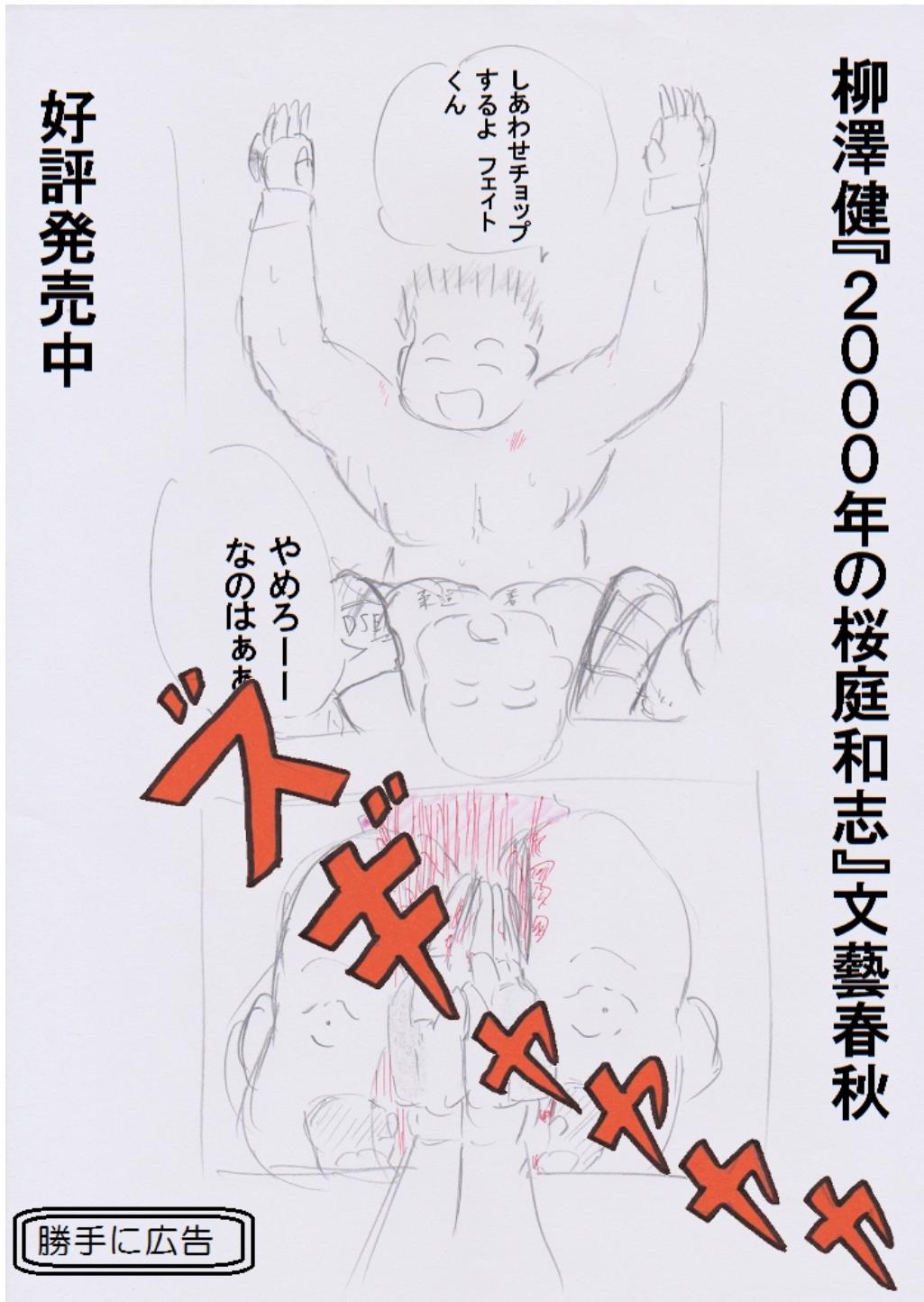
たけちゃんから大事なお知らせ



shiKOUCOKU033.jpg

柳澤健『2000年の桜庭和志』文藝春秋

好評発売中



shiKOUCOKU015.jpg

たけちゃんから大事なお知らせ 2



shiKOUCOKU033+.jpg

絶対に本物のビートたけしが言わない事



shiKOUCOKU013.jpg

クリスマスの日に
特別給付奴隸

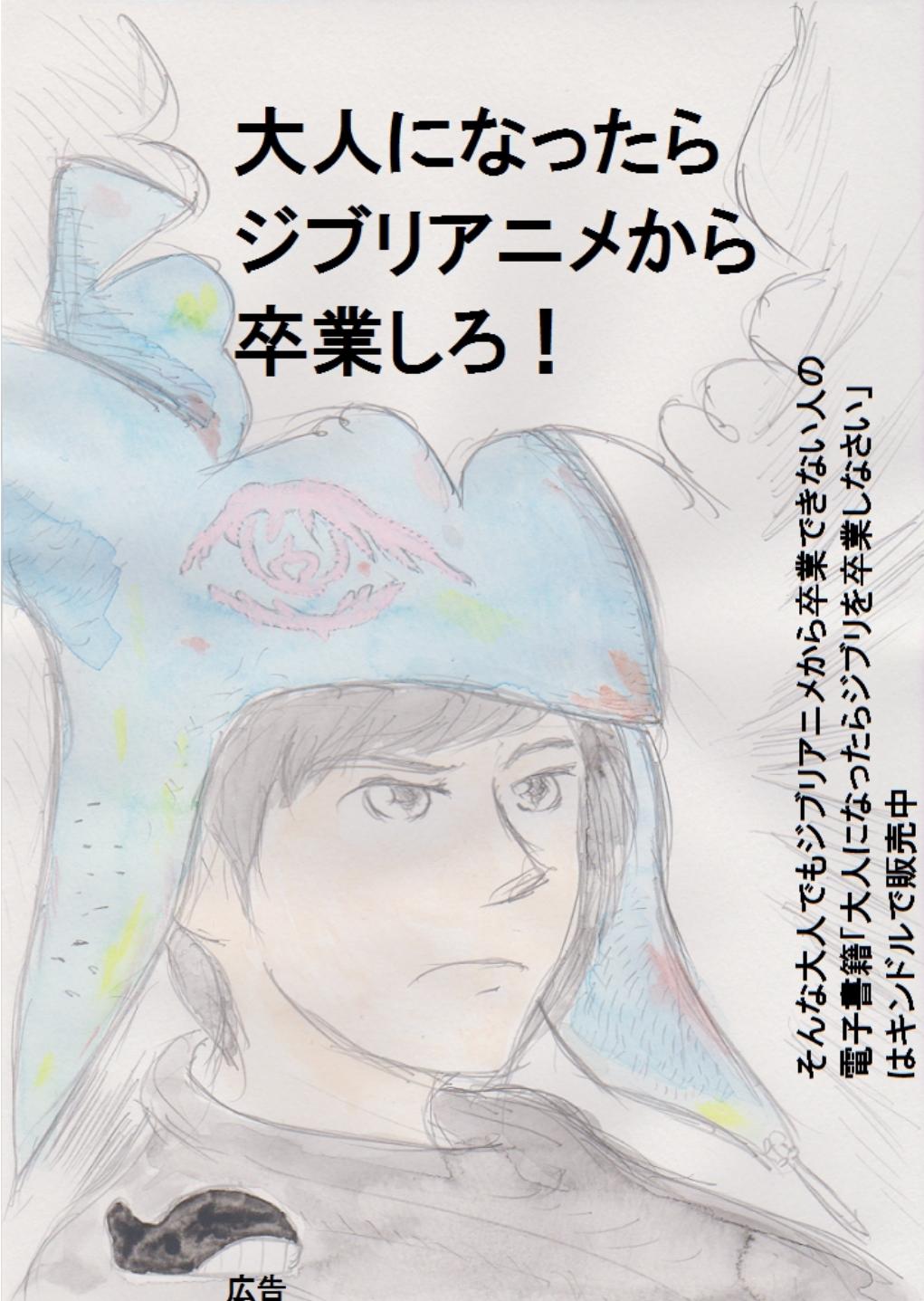


tokubetsukyuuhudorei.jpg



アグレッサー広告 02.jpg

いろいろと工事中



大人になつたら
ジブリアニメから
卒業しろ！

そんな大人でもジブリアニメから卒業できない人の
電子書籍「大人になつたらジブリを卒業しなさい」
はKindleで販売中

広告

shiKOUCOKU005.jpg

美恵子さんの話

長谷川洋子さんの著作で知ったが、長谷川町子には姉がいるとされる。「マー姉ちゃん」ことまり子（鞠子）と町子の間にもう一人、姉がいるのだ。

赤痢で亡くなった美恵子さんである。

戦前は不衛生で、子供が細菌にさらされ、それで亡くなる事も多々あっただろう。宮崎駿の言うとおりなら、健康保険と水道の普及という衛生の面で人口が増えたと主張するのも、まずはうなづける。

子供は防疫の免疫機能を備える、その前に多くの病に罹り、命を落とすこともある。ひとつひとつ病の閑所をすぎて、事件事故の閑門もくぐり抜けて生存する。魂が安定していない事の習わしであるが七五三を祝うのも、死亡率が高かった時代には迷信にできなかった。その七つまでは神の内と言われた最後の時代、半神半人のまま、亡くなれた姉がいるのだ。

長谷川家の家長である父が死に、一度上京して、田川水泡の弟子となり、一年も経たず内弟子を止めて家に戻るが、田川夫妻をクリスチャンにした、というのは『サザエさん』好きなら、誰でも知っている。町子がダ・ヴィンチの如く両利きであるので、田川はそこに才を見たかは、わからない。ただ、サザエになごりとして、左利きが残っている。

戦禍で長谷川家は疎開を余儀なくされ、福岡に戻る。

終戦後、『サザエさん』連載前、西にっぽん新聞の夕刊である夕刊フクニチに四コママンガを依頼されて、町子はアイデア拾いにでかける。

百道（ももち）の海岸に行き、サザエの貝殻を見つけ、そこから連想ゲームのように海に関連する事物でキャラクターたちの名前をつけていったという。まだ、この頃は父母に名前は無く、後に波平、フネとやはり海に関する名が付けられる。

玄洋の波が、失われた姉を町子に送り届けたとは、町子が意識していたとは思えない。

神の内に亡くなった姉が、今生の妹に渡せる最後の贈り物が貝殻であった、とははたして思い過ごしになるだろうか？　死んだ子の年を数えるではないが、亡くなった人物の年齢に、サザエは一致しているのではないか、調べておく必要はあるのではないかと思う。

作者の自分自身を自己投影したのがカツオで、洋子さんがワカメというのは、まず正しい。しかし、サザエさんはまり子さんだけだったのかは、疑ってみてもいいと思われる。そんな、まり子さんには、出征して戻らなかった旦那さんがいる。

再上京のために『サザエさん』を打ち止めにして、一度連載を終える。それが人気に恵まれたのか、連載再開となり、朝日新聞の朝刊を飾るまでは、誰でも知るところだろう。

洋子さんには新聞記者の夫がいたが、二児をもうけて夫君は亡くなる。長谷川家の男は天寿には恵まれない。現代の高齢化社会ではない頃は、実にありきたりであった、と

いうことは読者も共通の体験をしていて、長谷川家への同情が、応援すべき寡婦を中心とした女系家族に見えていたのでは、と、未来から無責任な眺望をすると、このような評価も下したくなる。

『サザエさん』は人気を博し、連載も地方紙から朝日新聞になり、東宝で映画化もされている。続編『サザエさんの青春』もあるので、人気があったのだろう。数本作られたとされる。

すると、うれしい悩みもできる。町子はアイデア出しに苦しんでいた。毎日四コママンガのアイデアを出すのは、想像でも産みの苦しみにのた打ち回る、のが理解される。同じ女性漫画家の上田トシ子も似たような事を『フィチン再見』で、語られる。

たとえば、学校・職場に通わず、毎日、決まった一つの創作課題を宿題・文書図画作成を、最低一つは出さなければいけない。問題はほぼ、変わりない。そんな生活を毎日繰り返すのだ。

ノイローゼ気味となり、そちらの病院に通っていたとも、される。

何度も休載して英気を養って長期連載を断続的に続けている。

印税も入り、海外旅行に幾度も出かけたようだが、税金対策と締め切りに終われる日常業務からの逃避であったのだろう。

『サザエさん』連載時期は映画の黄金時代であるので当然、町子は映画も観るが歌舞伎観覧を主にしていたと本人は語るように、まげものが好きでサザエさんも時代物の作品になっている。

ここで話が転じるが、同じ朝日新聞に因縁があるというか、夏目漱石の巷に流通するイメージと共通するものがある。

ソウセキの評価とマチコの評価、歴史的には徐々に一致していくのでは、と思われる。漱石が落語好きなら、町子は歌舞伎好きである。

則天去私を気取っていた漱石から、近代人として悩めるソウセキ像になったのは、江藤淳の『漱石とその時代』だ。

フランツ・カ夫カも「変身」の原稿を友人に読み聞かせる時、くすくすと笑いながら朗読していたというから、書いた本人にとっては喜劇小説であったのだろうが、近代文明や社会の変化に右往左往している暗喩を読むのは、現代人の読み方としては、正しいだろう。

ソウセキの悩みは、エリートだけの悩みだった。近代国家を標榜し、近代思想を、技術を日本人にうわえることはできるのか、列強国に並び抜かなければ、立ち遅れている趨勢は挽回できない。和魂洋才は果たして通じるのか、和魂を捨てて洋魂洋才にすべきか、エリートたちは悩んでいた。

それは高度経済成長を経て、青年達の悩みになった。伝統主義でいいのか、近代的国際的、新規に更新していくのか、それも本当に正しいのか、そこに引き裂かれる。自分はグレゴール・ザムザのように毒虫になっていないか、我が身を振り返る間もなく、時間に追われる事で「毒虫」の姿を見ようとはしない。

公害などの企業犯罪に目をつぶって、商売をすればいいのか、それを否定してヒッピームーブメントや新規なものに行くのか。風刺マンガの主人公たる政治家の発言の尻拭いに罪悪を感じるのは、若者だからではないが。

その悩みは尽きなかった。

バブル期に森田芳光監督の『それから』はそうした若者向けだった。江藤淳後の更新されたソウセキ像の影響にあるような、漱石作品の映像化であった。（新聞連載時の挿絵は岡本太郎の父一平であり漫画と幾許か縁を感じる）

なんとなく、楽天家と思われる長谷川町子像も、いずれ変わる事があるかもしれない。

創作は悩める人々を慰める。慰安する。しかし、創作者もまた悩める人々と同じく、市井の人間なのだ。

町子本人が描いている『サザエさん打ち明け話』にあるのだが……マスオさんの扱いが酷い。上述では誰もが知る話として省略したが、福岡から再び東京に出て、『サザエさん』の連載を終えたのに、西にっぽん新聞から再び、『サザエさん』の続きを再開してほしいと、打診される。

サザエがマスオと結婚して、それで終わりだったのだが、フグ田姓になったのが中ったのか、人気を得たらしい。

しかしマスオさんの顔をうっかり忘れる。

そして、西にっぽん新聞の東京支社で備えている夕刊フクニチを手縫り、自分が書いた最終回を見つけてマスオさんの顔をたしかめて、連載再開に挑んだという、「マスオさんはつらいよ」な話だ。

当時珍しかった妻の実家に暮らすという、ファミリースタイルを「マスオさんなんだ」と言われた時代も、過ぎ去った。

さて、洋子さんは、町子の遺産の相続権を放棄する。そのため税務署の職員がやってきて事情を聞くという件があった。身に余る財産を得ても、振り回されるだけで、キリスト者であるお母さんの例の寄付の問題も、印税が入りすぎて起こった事で、もてあます財産は身のためにならない。姉妹たちの不和の元、までは言うまい。

町子の著作権は現在、財団法人・長谷川町子美術館が管財しているだろう。

サザエさんは、成長した想像の美恵子さんだった、というのはこれから研究していくば、いずれつきあたるだろう。

Kの正体が啄木であるのは、状況証拠が出揃っていて、新資料で漱石の肉筆による「Kは●●だ」と否定する物件が出ない限り、啄木と考えていい。

長谷川家の四姉妹はもう一つの『若草物語』であり、ロストシスターの物語である。

磯野家の家族構成に良く似た別役実的不条理家庭劇「復員者の福音」にて、主人公だけ美恵子という名前にして、舞台にかけたい。登場する復員者（ホームレス）はまり子さんの亡くなったダンナさんたちである。庭の柿を分け与えようという案がある。

やはり、キリスト教の神学に影響を受けた別役実さんにホンを書いてほしかった。

参考文献

サザエさんの上京物語 長谷川洋子

サザエさん旅歩き 長谷川町子

長谷川町子 思い出記念館 長谷川町子全集別巻

備考 「思い出写真館」には、町子とまるで双子のような恵美子さんの姿がある。

『風立ちぬ』のライトモチーフ、久石の「旅路」を聴きながら書いていた。

精神という科学の分裂症

人間のメスこと、女性が男性より体格が小さいのは、子供の手を引くからではないか？
他の動物のメスはオスより大きい個体となる種もある。

こういうことが、想像されても、学説ではなかなか、肯定的な意見が出なかったり、
はっきり言って証明は難しい。

さて、サイエンスライターが書きにくいこと、こうしたサイエンスライターが書く、ま
じめな話ではなく、科学者いじりというか、マッドサイエンティストに半分近い人たち
の話である。

それはフロイトとアドラーの話だ。

この心理学というか、精神分析学の雄とアドラー心理学の教祖というか、これがとっ
ても仲が悪く、それは今でも尾を引いているようなのだ。

なんだか一つの神を奪い合う、キリスト教とイスラームのような、浄土宗徒と法華教
徒の争い諍いのような、神学論争のような事になっている。

トラウマをちゃんと研究していたフロイトと「トラウマは無い」と言い切ってしまう
アドラー。（横山光輝の『三国志』で通行手形の有無を問われた人の元ネタ）

キリスト教、宗教は神経症だとフロイトは批判するが、キリスト教に改宗するアドラー
は宗教は良いものだとする。

原因説か、目的説か。

ツアラトゥツアラの善悪二元論のような、アフラ・マズダとアーリマンな二人。

どちらかというと、私は『ホモ・サピエンス全史』から、近代心理学の虚構革命がア
ドラーだったと、評している。リビドーを感じる口唇期、肛門期、男根期、性器期、とい
うでの成長期が分れるとしたフロイトに、異を唱えているのがアドラーだ。

真月ことピンフリ*1 も読んでいる『ホモ・デウス』にて、脳に電極を入れて電池で電
流流して、精神安定させる時代には、どちらも時代遅れな産物ではある。脳外科手術は
ロボトミー手術をした頃に比べて、格段の進歩を遂げている。

実証科学の世界と違い、心や精神はなかなか再現性が得られにくい。

天文学なら光学装置、電子機器で観測力が上がるよう、日進月歩とはいかなかった
精神科学は、最近は前述の通り、進歩している。

生化学的な精神の作用や分子生物学、原始時代の生活に注目した考古学的な考察が、
無意識というより生態として語られ、それは現代人の行動にも、適用されると考えられ、

人間心理の学術研究の進歩は確実に進んでいる。あるいは、各種センサーが良くなって、19世紀のフェヒナーの精神物理学に「元に戻った」とも。

20世紀になって、ウィーン精神分析会が発足し、いろいろな人が集まって、その中にはアドラーもいた。アドラーもフロイトと仲が良かった頃があるが、離反とかいろいろ言われることが起こる。アドラーはフロイトにエディップス・コンプレックスを抱いていたはずだ。

フロイトのエディップス・コンプレックスはもちろん、ギリシャ悲劇として有名なエディップス神話から取られている。（英語ではオイディップス・コンプレックス）

テーバイの王として生まれたエディップスは、出生時の予言で父王を殺めると不吉が出て捨て子にされ、足を怪我するも成長し十字路で父王と知らずに殺し、テーバイに着いて居座る怪物スフィンクスのリドルを解いてしまう。スフィンクスを退けたエディップスはテーバイに歓迎され、空位となっていた王になって母とは知らず前王の妃を妻にして、子まで成す。

やがて疫病が流行り、神託を請うと、予言通り父王を殺していたと発覚する。エディップスは盲いてテーバイを追放されるという、ライトノベルでこんなこと書いたら編集者に説教される内容である。

「お前がフランス書院のママものが好きなのは、よくわかった」

性癖がバレてしまう。母親錯綜、マザーコンプレックスは和製英語で海外では言わない。（精神科医は日本とヨーロッパの違いを見るだろう）

スフィンクス・リドルの答案として「人間」と答えたエディップスが、三つのフロイトタブーを二つも破っていることも、象徴的だ。太宰なら人間失格、神合格だが。

これに否定的な事は、フロイトがエディップス・コンプレックスを提唱した瞬間から言っていた。まず、ウェスター・マーク効果のエドワード・ウェスター・マークである。

家族のように育った子供たちは、婚姻関係を避ける。それはもともと近交弱勢を避ける機能として、哺乳類に備わっているとされる。確かに文化人類学的な機能主義とも一致する。

結婚相手を幼い頃から一緒に育てる台湾やイスラエルの習俗の例を挙げて、離婚率の高さや不倫をしたケースを調べると、どうも平均より高い。ウェスター・マーク効果ある説。

困ったことに、高砂族ら複数の少数民族が乱立する台湾では、自民族の血統を守るために、こうした因習が発達したと思われる。イスラエルのキリストもユダヤ系の血を守るために、ユダヤの血を持つ者同士、というよりもユダヤ人の母から生まれた者がユダヤ人という、民族の自認性のために、行われているらしい。

合理主義者は民族性を保つのはコストが高いと言うだろうし、法定民族のアイヌも同じ経過を辿るのではないか。

さらにシルヴァーマンらの研究もある。

生き別れの異性の兄弟を調べると、知らずに夫婦になっている、昔の少女マンガの血を分けた兄弟危惧による恋愛危機のような、そんな例があるらしい。

大好きなあの人は実は血を分けた兄さんではないか？ という少女マンガ好きは山ほど読んだ例のアレである。

これはエディプス神話の、母親と生き別れて妻とするエディプスの行動を逆に裏付けているのだが、台湾イスラエルの例とは逆に、幼い頃一緒に過ごしても、離れている時期があれば、ウェスターマーク効果は失効する？ 説である。

エディプスのようにそもそも最初から離れている親族には、ウェスターマーク効果で性愛を忌避するはずが、しないようなのだ。

フロイトの診断を受けた患者は母に対して、性的な問い合わせをするような事例²があるらしいが、親元から引き離される寄宿学校に入れるなどの制度があると、一時期、引き離されてウェスターマーク効果が失効したのでは？ 近代になってからの徴兵制により、軍隊に所属していた経験など、アドラーが嫌いなトラウマが、ウェスターマーク効果を失効させるかもしれない。

ここは先行研究の論文があるわけではないが、氏族（クラン）と氏族同士の全滅戦が繰り広げられた時（原始時代のラグナロク）、生き残った親族間で構成された家族集団は、血が濃くても繁殖していたのではないか。そうしないと、個体数が限られた中で他の氏族と出会う前に死滅してしまう。（食料は遺体があるためプリオンにならない遺伝子を持つ者が自然選択されたと考えられる）

そこでシェルショック、PTSDでせっかく得たウェスターマーク効果を解除しなくてはならない、逆デュルケム説と言ってもいい事があるのではないか。道祖神やイザナギイザナミ、女カ（渦のさんずい代わりに女）伏羲などの兄弟神婚神話は、こういう太古の出来事の再話ではないか？ ラグナロクの後の物語として、考えるべきで、後の農業革命以後の王権・上流階級のロイヤルインセクトは「神格」であるから、許されるというのは後付ではないだろうか。

PTSDになるのではなく、PTSDになってウェスターマーク効果を解除しなくては、近縁血縁関係者と繁殖できないのではないか。（生き残った者が貴族になった？）

遺伝的にセットされた生得的なモノで、この仮説から、「トラウマは無い」は明らかに暴論と見える。経営学用語の「差別化」を図るために、精神分析学と心理学を分けたかった、「逆張り」なのは、わからないが、差別化のパラドックスを感じる。

こうした仮説研究から、幼馴染幻想はフィクションから教化されたのであって、本当に異性と「仲良し」であれば、ウェスターマーク効果が出て、婚姻関係には至らないと、私は結論する。平時には必要ではないからだ。

資産がある有産階級の「父殺し」には環境が、「母」となっていると観測できる。再生産可能な設備、学績、金利生活を送れるような莫大な財産が「相続」されれば、まさにヴァギナの充足を「父殺し」によって得られる。

とりあえず、フロイトの著作を読むと原始時代、狩猟採集生活の場では原父が母集団、大きいか小さいかはわからないがハーレムの一種があり、そこから子は生まれるが、その子らは母集団と離して、子集団を形成するとされる。

これは自分の学説に有利な説を選んでいるようにも思える。

ともかく、子集団はやがて兄弟同盟を作り、原父を打倒する。

倒された父をカニバリズムし、母集団の女たちを自分の妻とする原エディプスがあつたとする説が、選択されていると、注意しておく。

現代の人類学、とくに構造人類学以後であれば、こういうことをしていない説の方が

有力。レヴィーストロースのフィールドワーク報告では否定的な反論が出るだろう*3。当時はまだ文献が少なかったために起こる観測記録不足だろう。

未開人の生活から、原始時代を遡るのは、まだ早い考え方だった。一夫多妻の首長は旅人に妻を貸すとか、そのため兄弟集団の中には血縁者ではない「父」を殺めるという、こともあります。

否定よりも更新が正しい見解になろう。

フロイトの場合はギリシャ神話のクロノス退治を原始時代にあったと想像され、あるはずのギリシャ神話の原質、原始時代から伝わっている口伝、伝承伝説を逆算した結果、選ばれた未開人の家族象ではないのか、結論ありきとしている部分はないだろうかという懸念がある。

エディップス・コンプレックスを否定したがるのは、アドラー心理学派の習性なのか、それは逆に心理学の二重エディップスというか、父殺し神話否定のパラドックスが見てとれる。

原父のフロイトを否定してしまうのは、エディップス・コンプレックスの父殺しを肯定してしまうのだ。

私自身は、「実父を殺し実母と交わる」というのは、さすがにレアケースだと考えている。ただ、何かの集団で、父親代わり等の父的存在が殺害追放失脚を子あるいは子集団（兄弟同盟）にされて、母親代わりを自分の物にする、エディップス・コンプレックス的な事はあると考えている。

あるいは先述したように物理的女性だけでなく、資産や功績、学術的な篡奪は行われている。これも再生産可能な資源の相続であろう。

カニバリズムが手柄の横取り、母はアドラー心理学の学者達の再生産ということだろう。逆説的にはフロイトになろうとした、カニバリズムは批判という咀嚼が、やがて栄養素となって学閥を生むのが比喩上では成り立つ。

アドラー心理学派とは兄弟同盟ではないのか。存在そのものがフロイトの精神分析で語られた学説を肯定してしまう。

フロイトという原父を殺害し反対の論陣を張るカニバリズムをして、母は言うまでも無く、手柄の横取りで学派の人たちを再生産する。実父殺し実母犯ではなく、象徴としての父、象徴としての母なのである。「ジュリアス・シーザー」の父的カエサルを兄弟同盟の実行犯ブルータスが殺め、『愛と幻想のファシズム』の「オレは父という総理大臣を殺し、母という国家を犯す」である。

このように原父を殺めた実行犯は、やがて他の兄弟同盟の同志達から殺害追放失脚される。

心理学という現代ギリシャ神話、ペニスの充足を切り捨てた先の海で、泡からヴィーナスという、アドラー心理学の危うさなのだ。

皮肉と言うか、アドラー心理学会自体が原父化し、いずれ兄弟同盟が立ち上がる日が来る。

だから一見、父殺しをやってないようで、やっている。パラドックスが発生して、フロイトを否定すればするほど、原父殺しになり、かといってアドラーそのものを否定してしまうと、新しい原父を殺めるフロイトの学説を認めることになる。宙吊りの均衡状

態か、危ない綱渡りである。

進化心理学は、開祖アドラーを否定しないように古参心理学者を説得する手段として、分子生物学を導入しているように見える。

逆に言えば、遺伝子レベルの情報解析まで出さないと、アドラー原理主義者を納得させられない。アドラー心理学会内で、新しい学説を出しても、開祖の意見と違うと否定してきた事が長らくあったようだ。

まさに宗教団体に近い。

どこかで、宗教改革しないといけない。

宗教改革の果てには、科学が待っている。更新を許さないと、科学はカンタンに教団運営のための宗教に堕落してしまう。（とカイヨワなら言いそう）

学説をドグマ化、そのドクトリンを受けた者がドクターだけど、ドクトリンは更新されるのが科学で、更新を行わないのは、宗教になるという皮肉めいた環境になっている。

さてサイエンスライターは、こうしたことを知っていたのではないか？ 学会の顔を立てないと、取材させてくれない。これには、警鐘として論文捏造などが、起ってしまう温床になっている気がする。

私は、「ファミ通」に出禁になったから、一部でも自分たちに都合の悪いことを言うのは、すぐに爪弾きに遭うと、それは科学の世界でも同じで、別に中立的ではない。全部、マンサーでないと、いけない。

それぞれの官公庁での担当記者がいる、記者クラブのような、特オチしないように省庁の顔を立てていると、いつのまにかコントロールされてしまう。同じく、心理学会にコントロールされていたのではないか。

フロイト派に与しても、アドラー派に与しても、めんどくさい論争に巻き込まれるのがイヤだから、ラカン派になる。（ということを精神科医や学者に言うとイヤな顔されると思う）

科学の世界なのに、奇妙な踏み絵を踏まされて、信仰を持つ事を幾度も試される。

戯曲で「アドラーVSフロイト」をやってみたい。アルフレッド・アドラーの名を使えないなら“もう一人のアドルフに告ぐ”、アドルフ・ヴルクナーになり、つまり21世紀から見たら、彼ら科学者たちも充分野蛮人であり、

「ナチズムは私だ。私の個人心理学が大衆心理学になったんだ」

と、フロイトを否定しながら、自分がカニバリズムを受けていたのだ。ギリシャ悲劇の再話に過ぎない。原始時代と同じ、原質神話の基になる事と同様な諍いをしていただけだったという、心・精神を科学しても、その営みが変わらなかったとは、喜劇にしかなりえない。

サトゥルトゥスの子殺しが、十二柱の兄弟同盟の父殺しがあっただけなのである。

*1 よくわからなかつたら、映画『若おかみは小学生』を観よう。原著で読んでいる。

*2 おそらく『家族ゲーム』はフロイトの精神分析な講堂を登場人物にとらせている。原作なのか、森田芳光監督の創作か。

*3 後日、クロード・レヴィ=ストロースの資料を読むと、「生のものと火を通したもの」『神話論理』第一巻で触れているボロロ・インディオの神話で「復讐や殺人は罰的」

で「インセストには無頓着」とある。つまり氏族の殲滅戦や子殺しには機能主義を働かせ、そういう事が起きたらウェスター・マーク効果が外れやすくしている、と一見見えてしまう。

レビュイ=ストロース以後に、『アンチ・エディプス』が出ていていると思われる。

心の中のモスバーガー

地元のモスバーガーへ、昼に行った時、アイスティーを作ってくれました。

カフェインをとりすぎるの、よくないから、コーヒーを避けて紅茶を飲もう。
という気まぐれです。

しかし当時、メニューにはアイスティーは無かったはずです。

普通なら断るはずを、注文を受けた事にやりがいを感じたのか、アイスコーヒーを作る要領で、紅茶を冷やして、アイスティーを出してくれました。

紅茶の方がカフェインが少ないのでなく、多いとする説も聞く。これは異論があつて、というのは、蛇足。

直接メールせず、ツイッターやこうした場で、言うのが、心の中のモスバーガー。

「あなたの心の中のモスバーガー」

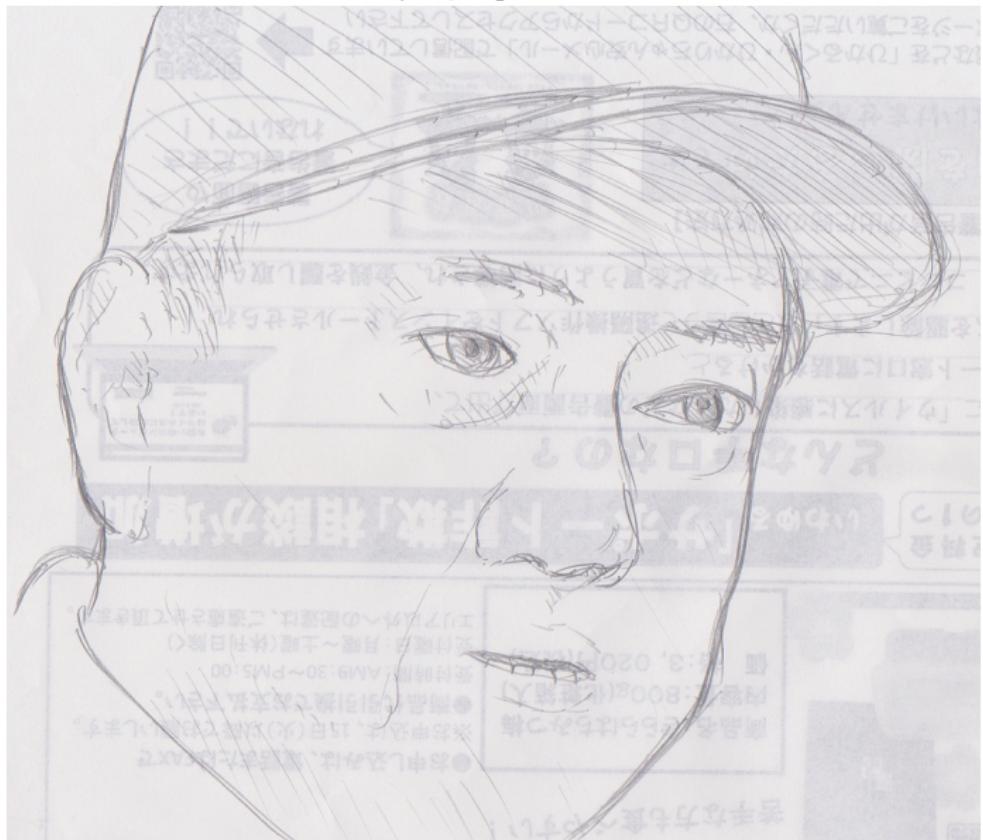
待ってます。

☆ 別にモスバーガーのある町はいい町とは限らないとか

★ おじさんの代表性バイアスの中で生きて死ねる逃げ切り世代に

☆ 文句をつけるな！

広告



「本当におまいさんたちは
大人になってもジブリアニメを
観ているようなだらしのない
社会人未満なんだな」

と、原辰則も読売テレビを裏切って言ってくれる侍発言があると妄想でうれしい。清武さんは侍です。

だらしのない社会人未満は辰則の言うとおり買わなくていけない「大人になったらジブリを卒業しなさい」はアマゾンのキンドルで配信している

困った現象／問われる検証

私たちの持っている評判というのは、はたして一般に流通している通りなのか、そんな、一般化というか、なんというか、う~ん。

…よせばいいのに、やってしまうのが、今回の藪蛇である。

豊田有恒さんが手塚に、

「クリエイターが名義を貸したらおしまいです」

と、伝授されているのだが、それなら『恐竜はネメシスを見たか?』は本当に手塚が訳出したのか、気になるが、そういう困っているというか、それは問題が問われるというとおおげさで、こんな奥歯にモノが挟まった言い方をしなくてはいけない話題である。

伊藤和典さんの話題をこれからすると、予め書くと、これだけでイヤな予感がする人もいると思う。鳥海師匠はセリフは評価している名脚本家に他ならないのに。だから彼を貶めるために、やっているわけでは、けしてない。

そうではなく作品評価が搖らぎ、わからなくなるから、困る弱るということをえんえん語る。グチグチした内容の話題だと前置きした通りだろう。

押井守さんは、脚本はパート2から存在しないと、恐ろしいことを言っている。まあ、ありていに言って名義貸しだと。（確かに、渋谷陽一が定期的にインタビューするのでその場で語った事と思われる）

アニメの小説版は普通なら、脚本家が書くのに、『アヴァロン』は押井さんがなぜか書いているので、『アヴァロン』も名義貸しあるかもしれない。と、私は疑ってしまう。

これが困る。

弱るのだ。

ちょっと文献のレファレンスブックに目を通すと、伊藤和典さんの資料が少なく、どうなのかわからない。わかりづらい。座組みで、脚本家がそれなりにネームが無いと出資側が難色を示したり、いろいろあるのは映画製作上わかる。『黙示録』に書いてある。脚本だけじゃなくて、出来た映画を原作者が「イヤだ」という事になってしまい題名を変えざるを得ない事も——ある。

たとえ出資者が納得しても、メインバンクが納得しない、というか、母と子のバンダイである。自分たちがしたくない事を銀行が出資しないと、言っているからしてくれとファンド方式だと、そうはいえない。

バンダイビジュアルは北野映画を実現させてくれたから、悪いことは言いたくない。できれば、そっとしておく。

しかし、アニメの殿堂問題や作品評価の遡りで再評価しなくては、と、盛り上げようとすると、こうした問題にぶつかる。

最近で言えば、ネットフリックス映画『Mank/マンク』と逆の事が起きている。マンキウイッツは『市民ケーン』でアカデミー脚本賞だけど、ノンクレジットであり、そこ

で「マンクが文句（モンク）をいう話」とダメな映画宣伝プロデューサーがつけそうな和製キャッチャーコピーとは違い、モノクロシリアルでくたばれオーソン・ウェルズみたいな事になっているが、ネットフリックスだけど、ハリウッド映画、ハリウッドを追われたウェルズだからこそ、まあ悪人にできる。

かわいそうなウェルズであるが、なんとなく悪の臭いがするプロダクションI.Gのプロデューサーが、ということもある。

押井さん自身、寺山修司の『田園に死す』の映画を語る際、著名人は過去を編集するのを話題にしている。それは押井さん本人も、やっているというか、教職の願書を出さなくてはいけないのが、なんだかウヤムヤになっていたり、本人も「それは忘れちゃった」と真相は、いわゆる「藪の中」と化している。

たとえば、本当に高校時代に「例の活動」をやっていたのか、他の人から似たような高校生で活動をしていた、あまり聞いたことが無い。誰か他の人がやっていたというのも読んだことも無い。

大学生たちがやっていたのは、安田講堂の映像や活動についての終焉である浅間山荘事件、実際に高橋源一郎さんが捕まってしまう話を読み、いろんな裏取りができる。しかし、高校生で「活動」「運動」していたサンプルが、押井守さんしか、私は知らないのだ。B.Sの「私が子供だった頃」でも、映像が作られたのだから、裏取りしているはずということになっている。

あやしい探偵業のお父さんに連れて行かれて有名な峠にあったとされる山小屋に軟禁されたという話になっているが、運動熱を冷ました小屋はロケしたのだろうか。

だから、左系マスコミに「覚えめでたき」という事の「プロモーション」だったんじゃないかな？ それは困る。

どうしてこんなことをしたのか、「映画は興行である」と少しあわかる。

それは押井守さん本人がインナーサークルの話をして、そのサークルの内側であれば、作品が批判されない、つまり宮崎アニメが批判できない。そういう事をなんとなく悪の臭いのする鈴木敏夫が国民全体をインナーサークル化させたという、ことらしい。にしなんたらPは悪の臭いがしない。

それはさておき、インナーサークルには、主に右寄りの側と、左側の思想という巨大なサークルがある。

流行らなかった速水健朗さんの言葉を借りれば、フードレフトはレフトサークルに対応、フードライトがライトサークルである。

この二つにずっと「顔を立てる」をして、また取材の「とっかかり」があることを捏造とはいわないが、何かアレバ、やがていわゆる人口に膾炙が起きる。

つまり、どちらも食事の献立に出される一品だ。フードレフトもフードライトもいただく。すると、代謝されて、いつの間にか身体の一部になる。日頃から食べる栄養源だったら、なおさら自分自身との同化が進む。

どちらだけをとるかは簡単だ。明日からやればできる。今日にもできる。

どちらもとる、は明日できるようになるかというと、それができるのは、意外にも矛盾があることが条件となる。

知識のあるミリタリーの話をできれば右側には、好感を持たれる。しかし、左側のメ

ディアには、何か持っていないのかと、探られる。そうしたとっかかりがないと「この拳銃好きの右翼野郎」と毛嫌いされ、そしられる。『風立ちぬ』は矛盾をそのまま、提供している。つまり宮崎駿はミリタリー大好き、戦闘機大好き、戦車大好き、だけど反戦平和主義者であるという、右も左も見たいところしか、見ないからか、矛盾だらけの彼に取材できる。

ここで、なんとなく悪の臭いがする敏夫が「こういう事をしよう」とやったのなら、話は見えてくるが、確証は無い。しかし悪の臭いがぶんぶんに臭う、ギブリーズのラン屋の店主みたいなヤツなら、やりかねない。

それは個人史修正主義とも個人史改竄主義とも、言われることだ。

右も左もデマばかり、つまり歴史修正主義である、と言ってた方が、「クラスに一人はアイヌがいた」とか、それは人口比率から類稀な偶然に過ぎないのではないかと、運よくアイヌ人がいて、それが保有効果バイアスを作ってしまったのでは? と疑われる。

…書いていて、なんだか切なくなってきた。

ジャの道はヘビである。

というよりも、蛇の道は藪蛇だ。

悪い先人に言いくるめられてきた歴史を考えて、振り返ってみると、野村克也は佐千代の死後、「佐千代の言つてることは全て嘘」と、自分に好かれようついた峰不二子ちゃんのアクセサリーであるかのような事を語っている。全て嘘だったから脱税する。それに振り回される阪神球団は、いいメイワク。楽天が追い出したかのような印象を受けるが、実は何かあるのではと、下衆の勘ぐりもしたくなる。

さすがに「あんた選手たちにあんな語つといて、プライベートでは奥さんに騙されてるじゃん」と、ちゃぶ台返しな展開に文句もいいたくなる。

男の不器用な愛に口を挟むのは、野暮である。それに巻き込まれる選手たちや球団関係者たちの身になると、とても耐えられないし、死者であっても死体蹴りしたい。顔を狙って蹴りを出す、そんな罰当たりもしたくなる。

指導者批判をできないスポーツ界の旧弊をなげくより、メイの反乱は正しかった気がする。

鶴岡一人にだろう、「女をとるか、野球をとるか」で「佐千代をとります」という、あまり私の口からはこれ以上言わない。不条理コントみたいな、昭和の別役実作品みたいなことを言ったのである。ノムさんは先だって亡くなられた別役さんの不条理劇の登場人物であったのだ。

口直しに『ソードアート・オンライン』のアリシゼーション編は『アヴァロン』の構造で出来ているのは、明白である。

そもそも『アヴァロン』を水で薄めて甘くしたものが、基本オンラインゲームものの造りである。『アヴァロン』という実写映画は、そのまま飲めない。そのため、水比率を多くして割り、糖分の量を多くする。アルコール度数=S F値ではないが、スペキュレイティヴで脳を酔わせるという事なら、なんら変わりないのでかもしれない。（下戸は酒の代わりに思弁を摂取する）

アリシゼーション編はライトノベルにある甘いトッピングはあるが、できるだけモルトで飲ませようとしている。飲みやすくするためのエッセンスとして美少女や美少年を

配置してはいる。カクテル未満の飲み物にして、ライトノベル読者にも飲めるようにしている。（だからアリシゼーションとはルイス・キャロルのオーダーメイドとして創作カクテルを作るようなものだ）

そして、本物のSF、『電気羊はアンドロイドの夢を見るか』を読まないのである。レプリロイド的存在が出てくるのは、『アヴァロン』の上流を遡ったからだろう。現在の消費者動向だと、ストロングゼロを飲んでも、原材料のウォッカを直接飲まないような事だろう。割材を安く手に入れば、ウォッカを薄めた方が、コストパフォーマンスが高いが、その機会費用損失的な「労働」はしない。

最近はやらなくなつた韻を作文すれば、蒸留物には上流しない。昔は皆こういうことを書いていたが、今は本当に書かなくなつた。ただ馴熟落だと切って捨てられる。

本題に戻ると、『アヴァロン』の評価を定めようとすると、伊藤和典名義貸し問題で『SAO』のアリシゼーション編の評価が揺らぐ。蜃気楼のようにとらえどころがなくなるのだ。

みなもと太郎先生の「さいとうたかをの評価は、そもそも手塚の評価が定まっていないので、出来難い」という問題に似ている。

手塚の評価を定めていないと、その土壤の上のさいとうの評価もまた、定まらない。さいとうも手塚宅に押しかけて、人相の悪さから手塚母に追い返されてしまった手塚フォロワーである。そして手塚の表現の一歩先を踏もうとした。

それが青年層向け劇画であったのは、劇画工房を抜いた酷く乱暴に単純化した説明だが、わかりやすいこのさいとうの評価も、手塚の評価すらされていないと、よくわからなくなる。

手塚をかわいがりした先生さま達の遺族が、手塚を生前には影でこっそり評価していた、とおそらく後付の事実ではなさそうな、これまた個人史修正主義とも個人史改竄主義とも言えることをしている。あれだけの手塚の大成功があるのを、故人の慧眼の無さが露呈され、ただおのぼりさんをマウントしただけでは立つ瀬が無いからだ。手塚がトキワ荘作家たち、手塚フォロワーを厚く遇しているのは、なんとなく、彼らを反面教師にしていたからである。

だから、私は寺田ヒロオの評価を定めないといけない。

水島新司が寺田の背番号ゼロを追っていたと、2010年前後になってテラさんの作品が復刊された事で判明し、米澤嘉博さんは初めから知っていたらう。おそらく『戦後野球マンガ史』でわざわざ書く必要の無い、この世代には当然過ぎることだったのかもしれない。しかし、新しい読者には書いてもらわねば、わからない事だった。

一つ言える事は、作家生命が短いと、意外に評価が「失伝」するようだ。

私の見立ては『アヴァロン』は押井さんだけの脚本。

どうも『ドットハック』のテレビシリーズは、佐藤大に負うところが大きいのか、伊藤和典の関与は、どのくらいあったのかは求めていない。

だが、『アヴァロン』の評価確定には、どうしても必要な処置として、伊藤さんの関与がどこまであったのか、公開されないといけない。（ちゃんとした記録を定めないとけないので、アニメの殿堂に「反対」という業界関係者もいるだらう）

サイバーコネクトツーが嫌われているから言われる事ではなく、誰かやらなくちゃな

らないのだが、いつも私に鉢が回る。誰もやりたがらないのだ。

逆に嫌いだから、できる事かもしれない。

サンドウィッヂマンが「桜を見る会」に出ても、そんなに「為政者にしっぽを振る奴め」と叩かれない。今まで通り皆に好かれている。

まず、安倍さんのモノマネをしているのだが、すると、ご本人様の反応はだいたい大きく二つに分かれて、拒絶か受容であり、受容の場合、「桜を見る会」のような宴席に呼ばれるものだ。それがつきあいで、まあ仕方の無いことだと、好かれているから、看過できる。

ボボス的生活で嫌われていたら、トレンドイエンジェルみたいに怪我したら「ザマア」をお見舞いされる。嫌われていると、問題視される。

嫌われているから、「ハゲ」と呼ばれるのであって、好かれていれば、気を使われる。嫌われても、表立っていえない、裏で「ハゲ」と言っているような陰口もあるが、直接少ない毛をむしりとろうすることもある。

これはゴーストライターが多くなって文読が作れなくなる問題に似ている。

参考すべき引用文章が名義と違うと、文読作者が赤ッ恥をかく。

『トップをねらえ！』は第一話は岡田斗司夫・名義になっているが、広く知れ渡っているように庵野監督が「山賀の脚本に泣かされたから」監督を引き受けていると本人が言っている事で、有名である。これを岡田の評判には、できない。

だから弱る。

男の約束で「言わない」という紳士協定が、シリーズ完結した『トップをねらえ！』の評判が良くなると、実は自分が書いていたと、山賀さん本人が情報を公開する。紳士協定を破ったのだ。

そのため、本来は公開されない情報が『遺言』やいろいろなところで語られている。そういう情報流出というか、公開がなされたことで、弱る困る問題があちらにもあるぞ、こちらにもあるぞ、となっているのだが。

さて、ゴーストライターは本業があるなら、別に文句はない。これは『文章読本』でも同じことを書いている。

語り記録したモノで 構成する人は別でもいい。忙しいビートたけしのように語りであるなら、できるなら公開してほしい。矢沢の語りおろしみたいに。正直、本業を疎かにするぐらいなら、（談）でいい。

しかし、一からでっち上げたモノを名義貸しするのは、問題を感じる。

ところで、高畑勲にも、なにかちょっと感じるモノがある。

実は実写映画監督になりたかったが、アニメ監督をするのを消去法的に選んだのか、テレビの「テレビ映画」を作る方向もスピルバーグみたいにあったが、まだテレビが普及する前で、必ずしも国民的になるほどの成功をおさめるとは想像できず、そちら方面には行かなかったようである。

どうも新人演出採用枠が実写映画部門でなかったから、東映動画の方なら演出を募集しているから、当時公開中の『やぶにらみの暴君』を一夜漬けな勉強で観たに過ぎないのかもしれない。富野監督がよく言う、「映画会社が採用枠を全部無くした」から動画部門の演出募集ならあるので、それに応じたのではないいかと、考えてしまう。そしてたまた

ま仏文学を学んで覚えた詩人が脚本を書いていて、「参考」に観るということをしたら、意外に面白かったのではないか。

そして数年で動画部門の演出も募集も無くなる。本格的な映画不況に入る。

狂信的なまでにカメラワークにこだわるのは、実写映画監督を目指していたことによる「昔取った杵柄」であると、話がわかる。

リアリズムはまず、カメラワークからである。インフラにスープラが載り、その上にアキテクチャーが左翼思想だが、カメラワークが一番下だったのだろう、リアルなカメラワークがリアルな芝居を生み出す。

こうしてフランス、ユーロアニメにアニメの表現の可能性を見る現場と東洋のディズニーを標榜する大川博と、それでどうなるかは、当然分裂が待ち受けるのは、必然である。

その件については、いろいろと書かれているので、あえて書かない。

歴史学的には、もちろん忠臣蔵のストーリーというのは、大衆のために作られたフェイクヒストリーであるのは間違いない。残念ながら幕府の政断には理がある。大石には同情できても、大石を理解することは出来ない。そして松竹や大谷家が悪いのではなく、大衆が求めた結果だった。歴史資料を紐解いた史実通りは、マイナーな発表媒体で「吉良供養」が限界だったと思われる。

作品評価を高いか低いかを定める時、こうした問題によく突き当たる。

豊田有恒さんは、自作小説と筆名で書いたアニメ脚本、同一の本人（自分）の作り（ネタの使いまわし）で「盗作」でもなんでもないモノなのだが、それを「盗作」としたと、中島梓（栗本薰）に指摘され、困惑したと語っている。

真相はいわゆるオリジンからネタ二つをとっているのだが、詳しくは『日本アニメ誕生』にある。平野啓一郎と佐藤亜紀さんは同じ錬金術関係の資料に基づいて、小説を書いて盗作トラブルのような事があったらしいが、似たようなことも、起きないとは限らない。

豊田さんが度々言うのだが、日本マンガ・アニメのコンテンツを探って調べ、製作側に教えるシンクタンクがアメリカにはあるらしい。日本もアメコミを参考にしているので、そこはお互いさまだが、アメリカは起訴社会なので、そうはいかないのである。

『アニメへの変容』で、ウォシャスキー兄弟（今は姉妹）、ご本人の発言を引いて、『マトリックス』の『攻殻機動隊』の影響は、要は「最小である」と、公的には発信している。

しかし、真相はどうも違うらしい。

後の兄弟（姉妹化前）は押井守との直接の謁見で、それは著作権上の言葉に過ぎない、と判明しているのは、言うまでも無い。法廷対策の発言と事実というのは、こうしてズレている。

押井の紳士協定は、守られている。

だったら、伊藤さんの紳士協定（あったはず）も、名前通り、守ってくれよ！

と、思わずには、いられない。

最近の日記

愚かだぞNHK 6.18

じゅん先生が「エール」の文句ばっかり、言っている。

『君の声を届けたい』という映画は若い女の子向けで、いわゆるオタクのために、作つてない。

フェティッシュなモノはできるだけ抜いている。いしかわ先生のために作っているんじゃない。朝の連続テレビ小説も、おじいさんのために作っていない。

おじいさん向けは70歳で赤ちゃんができた「セブンティ・ウイザン」であって、いわゆるF1層が元気になるために作っているのが朝ドラで、タイム涼介は『あしたの弱音』から『アベック・パンチ』と、それで老夫婦に赤ちゃんという、思えば遠くまで来た。（作品全体を見るとそういうリリカルな作風がある）

それで本題に入ると、NHK-B S1の方で、サイバーコネクトツーのドキュメンタリーの番組、あやしいけど、調べるのは、多根清史の仕事。

私は悪口だけ、言う。

「また情弱を騙すのかよ」

ジャーナリストの山口さんみたいな、お金を毎月ある勢力からもらえる業界関係で、風のイオナが「ゲームラボ」で、ちょっとおかしいなということを書けるのは、まあ、そういう勢力に日々のお手当をもらえるからでは？

これは「ファミ通」出禁になったから書ける。（痛い腹を探られたから出禁にする）

麻生太郎の顔がちょっとチラつく。（真面目なアニメだと「ヤツはナチストだぞ」と）電波利権問題で、NHKがコントロールされているんじゃない？ N国党が存在するのも、一概に悪じゃないんじゃないか、と、考えようになっている。

仮に、そこらと政治的に繋がっていると、いくら負けてもいいシステム、勝つるシステムというか、だからアントン・ハイセルだと。

左翼の人たちに、めちゃくちゃ嫌われる。それ、面白いか？

『電通の深層』でNHKが電通にやられてるのを知っていると、かなりあやしいけど、やはり五輪関係じゃないか？ 一方その頃、裏番にあたる地上波では、土曜の番組「いま世界は」で、黒人の描写やデモの実態とは違う描写で、なんだかなあ、フジの「週刊フジテレビ批評」みたいなことをして、NHK製作の報道・ドキュメンタリー番組を流している。

同じ事を繰り返していないか？

それから、これは三度目の正直か、二度あることは三度あるのオカルトチェック・オカルトテストになる。テスティー。

二度ある事は三度あるかというのは、実は前にNHKに取材を受けると、何か悪い目が出ている気がする。

ハドソンとレベルファイブは、ハドソンはちょっと後で触れる。

「世界ゲーム革命」で『ニノ国』も『ホームフロント』も微妙な、売れたとはいっても、なんだか思ったより数値が低いような、そういう微妙なネタだ。

そもそも論として、開発現場にはメディアのカメラなんて入れない。入れるべきじゃない。『さよならテレビ』みたいに、「カメラを止めろ！」とすごまれるというか、そういうことを言う方が「健全」。（女の子のフィギュアを隠しているとかじゃなくて）

どう健全かというと、他社のソフトのプログラミングコードを抜いて見ている可能性があるから。マジコンユーザーは実はゲーム開発者が多かったとか、ゲームが好きすぎてバラしてみたい、そういうクレイジーが開発者になるものである。（特に海外のソフトはバレないだろとやっていたと思われる）

それはともかく、『新・電子立国』で十社以上取材要請してハドソン一社だけしか取材できなかったのは、納期で「忙しい」からではなく、おおっぴらにマジコンが置いてあつたら、「隠せ」「隠せ」になるのである。

たしか『スーパーポンバーマン4』か5あたりのだったが、もう他社のソースコード読まなくてもいい。もう続編を毎年できる安定開発ラインを組めるルーティンワークで、ちょっとゲームの挙動がどうなっているか、一日潰して取材を受けても大丈夫なスケジュールに余裕ある製作体制であったから、と、今では振り返られる。

こうして相田さんが『新・電子立国』で取材したハドソンがどうなったのかというと、コマーシャルのラストフレーズのように、Bayハドソンになってブランドすら消滅している。場合によっては、「健全」にマジコンで他社ソフトの中身を覗いてなかったから開発力が相対的に弱まったという、邪推をしたくなる。

ガキ大将のまま大人になって、部下をパワーハラスメントしてそうな相田さんが、ゲームソフトに対して、なんで取材したいと思うのか、それは自身の子供が夢中になってプレイしていたからだ。

相田さんのような動機が、取材ディレクターにあったのか。

ビデオカメラの前で本音を言えない。ペン取材で取材源秘匿でなかつたら、スタッフの本音が出ない。（日本の会社員は先進国で自社を一番憎んでいる）

それにNHKは権威にならない。NHKは国策大河ドラマとして「いだてん」を作つてアンチが、反五輪派はそうとう文句言っていた。（あんまり言いたくないけどクドカンはちゃんとアビガン飲んだのか？　毒薬認定されているけど）

それと同じ。その場外乱闘のせいで、そんなに「いだてん」は悪くないどころか、政治に翻弄される五輪関係者のドラマ・ドキュメンタリーとして一見の価値がある。それなのに、評価は不当に低い。

野田さんの『エッグ』の再放送の方がみんな支持する。現在の安倍政権の出来事を見ていたからだ。サイバーコネクトツーのドキュメンタリーに出てるスタッフは、『エッグ』の中のアスリートと変わらないと、一番自分たちが気づいている。利用され記録も捏造されたものしか残らない。サイバーコネクトツーの社員は履歴書が汚れたと思って、その現実を受け止めてほしい。

4Kにする意味は、無い。（4Kテレビがすでに値崩れしているのでは？　）

五輪後に値崩れが起こると、思われているようなのだが、

立体視映像も、今ぜんぜん放送番組が無い。あの立体視映像が見れるテレビはどこへ消えたんだ。

4Kは誰のために作っているのか？

広告代理店の広告主である家電メーカーのために、作っていないか？ あんまり広告代理店の悪口を言いたくないが、イノベーションのジレンマが起きてしまうのは、売り文句になるような品物を無理に作らせてきた結果、消費者がほしくないものを作ってしまう。

なんで公共放送が広告代理店の手先みたいになっているのか、ここで出てくるのが、やはり五輪利権と、電波利権問題がからむ。

私は取材コーディネーターが怪しいと踏んでいる。目明しみたいに、その業界に通じているのだが、メディアの部外者に情報を教えるとき、バイアスをかけたもので誘導しているのではないか。

日大の件で、死ぬほどわかっているはずだけど、トンネル会社を作って、差分を会長の懐に入っていた。だから、社長の懐に入っているかもしれない。あるいは御用ライターや例の取材コーディネーターに配っている資金源の一つ、局のエライ人の接待に使っていたかもしれない。

それは多根さんの仕事。

ちゃんと受信料払っている人は、N国党みたいに怒った方がいい。あんまり書いちやいけないことだけど、この場合はっきり言うと、いつのまにかペニスを咥えさせられたのでは？

いしかわじゅん先生はいくらでも文句言っていい。

「エール」の文句言うんじゃなくて、この文句を言うべきだ。

（移動撮影でないと撮れない画角を PANと言ったりする）いしかわ先生ら、おじいさんを騙すために作っているんだから。

ゲーラボを読んだよ 7.1

ジョイメカのネタ、「東京ポッド許可局」の“あるある通じない論”と同じ事である。（『クロノ・トリガー』をプレイしたSFっ子はみんな「違う！ 時の最果てには、超意識体がいるんだっ！」というのと同じネタ あるあるだから）

幸せチョップで真っ二つになるのは、「ウルトラマンチョップするから避けてね」を真似している。『伝染るんです。』の。最近では、ULTRAMAN チョップである。

シン・コロが伝染るんです？

それで五輪がテーマの投稿イラスト、佐野研二郎くんのデザインをパクった、TOKYO2021 を送る予定ではあった。（ワンピースでもルフィたちが上に腕を掲げ

てこのマークを仲間に見せた迷シーン、カップヌードルのテレビCMでもギャグにした、皆パロディにするヤツ）

オランダの人に怒られるかもしれないけど、「ブラジルの人、聞こえますか？」みたいな、「オランダの人、怒ないんですか？」というギャグである。

で、送り忘れちゃうという完全にマンガ家の締め切りぶっちぎり問題と呼応している。シンクロニシティで最凶死刑囚編第一話。

仕方なかったから、Pixivの「スペシャル編集版2」で表紙にした。

それにしても、今号は香ばしいネタがてんこ盛り。

瞳さん（仮名）の話題と、ソニーとの確執が、離れているようで、水面下で繋がっているような、一つの大きな線が見える。

実はセットになっている。

スーファミにディスクシステムのディスクの代わりにCDを読み込める、他社製品の後追い製品を出す、その製品開発のためには、どこかと提携しないといけなかった。選んだのがCDを本開発したソニーと業務開発提携で、ところが例のアレである。親父（私が親父と言えば山内でさんざいに専のこと）が「そういう、商売やないからソニーさんはやめなはれ」とフィリップスの方に寄っていく。ノンオイルのフライヤーを作るのとはわけが違う。

漢字表記が出ないことでおなじみのクタラギさんが怒って、ゲーム機の開発に乗り出すというのが、大方の見方。議事録が残っていて公開されているわけじゃないがソニー側はPS発売後の動きを観測すると、流通革命してCD販路でゲームソフトを売ろうと、任天堂側にもちかけたのだろうが、それを親父は出来ない。

なぜなら、昭和までの任天堂玩具を売ってくれた大事な流通だから、義理も人情もある。中には全国津々浦々のタバコ屋に花札を流していた頃からの付き合い、これは簡単に切り捨てられない。

平成に入って暴対法が出来て、二次三次団体のフロント会社に儲けさせるのは、よくないと懸念があったソニーとの提携を破談させて、そちらの初心会勢力に、これからも利益を分配、親父の「他国を侵略して奪った富をハーレムの女たちに分配」である。悪名高い抱き合せ販売とか、いろいろ問題はあったけど、親父は許していた。

ソニーと手を組んで、古い体質を変えるというのは、あみだくじのゴールがわかっているから、そっちを選んだ方がいいと思ってしまいがちだが、未来はマスクされていてわからない以上、仕方ないとも思う。

三角マークの山内史觀だと、そうなる。これは伝記が書かれていない（本人に直接取材するためにはアマ六段の囲碁に勝たないといけなかった）から、謎だけど、子分たちの悪さをあんまり言わないのも、こういう事情があったのだ。

そうして庇われた流通団体だが、よせばいいのに99の矢部くんのベターハーフ（当時）の瞳さん（仮名）みたいな商品を売ったり、オランダ人じゃなくても怒られるコピー品（それもCDにソフトが山ほど入っている）を売ったり、こういう輩（現在のことばで反社会勢力）がいるのだから、今までの流通販路は止めましょう、それか賢明だらうと。（ソニーのバックに何かあるのは別として）

古い時代におさらばしましようと。「GAME REVIEW SPECIAL DOMESTIC DE-

VELOPER」でも触れている。（インナーサークルの内側）

で、雑誌では具体的には小室ファミリーの瞳さん（仮名）を出していたミスター通商と西部企画が、90年代半ばにやって…この辺りをわかるためには、『ゲームの大学』でおなじみのカタカナ横文字を理解しないといけない。

- * ディストリビューターが小売店、流通、ゲームセンターも含む
 - * パブリッシャーがソフト販売するところ、出版業界の版元にあたるから、そのまんまパブリッシャーと呼ばれる。
 - * デベロッパーは開発会社、会社=法人だから自然人でもデベロッパーという。（こらへん書評じゃやっちゃいけない本の情報価値流出）
- ゲームセンターには違う用語があるや。たぶん AMAZON や DMM.com もこれにあたる。これで『ゲームの大学』の宣伝になるから、文句言われないだろう。

ミスター通商が正規流通（ここ太字）で、西部企画が弱小パブリッシャー、それで自然人デベロッパーが橋本迷人、役者が三人揃う。

ジーコサッカー、ミスター橋本の説はあるごと否定できないのは、半分推理、エンターテイメントと聞いて欲しいが、流通と版元が同じ会社の傘下でたとえばドラクエの新作十万本を捌けるとすると、クソゲーを十万本作る。どういう利益が生まれるか、計算してみよう。（『ナニ金』読まなくてもだいたいわかるはず）

この抱き合せ販売用に作っていたのが、実はジーコサッカーなのでは？ ジーコが辞書的な意味の事故（新明解の第二義）が起きて「アルシンドになっちゃうよ！」なんだけど。金を積まれてあんなCMに出るのか。

昔はクレーマーという言葉はなかった。「これダメなゲームじゃないかっ！」と小売店なんかに文句をつけると、『おとののしくみ』でサングラスしてタバコ吸っている人（注・奥村勝彦ではない）が、「兄ちゃん、おもちゃ屋のばあちゃんを困らせんな」と出てくる。暴対法以前は、新聞社も利用して新聞の営業販売をしていたという。

人気ソフトの抱き合せで儲ける仕組みにはこういう人物が必要だった。だから、皆みかじめ料を払っていた。

それで、当のジーコサッカーは、人気ソフトの開発が遅れて発売延期で、先に抱き合せ販売ソフトが完成してしまい、宙に浮いたのを、売る仕組みを西部さんが考えたのでは？ だからミスター橋本の仮説も、成り立つ。

ジーコの話題をしたら、夢路いとし・喜味こいしのネタをやらないと、いけない。あるある通じないの八時45分の桜吹雪の刺青と葵の紋のいんの…印籠のようなものだから、やらなくちゃならない。

「この間、ドゥンガにおうたんや」
 「えっ、なつかしのJリーガーの？」
 「ちゃう、酷いえらいめにおうたんや」
 「ドゥンガやろ？」
 「ちゃう。ドゥンガ、シジマール、アルシンド（あっ！ と記憶の扉が開く）、ジ～コやあ～」

その事一故の所為で、結局歴史的には瞳さん（仮名）開発時のSFC解析で得た情報が元になり時間が経つと放流され、『ねこたこ』の開発に使用することになる開発ツールなのでは？ それは、このミスター橋本さんの仕業では？ だとしたらロマンがあるよね。

最後に「ファミコン通信」の1995年のあの号、持っていた。たしか、例の企画のメガネの人が取材に応じて、チップ入れ替えでスーパーファミコンに海賊版を動かす記事が、大手ゲーム雑誌にどうどうと載っていた。

アルシンドが横に見ていたら「ジーコが瞳になっちゃうよ」と。金を積まれてあんなCMに出るのか。

毛利名人が途中でムービーを止めて、伊藤智仁が大好きな餅月あんこちゃんが残念そうにするのを思い出す。

私は「ファミ通」を出禁になった。

西部の側だと。

小さい字指定

マミヤ狂四郎さん、ペニーオークション詐欺やカメラはもうスマートフォンのカメラが優れているとか、ちゃんとした取材マンガを描いて欲しい。でも、人のこと言えない。人買〇〇しゃぶろうとか、頭にお医者さんが被るものをつけるとか、やっている。ヤング誌だから。

クソゲーは文化とか、そうじゃなくて、クソ流通があって、それを語らないのは文化や歴史じゃなく、歴史修正主義なのだろう。

めでたい 7.9

花澤が結婚して、賢章くんがちゃんと責任を取ったから、よかった。

「週刊文春」の報道通りで、私が「西にライブに行って興行主や偉い人に誘われて、接待や付き合いで北新地に行くな！」と、アドバイスしたのを忠実に守ってくれたのである。（ミヤネはこれができなくて愛人に子を産ませて女性人気が無い）

こちらとしては、『BL論』のタツオさんと同じポジション、悪い虫（東出・渡部・山里）がつかないように、願っていただけだよ。

同じ子役出身だと、同じ悩みを抱える。「ねほりんぱほりん」の元子役の便宜上ブタの回は観ていたら、つらい。子役じゃなくなると、仕事がなくなる恐怖感といったら、身につまされる。子役経験、無いのに。

そういう同じ経験をしていたら、それは仲良くなる。

単純にコロナ渦で、やることがなく、おめでたなんじやないか、という悪い感想が出ててしまう。

余計なことを考えると、子育て大変だ。

『かくしごと』であったみたいに、下ネタ漫画家はお受験校にはじかれる。すると、どうなるかというと、後は『言ってはいけない』を読んでもらうと、『もっと言ってはいけない』と。言ってはいけないから、書かない。

日本人は選ぶ側に立ったら傲慢になるから、「ハリー・ポッター以降ヒット作が無いのか?」「ハーマイオニー、ハリーとくっつかなかったじゃん。なのになんでエマの髪形にしてんの?」「黒猫のネタとか、今言ってくれるか」「『三月のライオン』のいじめ加害者を私がやるから、いじめ被害者をやってよ」と、面接官に言われたら、ヤダよ。

こういう悩みが一致するから子役出身同士、仲良くなる。

前嫁と比べて、今嫁だった（過去形）唯には秘密結婚しろと、バレた時、そっちの方が面白いから。エリザベス女王にバレないように、エセックス伯がウォルシンガムの娘と結婚していて、それがバレて詳しくは『七人のシェイクスピア』を読んでもらうとして、いろいろあった。

初代タイガーマスクの佐山サトルもいろいろあった。新聞寿に秘密結婚して、本人同士だけ式を海外であげて、一族郎党は呼ぶなとか、それはもう新日をやめたというぐらいい、いろいろあった。

位の低い男子はダメ、いつものネタみたいに、

「わかったよ、言うよ。

ゲロえればいいんだろ！

カタリナってマリツファ（第一次産業娘）みたいに木登りするし、『オレならこう撮る』の宣伝だけど、クメダルマ親方にサンキューだよ。これを言わせたかったんだろ？

お母さんのこと思い出して、戦えなくなるのも、存じ上げております」

お腹に黒子があって、それに露をつけられたら、本物。

これ、原作者本人が明かしていいのか、マリツファの黒子が見えるときって、貞操の危機があるなどの、意味がある。黒子が露で見えなくなる、無くなるのは、もう不幸にはならない、そういうマリツファの物語が完結することの象徴で、象徴黒子制、それは読者が解き明かすのが、正しいのであって、美学に反するから、自分から言わない。（あえて美学に反することを言ってあげてるわけ「この水準は越えろ」と）

原作者がそれを直接言っていいのか、と問われたら、それはもちろん野暮だろう。

話を戻すと、これは外したら恥かしいし、相手に迷惑がかかるから、おおっぴらに言えない。「プロメアと炎炎ノ消防隊、どっちもワヲンちゃんが戦う炎のモンストルムが元ネタだって事で、仲直りしてくれませんか？」

何が悪いって、りりぽんが売れなかったのが、一番悪い。関東の芸能人が皆、援護射撃してくれたのに、なにやってんだ。梅宮辰夫の言葉を借りれば、「稀代のワルだ」。

* 黒猫のネタとは、テレビ放映版ではピー音が出るヤツ。面接官に「ユエって、マリツファちゃんの二番煎じなの?」と言われたら「そうだよ！」と返す。

アオイホノオ史観 7.19

訂正というか、謝罪会見なんだけど、京都アニメーションの八田社長は岡田斗司夫らと、同世代ではない。

本当につまらない、ニュース報道で（69）が（60）に見えていた、そういうつまらないうっかりミスだったと、思われる。

できるだけ冷静に努めていたが、やはりどこかで、ショックや動搖も、自覚せずにあったと思う。『氷菓』を観ると、感情的になったりして、心うち振るわされるからだ。

ただ、ガイナックスがウサギで、京アニがカメであるのは、変わらない。カメであるのは、もう明白。これは議論の余地無し。

ウサギについてはいろいろと、シャフト説をとりたい人には『遺言』と『の一てんき通信』を読んでもらうと、ガイナがどうしてウサギか、それはリードをしたら油断して御伽噺通り昼寝をするからだとわかつてもらえる。（だから新作のエヴァ映画がなかなかできない）

『アオイホノオ』も読むと、ダイコンフィルムのエピソードを立体的に見えて、『教養としてのまんがアニメ』でも客観的に語られる。ダイコンフィルムは実はアニメーション三人の会などの、テレビアニメの裏側にある上映会の文脈にあるアニメで、つまり社長さんはダイコンフィルムは話には聞いているけれど、S F大会で直接は観ていないだろう。やはりテレビアニメ製作の裏方であるが、逆に関西だからエコーなどの繋がりがあるのか、この辺りの話は、春日太一さんがインタビュアーで、創業から現在までを社長さんに語ってほしい。アトム派か鉄人28号派か、ヤマト派かハイジ派か、そういう基本的なことから、木上さんを雇うという事は、家内制手工場から生産ラインが組まれた工場の工場長を雇うという事だから、そこは決断があったのか、流されるままだったのか、春日さんに応えてほしい。

たくさんの有名俳優の声を訊いてきた、春日さんが適任と思う。

なんとなく…悪口に聞こえたら、申し訳ないけど、映画を配給している松竹の偉い人と京都の料亭で何かビジネスの話ををしていそう、という勝手なイメージしかないので、興味本位かもしれないけど、ちょっと知りたい。

ただ、アニメの業界だろうが、どこの業界でも、結局『ビジネス書はなぜ間違うのか』にあるように、まったく同じ事をしても成功する保証は無いのは、言うまでもない。

話は大きく変わるが、京アニショップのマスコットキャラのバジヤのアニメがある。その『バジヤのスタジオ』は、驚くべき作品なのである。

わざわざ言わなくてもわかる事だけど、ハムスター=ねずみと、アヒルのおふろ用（？）玩具で、ドナルドダックとわかる。大川博の「東洋のディズニーを目指す」の呪縛が21世紀でまだ、あるんだ！ と、驚く。宇多丸師匠の好きな言葉、禅譲、自然と日本に禅譲されたのに。

現在、ディズニーはもうドロイング・アニメーションの映画を作っていない。90年代にディズニー映画が持ち直した（ディズニールネサンスと呼ばれているらしい）のだが、この時期ににコンピュータを使う、CGIでアニメ映画を作るという禁断の果実に手を出す。

それが二十年も経つとアニメでしかできそうにない事が、実写映画で可能になり、『美女と野獣』『アラジン』が撮影可能になる。ドロイング・アニメーションをわざわざ作る必要が無いのだ。

自然とディズニーアニメ映画は日本に譲讓されていたのだ。

ナイン・オールドメンの最後の薰陶を受けた世代が、へんてこりんなギークのティム・バートンとからくり人形職人のヘンリー・セリックというのが、ディズニーの運命を物語っている気がする。『リトルウィッチ・アカデミア』みたいに、うまく引き継げなかつたのだ。

それで映画業界の独禁法にあたるというぐらい、巨大な映画帝国を作っており、マーベル映画やスター・ウォーズシリーズで、世界中で荒稼ぎ…（ちょっと口が過ぎた）

ピクサーとの協同なのか、単独なのかよくわからない3Dモデルのアニメは作られているが、手描きのアニメ映画はこの表現が正しいか「卒業」している。

それで私が嫌いな読売新聞の記事を読むと、「大藤信郎がいた」と読める。そのアニメーターが『リズと青い鳥』に参加していたら、大藤賞を取る歴史的意味と必然がある。

アオイトリ、青い…炎史観。

小さい字

後日、7.18の日付の朝日新聞とか、毎日を読むと、秋本治が『響け！ ユーフォニアム』の影響で『ファインダー』を描いていると、知った。湖川さんと押井さんと在籍時と被っているのか、そもそも、山止たつひこがタツノコプロのアニメーターだった事を私は知らなかった。

無知であった。無知を恥じなければ。ショコタんが『かくしごと』を知らな（以下エンドレス）

八月の大相撲 8.2

千秋楽である。

コロさんこと、新型コロナウィルスのせいで、八月に大相撲があるという事態になった。

大相撲はコンタクトスポーツだから、相撲していること事態、まずいんじゃないのか、などは大丈夫である。

ラジオをつけっぱなしにして、こういう日記を入力しながら聴きで、つい展開や決まり手がわからないというか、うっかり聞き逃してしまい、勝った力士を間違えたり、いろいろ聞き違いがあったりする。

それで「大相撲ダイジェスト」のNHK版の番組、深夜や朝四時にちょっと見る機会を得ると、

「ああ、こうなっていたのか」

と、わかる。答え合わせになっている。

イゾラド親方、この話題は避けよう。

小さい字指定

今日は何の日では、はっきり書くが、アスタリスクの日だった。だから、お相撲さんも今日だけは、褲をしめずに女性物下着をして、総理大臣賞でアキエのモノをあげるとか、ユーモアが必要だ。吐血についてはフェイクだから、デス似顔絵にあたらない。

「阿炎にできる～ことは キャバクラ通～い♪」と、RADWIMPSに歌われた阿炎だけど、後に引退届けを出して、シャレにならなくなつた。

熱が出て飲んだ薬は「阿炎ガン」とか、タミフルみたいな副作用で「阿炎叫喚」とか、まったく関係の無い「阿炎ゲイル」とか、星のカービィのTVCM「なんでも吸い込む～、星の阿～炎～」とか、その星は八百長で買った白星とか、『メイドイン阿炎ス』とか、中年オヤジが好きそうな、そういう笑いを邪魔する出来事だった。

愛が歌詞にあるのは、多いから「阿炎のままに♪ わがままに♪」「阿炎♪ さんさんと～♪」と、A I ひばりがビーズの歌を歌ってくれる。

映画のコピーも『阿炎公物語』なら「阿炎はいつも一生懸命です」、『マリリン（キャバクラ嬢の源氏名）に阿炎たい』なら「阿炎がとう、こんなに阿炎いっぱい」になる。

ここまで阿炎にネタを提供してもらつたら、どこかのお大尽がタニマチになってくれて、年寄り株も買えて親方になり、そんな風になつたら横柄な性格になるから、ラジオでイゾラド親方な性格が露呈する。（結局、イゾラド親方の話をする）

ダメ虎列伝 8.20

久しぶりにダメ虎の話。

紳士ご用達の「週刊文春」で僕らのヒーロー清武さんが、連載をしているじゃない？

それに「サラリーマン球団社長」よると、オーナー側に、勝つが気が無い。（すでに連載は終了しちょうどよく示し合させたように単行本が出る）

人気があって、観客動員があると、優勝しなくていい。

利益が出ているから、下手に冒険しなくていい。

Aクラス入りして来年、優勝しそうかなとフロントが判断すると、有力選手を他球団に放出する昔の横浜よりはマシか。

フロントのスタッフに、後に日本ハムに移籍する人を放出する。それでヒルマン監督で優勝や、ソフトボールのキャッチャーに飯を食わせたり、大谷くんに二刀流（バイセクシャルのことではない）をやらせたり、いろいろ、それは阪神でできなかった。

巨人戦三連戦で27イニングス無得点という、道頓堀で暴動が起こるクラスの負け方をしている。

藤浪くんなんて、デッドボールでイップスになったんだよ（イップスになってない？

ここらへんは公開されないからわからない）。それで巨人のプロ野球選手北村が悪い奴で、その発言は皆さん報道されているので、知っているので蒸し返さない。（日刊サイゾーを参照し微に入り細をうがつように読みなさい）

「新庄くんのウルトラポジティヴ」（『野球読本』収録の宣伝行為）でも触れたダメ虎暗黒時代、それが思い出される。

「BLAINGOLF」の藪しか勝てない。

絶対にノーヒットノーラン出来ないパワプロの湯舟のステータス。（テレビゲームをやった事が無い人を切り捨てする、阪神ファンには衝撃の亀山を含めた大量リストラ事件を髪髪させる）

ノムさんが来ても毎年最下位でID野球ですらダメだった。

「野球とは」「プロとは」「佐千代とは」「脱税とは」の“とは教育”に新庄くんはついていけなかった。（「スーパーカー」と「ハンバーガー」しか英単語を知らない子にそんなこと言っても）

ノムラスペシャルとは明日無き投手リレーである。

「紳介はんは『坪井今岡、坪井今岡、代打八木』と言っておったわ」

と、「人間マンダラ」でバカにされていたらしい。

選手生活数年間で二本しかホームランを打っていないのに、一試合で二本打った久慈。

新人の今岡と守備で交錯してケガを負わせたハイアット、奥さんがソフトボールの選手でストレートしか打てないと言われた。

松井にウイニングショットのシンカーを打たれる川尻、二宮清純は「ツーストライクからホームランを打つ」と、言っている。落合も同じことをする。基本的に配球を読まなくていいが、ウイニングショットで撃ち取れないなら、プロでは通用しない。投げるとわかっていても打てない球のアウトピッチがないと、ダメなのである。（山本昌が同じコンセプトの番組に出たのは見逃した）

中込に中谷はケータイ電話を投げられて、顔にぶつかって視力を下げるという、打率が下がることをされる。

テレビの「爆報フライデー」の宣伝スポットで映ったら、オイラも思わず携帯電話を投げた。八百長が被害者面すんじゃねえ。相撲取りか中込か、中ゴミ、と。

「とりみだしてすいませんでした」

アスタークリックスフレンドに訴えられた、菊地くん。（今年のグリピー・オブ・ザ・イヤーを東出渡部を抑えて受賞）

彼は、阪神の選手ではない。（早く、おいでよ）

小さい文字指定

9月11日の段階で、気の早い優勝ラインを考えると、だいたい残り50試合で仮の計算では、巨人が20勝30敗、阪神が30勝20敗でないと、逆転優勝は無理。

逆だからね。32勝18敗の勝率だから。もう、ぶっちぎり優勝。

クラスメイトが「口からうんこを吐いた」 8.30

小泉純一郎の最大の失政は後継者に安倍晋三を選んだことである。

長かった安倍政権は終わった。

ということは、今の閣僚で大臣職は皆辞めるのである。続投されるのは、オリンピック大臣だけか？ アッキーの上に乗っているのが安倍マリオじゃなくて、安倍マリオの上に乗っているのが、アッキーなのか？

国会を開けなかったのは、病気が理由では無いと、疑っている。

デマ報道なのか、真偽不明だった吐血情報である。

大腸炎の再発という事を会見で言っている。

しかし、仮に吐血報道が正しいなら、大腸炎じゃないだろう。

小学生の時に、別のクラスの友人が、昼飯時に「クラスメイトが口からうんこを吐いた」という、ありえない事を言っていた。

大腸の便は逆流しても、小腸で止まる。何か菌に胃腸が侵されても、上から下からで、この場合下から出るのが、病理的に言って正しい。

不可解。解剖学的大腸の出血が吐血には、繋がらない。

血便を糞食すればあるが、基本大腸からの出血で、吐血は無い。粉飾はあっても、糞食はしたのだろうか？

何度もくり返すが、政権発足当時、経済政策には期待していた。結局アベノミクスで電子書籍が売れるというのは、無かった。

期待外れだった。（よく考えたらアベノミクス不況かアベノミクス零成長が正しいようだ）

Pubooもブクログから運営が代わることもなかった。リニューアルトラブルもなかった。

日本銀行によるマネーサプライで乗数効果があるはずが、無かった。

任期半ばで運よくトランプ大統領になり、経済政策で期待できるので、ニューヨーク株式市場が刺激を受け、リンクしている東京株式市場も高騰している。実態経済と離れつつある。機関・個人の投機目的の投資家は、さらなる投機の運用資金にするだろうし、株式が高騰しても、トリクルダウンは起きない。

毒親である父が買ってきた「週刊ポスト」の記事に拠ると、嘘ばかりついている。あげればキリがなく、これでは千三屋である。

なぜか「私は立法府の長」だけは、記事には無いが三権分立を知らない、わかっていないお年よりはけっこういる。たぶん、編集部の上司が知らなかったんじゃないかな。

あの第一期の頃に、すでに嘘をついていて、ブッシュ Jr. には従軍慰安婦に謝罪したと言ったのに、国内メディアには謝罪していない、と。（当時の資料を見るとごほん論法はここからもう始まっていたのか？）

近年の従軍慰安婦問題をもつれさせたのは、安倍さんであって、終わっていた従軍慰安婦問題を再燃させて、マッチポンプなことをしている状態にあったのではないか。

まともな右の人は、この件だけで、安倍さんをおかしいなと思う。（籠池さんみたいなまともじゃない人が…）

私はどちらかというと、右よりである。

自衛隊は国軍にした方がいいと思っている。

尖閣沖開発でエネルギー資源を向こう数十年間はまかぬ。沖縄振興にもなる。

石油プラントにして米軍基地も併設した海上都市を作り、近未来にあるという想像の未来都市で、カッコいいなあと思うものを作るのである。右翼の人が大好きな日本技術で。

核武装派で、そのための原子力発電所の持続的な運営なら、原発現状維持派。プルトニウムがいるから。役立たずのマーク 1 は廃棄しろ、と。

その廃棄場所は、となると朝鮮オンカロ構想である。

これは、安い特撮の敵が考えることだ。

ノムさんがモデルの右翼のフィクサー、ミスターノムで、ミスターノムは、ノムリッシュ有。セフィロスに「サチヨはもう笑わない。哀しまない。泣かない。お金を隠したりしない（一番読者に伝えたいこと）」と言われて、少し気を病むという、FF7のストーリーとまったく同じ（中略）「掘●わよ！」（ここまでがワンセットで新しく「嘘をつかない」を足す）

安倍さんには、「それ」が無い。

思想も構想も無い。

星野源が「家で踊ろう」と呼びかけているのに、踊らないで、紅茶飲んでいるって、ヘンだと思う。あなたの動詞の「踊る」は「座って紅茶を飲む」なのか？ 左系の報道を見ると、「官僚に踊らされている」ということ？ これが、安倍さんの支持者がよってたかって「ヘンじゃないよ」と、言うからなおさらおかしくなる。

外交も中国が怖いのか、アメリカに気を使っているのか、よくわからない。

何度も書くと、尖閣諸島には中国船が来る。民主党政権時の比じゃ、ないんじゃないのか。

中国船の浸入がおさまるから、安倍さんじゃなかったのか、なんだか、外交も期待はずれだった。巡視船も保安庁の船にぶつかってくるし、なんとかしろよと、現場では「安倍憎し」と思っている。仙谷さんから代わったら、うまくいくんじゃないかと、思わせる期待だけを膨らませて、同じだった。

北朝鮮はミサイルも飛ばさない、核開発も停止させる完封ができる、褒められるのに、ぜんぜんできてない。

期待外れも甚だしかった。

小さい文字指定

「週刊ポスト」の記事を読んで、さらに読売新聞のインタビュー記事も併読すると、「病気は仮病だったんじゃないかな?」と疑いたくなる。詐病とは、さすがに言わないが、糞食しないと大腸炎で、吐血なんてしない。担当医も診断書も出さないとされる。

総理大臣を辞任して支持率が上がるって「やめて、よかった。おめでとう」と国民が思っている。

後から、星野源の事を仕入れると、中邑真輔みたいにマイケル・ジャクソンに憧れて、ダンシングナンバーのヒット曲を生み出したくて、そういう歌手だと。それで「家で踊ろう」だったわけで、なのになんで踊らないのか? 私のように、星野源くんをよく知らなかったのか、よくミュージシャンに「政治のことをよく知らないで言うな」(こんな事バイト右翼しか言わない)と言わせる前に、芸能人のちょっとした個人の事を知って置かないとブーメラン。

大人計画の芝居に出ていたそうだから、好感を持ってしまって、なんだか可愛そうだ。
水上都市、「リンガンに出そう」。

コンティニュー、売ってないぞ 9.12

今回の日記は、おススメしない。

『たけしの挑戦状』でパチンコ屋で「出玉がでねえぞ」と、ツーワンのマイクに喚くみたいな、そんな日記である。(ここからずっとツーワンのマイクをONにしているから気を抜かないでね)

僕たちの夏の課題図書こと『黙示録』を読んだから、「たけしさん、暴力ってなんですか?」と、ツーワンのマイクに呟くみたいな、そんなネタである。

ここらへんで、ファミコンをやった事の無い読者をバッサリ切ってる。

かねてから、小田部洋一さんの問題を懸念というか、小田部さんにたけし暴力じゃなくて、任天堂に所属していたけど、何をしていたのか、よくわからず、やっと「ファミ通」(私は出禁になった)に任天堂在籍時についての講演記事が載って、とりあえず、まあよかったね。である。

「CONTINUE」n号(何号か忘れた)で、こたべさん(注・小田部洋一さんは「こたべ」と読む)のインタビュー記事がある。たしかに、私が読みたかった企画だ。

しかし、太田出版はしぶちんだ。

単行本が出なかったら、どうすんだよ。

仮にインタビューをまとめたモノは確実に出版すると「上」に確約がとれたから、連載がはじまったならいいが、それが無かったらけっこうな肩透かしというか、表現を和らげなければ期待はずれで、小田部さんがかわいそう。

「アトロク」でハイジにすら辿りつけないと言われたロング小田部ロード、それが書籍にならないと、けっこうまずい。

正直に言うと、ちゃんとアニメ研究の場で、採算度外視で語られるようなアニメ史の記録として、作られてほしい。だからアニメーション史の津堅さんがインタビュアーなのが、イメージキャストじゃないけど、正しいだろう。

ところが、それだとアニメーションの側だけしか語られないで終わる。小田部さんの小出しで終わる。「なか…はいいか。

（どこかで思いっきり「あおぞら」と誤植がある事で有名なアニメータードラマ）「なつぞら」の奥山パートナーが、どうのこうのは出来ちゃった婚だと、それは「なつぞら」じゃなくて、「なか…はいいや。

そういうえば、許可局員でないのにパートナーと言う。『エンピツ戦記』の館野さんも真似してパートナーと呼ぶ。（『サザエさん』でフネさんの作画していたら、これが本当のパートナーシップ）

『高畠勲を読む』でも部分的に、「こういう仕事をしている」というのは、わかる。小田部さんがある動物を描いて、それが元にアッキーが大麻クッキーに舌を伸ばす。アッキーのクッキーである。（こういう風刺ギャグはいらない）

ヨッシーのクッキー、つまりスーパードラゴンの起源は小田部さんだって、事実が判明しているだけで、ゲーム史上、すごい事なんだけど、そのジャンルを知らないと、まったく重要性がわからない。

野球でメジャーリーガーを参考に高速スライダー、カットボールをある人が投げるようになったとか、サッカーで競技球のつくりで無回転ボールを蹴れると気づいた人物は、そのスポーツ史では重要でも、関係ない人は価値が無い。

情報の絶対的価値は変わりなくても、相対的価値が受け手によって、違う。無回転シュートを野球の人は「ケッ」だし、「何がカットボールだよ」とサッカーの人は思っている。反転である。（だから『高畠勲を読む』も小田部さんにアニメ史の事を語ってほしいからサラっと流してる）

貴重な発言であると、同時に記録でもある。

本当に本屋に売ってなくて、最初から読んでいなかった。

もう二回目のはずだ。（立ち読み情報）

小田部さんが台湾から引き上げてきたのは、知らなかった。「なかだ…で一久さんが台湾出身設定だと、大陸に売れない情報流出である。

「水曜日のダウンタウン」で、雑誌の内容をブログに書かれた断片だけで、構成して内容が全てわかる企画をして、機会費用の損失がどれほどあるのか、ちゃんと調べてほしい。

「ゲームラボ」は買うけど、「コンティニュー」は買わない。

「欲望とは他者の欲望」だから、ナッジする。

小さい文字指定

二十周年記念企画で、御子柴くんが途中で投げ出した「実録・日本の野球ゲームを全部やってみよう！」の後編を、オイラが代わりにやってみたい。

とは思う。

自慢したいから、大河内一楼をマウンティングしている悪者の私が、読み返すと、クズカゴって渾名が酷い。「リンガン」だと「テレビを離れて明るい部屋で見よう」と同じテロップで、「今回は大河内脚本回なので予算が少なく、作画が悪いです。放送枠の穴埋めの回なので観なくてもいいよ。シリーズ」と出したい。

スポンサーに怒られると思うけど。

CMを観なくてはいけないんだから。

誰かの評価したものが欲望で、それは詰まるところラカン派の「欲望とは他者の欲望」である。

お前の評価はどうなんだ？

どれなんだ？

つまみぐいがされて、イヤな気分にさせられたことはあるか？

だけど、仕方ないよな。マスコミって勝ち馬に乗り続ければいい。

扉が表紙なものも、バックナンバー紹介の頁で知ったから、発行部数は少なく、売れてる流行っているのを特集しているのは、ちゃんと売れているようだ。だけど、ゲーム系の特集をすると、売れ残る。ある本屋に行くと、いつもあると観測で出ちゃってる。（流行ってるモノだからナンでも特集できるとは限らず、例のブームに乗ってるジャンプマンガは「クイック・ジャパン」に横取りされるかも）

「貸せっ」（長州力のマネ）

『封印作品』の人、予算をずっと持ち出しでカネが続かず、ライブドアに入社して、ラインになってそこで働いている。当時、太田出版の人に「ここで止めたら負け犬だよ」とジエンダーを刺激して、動かしていた。「ルーザーで男らしくないな」と取材費用を助成しないで、ずっと自転車操業で働かせて、苦しくてライターの筆を折らせた、と。同じ事をさせてないか、懸念。

近所に住んでいた男の子が、ツーコンをお尻にあてて「ブヒッ」とマイクに拾わせ、テレビのスピーカーから放屁音を鳴らした。昔の話である。

電子書籍製作大変だ 10.10

広 vs ヤ という表記を見かけたとき、広島ヤクザが内部分裂と思ったら、広島カープとヤクルトスワローズの対戦の事だった。目が悪い。目が悪くなつた。

ともかく年を取りたくないなあ、年寄りは何を見ても感動が無い。

メジャーのプレーオフを観ていると、「すごい」と。100 マイルのボールを投げて、その球をスタンドに叩き込む力自慢たちが大活躍する。かつて 140 キロのスライダーを投げた松坂くんで驚いたのに、161 キロの動く球を投げる、球速インフレしてゐる世界。

マンガの中でしか読めなかつたものが、映像で映つてゐるのだ。（アロセリナのホームラン記録とかね）

わざわざ、BSの受信料を払っている価値がある。（たまに録画して観てた）

ところがまた、毒親の話題で申し訳ないが世界中から四番打者、100マイルボーラーを集めている大リーグを見て「日本人が出ていない。面白くない」と平気でお茶の間で言うのである。いがらしみきおの『のぼるくんたち』だよ。ホラー、怖い発現までしている。

それならオリンピック観ても面白くなんかないよ。世界各国のすごい人たちが集まって、フィジカルパフォーマンスを繰り広げていてもつまらないだろう。それはもう、プレオフのメジャーリーグでやっているのだから。

日本人が出ていないから、つまらないというなら、そこにたとえ日本人が混じってメダルを獲得して、なんでそれを面白いと思うのか？

なのに、東京オリンピックが楽しみだと、矛盾する事を言う。

いろんなものを経験して、過去の経験を上回れないのはわかるが、感動の無い世界に生きるのは、本人にとってはいたしかたないけど、他の人には、迷惑千万、純粋老害だと。

さて、メジャーリーグと同じぐらいのバリューは出せるのかいうと、かなり難しい。たとえスポーツバリューがあっても、こうして面白くないとつまらないの烙印を押される。

今の消費者はたった5円、5円のビニール袋を買えないのだから。

環境問題に感化されたわけじゃないのだ

マテリアルとしてのビニール袋には、末端価格5円の価値はある。川に投げ捨てるつもりがないなら、買ってゴミ袋代わりにするか、何かいろいろできるだろう。（スーパーのカゴを盗む人は、元々レジ袋を道端に捨てる人）

町指定のゴミ袋を買い物袋に一時的に使うとか、そういうちょっとしたアイデアでカバーできることを、怠っている。（指定ゴミ袋を束で売るんじゃなくて一枚一枚バラで売るとか、いくらでもできること）

だから、たった99円の電子書籍を購入するのすら、ためらうのだろう。そして、現役世代は、消費する時間が無い。

amazonの方から、アンケートが来て、電書制作に関して、いろいろ聞きたい事があるようだ。

う～ん。

電子書籍で生計を立てるつもりですか？ とか、理由を聴いてきた。

デンショで生計を立てるのは、難しい。

すごい人気者であるとか。

だけど、有名税は払いたくない、せめて有名税を払っても、「走るマイホーム」みたいな高級外車を乗り回せるとか、そういうメリットが無いと誰もやりがたい。（高齢者マークを付けた車を走る老人ホームと、同じネタを繰り返す）

テラさんの本が売れれば、一ヶ月のプリント代は、なんとか…なってないや、月に五・六冊売れないと。プリンターのインク代はけっこう高い。

こづかいかせぎはできるけど、老後にアマゾンで、出版とかはやらない方がいい。ボケ防止に何か、読み物を作成する程度。（ゴールドラッシュでジーパンを作った方が金塊を求めて掘るより儲ける、同じネタを繰り返す）

商売敵を増やしたくないからじゃなく、メジャーリーグが面白くないと、老害を吐きまくるわけで、それは皆の迷惑だから。

老害撒き散らし本を読まされて、最後に、

「それオレの作っている本じゃないか？」

と、老人を出汁にしてオチを作る。

小さい字指定

巨人ファンの両親は、全勝しないと、満足しない。それなら「勝てばいい」に、なってしまう。これは巨人軍が百ペん優勝しても、面白くねえよ。

何年も優勝に遠ざかっている他のチームのファンからは、贅沢な悩みだろうなあと、思われる。

自分の親だから言えるけど、『第三野球部』の「オレたちはロボットじゃねえ」とたけしのトイレで二分間ピンタ、暴力という形而上学！

ゴールドラッシュのネタの続きか、Youtuber をやるよりも、家庭用撮影機材を売った方が儲かる。

そういうえば、エホバの証人輸血事件で息子に輸血しないのをドラマにした、ビートたけしが主役で、流通の直営小売店で働いていたはずで、天気予報で仕入れを変えたり、いろいろアイデア出していたのを、思い出す。

そんな人が命より、信仰の方が大事だという、ドラマ。

茂ジミン 10.23

石破茂という政治家は、カソリック教徒である事を別に本人は隠しては、いない。しかし、大きなメディアでは報道されない。

そして、いろいろ宗教には事情があり、正教なのにカソリック法王を頂点とするとか、ややこしい事情がある。

教皇も法王も同じ意味なんだけど、違う意味があるような気がする日本人向けな「四教皇の年」の元ネタは、そもそも「四皇帝の年」であって、本編でも語られる通り、誤解されたヨーロッパを表現するから、あえてやっている。教皇が暗殺されるは、情死するわ、退位する最終教皇が市村正親さんに声をあててもらって、十字架を握って絞り出た血で双子に鮮血洗礼する。

ま、一年で入れ替わり四人めがアントニウスさん。

正教の方を教皇とするとか、カソリックを法王とするのは、便宜的な区分けで、教会内では通用しない。で、女教皇ヨハンナは伝説に過ぎず、ヨハネ・パウロからずっと教皇の記録が残っている。そういう事典もある。識字者が少なかった頃の口伝による伝説と思われる。

そんな教皇様が、シチズンユニオン法を認めるメッセージを出した。

前後して石破茂が派閥（くらげ会？）の長をやめると、発信した。あまりにも、タイミングが合いすぎている。

憲法の「両性」がどうのこうのを基に、反シチズンユニオン法を制定するのが、彼の自民党総裁、自動的に総理大臣になった時の、目標だったんじゃないかな。

というシナリオを邪推ぐせて勝手に考えてしまう。

同性愛は法律違反にするロシアの国内法みたいなモノで、特別強制施設で入管みたいなところをして、収監者にピンクトライアングルを入墨をして閉じ込めて、ホルモン投与して…（設楽ナチスに番号で呼ばれる）

私は石破さんはクリスチャンだから、LGBTの政策に消極的どころか、過剰な反応を見せて、杉田水脈みたいなヤツラを糾合できるのだから、自民党内の議員も賛同すると、ネガティヴシナリオを考えていた。

LGBTの勉強会とかやってるけど、やってますポーズ、やってますよジェスチャアをしているにすぎない。ポーズやジェスチャアじゃなく、本気ならシチズンユニオン法はGO TO トラベルみたいにすぐ法制化される。

それで、総裁となり、反シチズンユニオン法を制定し、戦艦のプラモデルの前でニヤニヤしている茂、という妄想が脹らみ、戦艦の上に十字架を…ところが、教皇様に、はしご外されたんじゃないかな、と思う、思ってしまうような派閥の長の辞め方だったのだ。

新潟にもいたLGBTを排斥する人と同じ内容で、うかつにそういう発言はしていない。逆にLGBTに理解を示す発言も無いので、茂の腹の中がわからない。（最近は世田谷の区議みたいな発言）

憲法改正も、理解を示したいけど、シチズンユニオン法に関しては、憲法違反であると全国で条例も作っちゃいけないと、あの結論を抜いた話し方をして、全国のジミン議員に「お前ら、オレの言いたいこと、わかって、いるよな？」と、下々に思い知らせる。

イヤなのは、本人がゲイであった場合だ。

そこは、まあ、アメリカだとそういうケースがある。

『ロジャー・ラビット』の「ヤツはアニメだ！」みたいな事だろうか。

たしか共和党議員で、福音派の支持を得るために、ゲイ弾圧政策に加担し、そんな人なのに、トイレでどうのこうの発覚し、いろいろあって今では同性愛者を支援する側になつたそうな。（たけちゃんにバレて「いい趣味してんな」と）

政治家だから、本当の事は、言ってくれないかもしれない。

茂という政治家が頂点にいるジミン党を見たかった気もする。不敬だけど、法王さまと天皇さまを並べて。身体が教皇様に引っ張られている姿を思い浮かべてしまう。

小さい字

バイデンさんがカソリック教徒で、それは報道するのに、自民党総裁になろうとする人がローマ・カソリック教徒だと、報道しちゃいけないの？ どういうこと？ 聖教新聞のCMがあるから、国内の宗教にはノータッチなのか？ 国内でも1%もいないカソリックに気を使っているの？

国内法と海外のある国の法律が違うなら、話はわかるけど、国内の報道と海外の報道は二重基準だと、「まあ、実はそうだったんだね」と何故か納得してしまう自分がいる。

垂と龍統の一二三つぶり 11.1

ラムネを飲みたくなるアニメを観てから、寝たのか、寝ていないのか、たまたま月初めの第一週日曜日は、ケーブルテレビ無料放送・解放日で、人形劇の「三国志」の放送を少しばかり観た。反社の舎弟と切り離しロケットの二人が途中で解説を入れるシーンが無い。

そんな編集版である。

人形劇「三国志」の普及のためには、二人とも切り離しロケットになってもらう。二人とも、「宇宙に連れてってもらえない」

番組と番組の間のCMが長い。

無料放送だから、いいけど。

放送 45 分中、30 分間人形劇で、15 分CMという、テレビはコマーシャルが本筋、という民放のこれがぼくの生きる道。だからヤング誌三分の一が宣伝だ。

あばたがあって、天然痘からの生還者じゃないのか、龍統（本当は龍の字に垂があるホウトウ）の加藤一二三っぽいのか、見てみると、矢のライブアクションがすごい！

『蜘蛛巣城』よりは、すごくないけど、『影武者』じゃなかったっけ？ 白竜に当らない。

白竜さんに当ったら、大変。（注・馬の名前が白竜でこんなくだらない日記を読む人は知識として当然知っている）

サンファンこと、『Thunderbolt Fantasy』では真似できない、というか、CGで処理してしまう。澤野が作曲して、西川くんが歌う！

眼帯の人が矢を放つまでを撮影して、CGの矢で刺さったら、プロップに差し替えというカットで編集する。

中国の人たちと技術交流で、安い賃金でこき使われたのか、この頃からチョコエッグ問題があるかもしれない。川本さんは中国経由で大陸ルートでチェコに渡って、中国にちゃんと想い入れがある人。それに師匠も中国にいた、詳しくは持永只仁の本を読むか、WOWOW のドキュメンタリーを観て、それで人形アニメレビューが載る予定の「GREEN BOOK2」を購読して、三分の一が宣伝になっちゃった番組みたいになったけど。

あたり前だけど、自分自身を指差している動作は、やった事があると、なかなか難しい。人形の操作である。（自分を指差すのがなかなか難しい場合、ロイコクロリジウムに寄生されているだろう）

サンファンは昭和の時代に、たくさん作られた特撮ヒーローものであると。シリーズ作以外、絶えてしまった特撮の新しい系統と思えた。（「映画秘宝」の平成特撮図鑑を見ると、ぽつぽつ作られている）

『シン・ゴジラ』の負けられない戦いは、前年に『進撃の巨人』があり、特撮はよかつたけど、小さい人は大きい人（明智光秀さん）になったり、先に完結する内容で、そのストーリーは実は原作準拠で町山さんも、そこは原作者と話しているらしいので、原作の『進撃の巨人』が完結したら、映画版も再評価されてほしい。

脚本を詰め込みすぎたのも、あるかもしれないが、副音声映画批判を反省して、役者に力が入りすぎた芝居をさせないで、スピードをもった早回し演技をして、上映時間を短くする。『うぬぼれ刑事』みたいに。（すると、東宝の伝統的パニック映画じゃ、なくなる）

副音声映画じゃないのに、成功。（昔の映画を観ると弁士が話していることを直接俳優が話しているかのような副音声映画があったりする）

ホントウの話をしたかったのに。

ホントウは、放送では加藤一二三みたいな天才性が出ているところを見れなくて、仙人みたいな人の何かオカルトが語られて、その通りになりましたという。

何か肩透かしくらったという話。

その肩透かしを、お・す・そ・わ・け。

尿スピ禁 11.13

時間というか、スケジュールがわかるのを避けて、歴史修正した発言で、

「ビデオで放送大学の講義、人類学系のテレビ番組を見ていて、そこで『老人Z』をとりあげていて、ついでに筋肉アカデミアを観たら、よつんぱいになって肛門を鍛える（骨盤底筋群？）トレーニングをしていて、なんだかなあ」

と、思っていた。

それで、レビュイ=ストロースの本でも読んでいるということに歴史修正主義的な事になってる頃、お向いさんが散歩中に、転んでしまい、膀胱がパンして、失禁したらしい。おじいさんおばあさんの情報網から、お年寄りの失態を面白おかしく話す悪。（新型コロナウィルスの罹患者をなんとか見つけ出そうとするゲシュタポ老人に見つかってしまったのだ）

これをある番組にメールを送ると、

「スピッてる」

と、必ず言わせられるので、あえてメールを送りはしない。

「おくゆかしいから」

老人がボケてるネタというか、悲しいよ。

くだんの翁は車の車庫入れが難しくなっていて、ちんたらしているのを何度も見かけて、「大竹（まこと）さんの車みたいに、スマホにピッとすれば、自動で車庫入れ全部

やってくれるヤツ買えばいいのに」と、マリー・アントワネットみたいな事を思っていたら、師匠のネタの「ドゥンガ」「シジマール」「ポンセ」「アルシンド」（記憶の扉が開いた顔をする）「ジーコ」こと事故を起こされると、ご家族が面倒だから、自動車運転免許を返上したのか、車に乗らなくなった。（もみじマークを付けている車は走る老人ホームとか、おなじネタをどこでもやっている）

そういえば、放送講義で引用されたVTRのセリフの中にもあった「排泄が老人を社会から遠ざける」と、老人は身体が弱くなり、身障者のように扱われる。

本人はそんなふうに、扱われるのが、イヤだろうが。

これは報いを受ける。

ライフレグ的にこんな日記書いたら、じいさんになった時に膀胱がパンする。（後日「真実への鉄拳」を観ると中国拳法家を弱いものいじめしているのと変わりない）

少し知っている人の話題を解禁したけど、また封印だね。

これからは、もっとプロフィールにあるように、有名人（伊集院光の写真をチラっと見る）の悪口を言おう。そうでないと、身近な人、人口比率上多くなったお年寄りを傷つけてしまう。

そういえば、電車に乗っていたら、誇張があるけど、「オレさまはエリートなんだよ」という織本順吉さんみたいな事言っているおじいさんが電車を止めちゃって、これも封印。

王様の耳はロバの耳。

小さい文字指定

本当は「スピリチュアル吉日」と日記名を付けていたが、ラジオ番組のあるコーナーでスピ°浜とか、スピ°九、文スピ°元結、などと言われていたので「尿スピ禁」に改名。根多をかける落語家の高座名はスピリ亭ュアル。

後日の放送では、「ただ尿を漏らしただけ！　ヤダ、気持ち悪い」と言われるさ。

それで12月7日深夜放送の「セールスマンの死」を観ると、つらくてね。

「シボーレーは最高の車だ」と、言っていた人の話。その最高の車に乗れなくなるのだから。

けして肛門括約筋が活躍する話じゃない。

私個人はLGBTを理解しているけど 11.17

「最後のオチはなぜか、りりぽんが売れなかったのが悪い」だから省略。

最上もがちゃんが突然、謎のシングルマザー宣言をして、「?」「?」「?」だったのが、だんだんジョディ・フォスターみたいな理由では？　という思いを起こさせた。

そういう事情なら、私は受け入れると。

「応援するよ」

と、言える。そういう事は私個人は言える。「ルナイズマイン」の原作者だから。ちゃんと原作に私の記名がある。記名させてもらえない無いなら、やらない。

これはたとえ話だけど、

「あの娘いるでしょ？ 何か浮いた話無いよね？ ピアンかも」

あるいはバイ。

『推し武道』に出てくる娘のようでも、あるのか、どうなのか。

私はOKだと。

「生殖細胞いる？ ほしいなら、あげるよ？ でも若い男性のモノの方がいいよ」

と、余計なお世話をかけそうである。だいたいもう、女子禁制ではなくって、女性もおおっぴらに見れる。さらにお金を払えば、今まで見れなかった日記も見れる。

「お金を払ってくださる女性がいい女性です」

それにしても子供が出来たら、どう説明するのか、前にも書いている、童話を読ませる事をするのがあって、それは果たして良い事なのか「新しいシンデレラ・コンプレックスを作るだけ」の童話効果の幼児洗礼を施して、新しい呪いを与えるだけではないのか、そこが危ない。とは、長年思っている。

もしかしたら、女の子が好きだから、華やかな芸能界に来た、という人もいるかもしれない。そこはなかなか、本音をゲロってくれない。

少女マンガの有名なセリフ、「あなたは異性愛者なの？」と聞かれて、「そんな変態じゃない」と、現代でもまだ言えない世界だ。（これは後でちゃんと調べた。秋里和国さんの『ルネッサンス』のセリフで「異性しかダメな人じゃないわよね」と言われてドキッ、「今どきまさか… そんなヘンタイじゃないさ」が正しい。あんまり日記だからセリフがナントラカンタラ）

世田谷を滅ぶと言った人は、そんな変態なわけで、排斥するという事は同等の理由で排斥される。今まで権力に守られて、排斥されなかっただけだろう。

恥かしい事を言わせんなよ。

宗像コーチと同じ。岡のことをずっと考えているから、そういう答えを出す。

ところが、茂ジミンだよな、問題は。

杉田水脈みたいなヤツがやってきて、おならを出す。おならどころか、毒ガスで殺処分する気でいる。順序としては、L G B Tの勉強会を自民党内で開いてから、杉田発言だから、勉強会が意味を成していない。

まず中身がわからない。皮肉を込めて杉田女史のような人物を呼んで、「そんな発言するなよ」と釘を刺すのならわかる。評価が「わからない」「不明」「定められない」であり、「何かやってます」というポーズでしかない、と思う。

「最後のオチはなぜか、りりぽんが売れなかったのが悪い」だから省略。

原監督と同じで「よだれ垂らしてお前、チャンスをモノにしろ」と、言っていたらしいが、あの時の騒動に乗じて顔を売って、稼げるようにならないと、ダメだろう。（やっぱりバックがいないと、ダメかなあ）

小さい字指定

ちょっとあるのは、創作には、悪者に同性愛者もいる。被差別を受けていた賤民もい

る。そこは分け隔てない。（逆に善人もいるのは言わずもがなでシャイロックだけが悪いのではないかから「ヴェニスの商人」は名作）

基本的には、考えは変わっていない。

LGBTの話題をして、笑われなくなった時、本当に差別は無くなっている。

「そんなの当たり前でしょ」が、果たして私が生きているうちにあるか、そこまではわからない。トランスジェンダーの人が「わたし、オカマだから」と言って、笑いがはず、肩に手をポンと置いて、「そんなことを言わなくても、もうよくなつたんだよ」となった時、LGBTの問題はほぼ解決している。

その引き換えかもしれないが、喜劇で演じられた（本気も含めた）女装が笑いにはならなくなる事、エンターテイメントが無くなるかもしれない。

つまり、今はフール・幫間と翻訳者で違う役名が書かれているが、シェイクスピアの戯曲で王様をバカにする道化として地位があり、田中卓志が「おネエだから、悪口言っても許される。それは時代で変わって、今お笑い芸人がそれを言っちゃいけなくなっちゃった」と、語っていたように「公平」が認められたから取り除かれる。つまり、お笑い芸人がちゃんと社会に認められて、川原者じゃなくなったから「他人の悪口を言っちゃいけません」になったんだよ。（マツコさんはいずれ自分の地位・立場が社会が変わって無くなると想像できるから芸能人を続けられないとどこかで思っている）

異性愛者が「そんな変態じゃない」社会になったら、そうなる。

話変わってアメリカだと、弁護士やいろいろな社会的に地位のある職業を悪く書いちゃいけないテレビコードもある。（『龍騎』のシナリオはリライト）

その規制とは別に、キリスト教の教義に反しているから、表現しちゃいけない、あるいは表現したら観客動員数が減るという事で「するな」と釘を刺される。

観客動員数を増やすために、男性のお尻を出していたのか、それはまだわからない。

まあ、なんとなく、さしこは自民党から出馬なんだろうなあ。

アニメーター入門が？ 11.25

「また『かくしごと』基金を切り崩さないと」

ということで、また『かくしごと』が買えない。

単行本がまず買えず、ブルーレイなんて、夢のまた夢。

手が出ない。

しょこたんに買ってもらうしかない。少なくとも配信サービスで観るだけでも、すませてほしい。これで厄落し。

それは、ともかく、長濱監督が言っていた、あの湖川さんが著したアニメーター向けの本が、なぜか、歩いていける距離の新古書店で売っているのを見かけてしまった。

「アニメーターサバイバル」*どうろ覚えタイトルの翻訳された本もあって、アニメーターになれなかつた人が売つたのか、それとも引退しちゃつて手放したのかは、わからない。

「この価格は『かくしごと』全巻（中古品価格）買えてしまう。お金があることがバレる」

『ドカベン』の単行本を新古書店で手に入れると、100円セールでN十巻買える。セット販売なら、もっと安く買えるかも。

今、平均的な市民は五円のビニール袋が買えないのに、どうやって買えばいいのだろう。平均的ではないなら、なおさら買えない。「お金があったら、『かくしごと』を買えばいいのに」と、マリー・アントワットの本当は言っていない贅沢発言と、同じ事を思つてしまつた。

たしかに「宇治動画の…」の小説企画（これが私のアニメの殿堂案です）で経費には落ちる。しかし、この企画でペイは、難しかろう。

できても何年もかかる。

小説は売れなかつた。

『俯瞰の男』はサービス期間中で1100円から、約七割引き330円にプライスダウンしても、売れない。皆、お金を払わなくてはいけない商品が只で配られる事に、価値を見出している。（スーパーで月一だけ、レジ袋無料サービスデーがあつても、いいのかそれは？　川にゴミを捨てる人を喜ばせるだけでは？）

若いアニメーターたちの話を、そんな読んでくれる人は正直いないと思われるのだが、国民はさほど興味を持っていないのではないか、信仰がグラつくような、そういうイヤな事を考えてしまう。

そういうアイディア、マルチプレーンをこう工夫すれば、擬似PANをできるのではないか、その仕組みを持永さんみたいに作った子が、大工になつちゃつたり。現在のコンピュータ技術を使えば、そもそもいらない。ディズニーの2Dアニメスタジオが閉鎖されているのが、暗喩される。

小さい文字指定

織本順吉ボットなら、「レジ袋を買えないんだよ」と、「客の身にもなれ」と。

カゴパクするおじいさんみたいな……なんでオイラは「BSアニメ夜話」の新潟市公開収録に行かなかつたのだろう。ゲストに湖川さんが出ていたのは、言わずもがなだが気づいたら、受付締め切りが終わつてたという、告知のダメさ加減にモンクばかり言つていたが、オイラが「持つてない」という事。

江口寿史さんの個展にも参加できなくて、中間を飛ばすとキャプテン・オズとミスター・センシャドーの二人をイラストに描いてもらえない理由がこうしてある。

さんざん、ぐずぐず言って、こうして日記も書いておいて、結局買った。

ということで、「シェイクスピアロマン」は湖川さんっぽくなるかもしれない。ナウシカのパロディギャグを書いたら、呪われたように宮崎駿に絵が似るようになつた。

ところが、戻さなくちゃいけない。「腕が棒になつて」と戻さないと、自分自身を見失う。

絵は独身貴族のハムエッグでいいじゃない。だけど、たまに、こうしてハムの代わり

においしいベーコンを仕入れるのも、悪くない。卵は初卵を手に入れられないけど。初卵には全てが詰まっている。

だからM資金みたいに、そもそもかくしごと基金なんて存在しないと、問われると、「そうです」

と、答えるしかない。（見事な話題の繋がり）

連載終わったから言えるけど、マジカントみたいに幻だったんだよ。野暮なこと聞くな。

織本順吉ボットなら、「かくしごと基金なんてないんだよ」と、「ゴトチヒの身にもなれ」と。しょこたんが、しょこたんに片思いというか、「しょこたんと同じで知らなかつたんだよ」と歴史修正主義しても、いいよね？

読むと、竹井正樹は湖川門弟の一人、ではないのか？ 長濱監督と『ロードス島戦記』の原画を描いていたから、そっちのグループと思われる。

M・Tくん、あるいはT・Mくんを探してもいい。

どうやらいない。

ここで、大工の子がどうなったのか、誰も気にしていないかはともかく、小説が完成しないかもしれないから、先にオチを言っておいた方が読者が安心する。

爺様は式年遷宮に参加したことを誇りに思う、半分宮大工であるが、息子は会計士かなんかの事務職で、近所の工務店に息子（孫）を預けていた。んで、アニメとおばあちゃんじいちゃんが好きな古い映画を観て育った。

ちょっと玩具がほしいと、木工で出るゴミの木切れを積み木代わりに渡す。それも孫がささくれで痛まないように木切れを紙やすりで削ってくれたおばあちゃん。

もちろん宮本茂が山内社長に見せた、子供向けハンガーの微笑ましいエピソードから取られている。「やさしさを忘れない」は、任天堂のこういう作品群にあるような、津堅信之さんの門下生たちが、まあ、いいか。確証がない。彼ら大阪芸大出身者が作った、という神話は公開資料を見るとか、取材不足でわからない。

その津堅さんをモデルにしたアニメ史家が持ってきたビデオの上映会でヘルミーナおばちゃんの毛糸アニメ観て、おばあちゃんのことを思い出す。私が『ツルネ』を観て、おじいちゃんの事を思い出したように、「やさしさ」に「やさしさ」を返す。おばあちゃんの事を思い出して、かんなくずを彩色してアートアニメを作る。日曜アニメ作家になってしまふが、それは彼なりの人生だから。皆に請われて大工になるから。

いろいろな道を提示するということで、人それぞれにやれることがある。嫁が片渕監督の奥さんみたいな、彼女が働く場所に非常階段を作る。

他のアニメーターたちは実現しなかったマルチプレーンに思いを馳せる。

* 後日棚を見返したら アニメーターズ・サバイバルキット が正しいとわかった。
『かくしごと』を買ってあげられないので、おわかりいただけるだろう。

PC と LOVE るアリ 12.17

「また『かくしごと』基金を切り崩さないと」

ということで、また『かくしごと』が買えない。

前の日記記事と同じ書き出しで始めて、読者を混乱に陥れるようなマネをしたかったわけではない。

ちょっと壊れたのだ、PCが。

復旧しなかったら、予定が飛ぶ、ところだった。

お正月にすることを、全部できなくなっていた。

まあ、復旧してくれて、この日記が書かれている。

キーを打って日記を作成している。

皆さんも新型コロナウィルスこと COVID-19 で、いろんなスケジュールの変更を余儀なくされたように、スケ変である。スケジュール・オーバーショートで、『女帝』である。
(年明けの映画秘宝で企画中断)

もし、パソコンが壊れてしまって、復旧できなかったら、大きなお休みをもらわなくてはいけない。

お正月のセール期間を利用して、型落ちパソコンを新調（？）して、HDDからデータを抜く、用語では「吸出し」して、なんとかしたり、しなければいけなかった。

あるいは、現在のように年末ではないなら、たまに新聞折込チラシにある、官公庁の払い下げ旧型パソコンを売る展示会で見繕うとか、それで編集用パソコンを手に入るまで、お・や・す・み～。

今、流行ってるアニメなら「すや～」で、ずっと寝てる。不貞寝。（ ふてねってこういう漢字を書くのか ）

昔のマンガなら、玖保キリコさんの短編「ひるね姫」で、姉が「この主人公みたいのがいい」と、さっぱりわからないことを話していて、子供の私を混乱させた。おそらく。

・・・どうでもいいけど、

しんじろう君を、しんじていいのだろうか？

小さい字指定

ノンクリステル♪（ 妻宅 ） クリステル♪（ 本宅 ）

ノンクリステル♪（ 妻宅 ） クリステル♪（ 本宅 ）

という、連呼型の自己紹介ミュージカルソング。

わたしは小泉純一郎の次男～♪
器じゃないのに環境大臣をやっている♪

首相の夏休みで♪ キャッチボールしてる～♪
「君も地盤を引き継いで見ないか？」（イヤだっ）

休んでいる間に先に「シェイクスピアロマン」の小説を作ればよかったかな。
同じ権力者だから、あの話になる。
逍遙の文庫があるとわかって、逍遙の解説を全部読んでから、一年ぐらいかけて読み
終わってから仕掛けたかった。

変人宰相はファッショナリーダーで、男性なのにピンクのシャツを着ていた。当時ト
ランスジェンダーの人ぐらいしか着ていなかった。二番は、チャーミング（魅力的）な
環境問題を解決する方法を考えるべきなのに、セクシーな環境問題解決法で、

ノンクリスティル♪（妾宅） クリストル♪（本宅）
ノンクリスティル♪（妾宅） クリストル♪（本宅）

だろう。

レタス!! 12.27

レタスを買ってきて、そのまま食べない。
『エンゼルバンク』であった、レタスを4°Cで運ぶ、運搬して届けるというようなも
のだろう。

食べる前に、レタスを裂いて水で潤すのも、それは料理だから、私がやっているのは
手抜きレシピであって、料理しない独身貴族のハムエッグで、ハムエッグは料理ではな
い。四郎ラーメンみたいなもの。

セキュリティカットの値引き価格シールが付けられたレタス（通称レタス）を買って
きて、水を張った容器に、茎の切断面が水につくぐらい浸して、小一時間経つと、それ
だけでパリパリになる。パンのタネにイースト菌を塗して置くようなものか。（料理の
三角形の腐ったもの）

レタスの味は、歯ごたえが80パーセント。

歯ごたえでレタスは出来ている。「幸せだけで出来ている」という、ハーゲンダッツの
コピーの如く、暖かいと苦味が出る。（後に零下のままほつといて、凍らせてしまい冷蔵
庫に避難）

グッチ祐三さんが昔、氷川くんの番組だったかな、料理を披露して「料理のトッピングにアイス出てくるけど、ナンのアイス使ってるの?」と問われたら、「モト冬樹はハゲだつーの」と、つまり何が言いたいかと言うと、モト冬樹は幸せだけで出来ている。

「あの顔で?」と、言ってはいけない。

グリーンレタスだと、コンビニコーヒーの空いたプラスチックカップに水を張って、根元につければ、低い温度だと、パリパリシャキシャキになって、やはり価格が安くなつたグリーンレタスでなつてしまつたのが、キリッとしているようになる。その見た目がいい。

カップが汚れてきたら、車のところにコップ入れ（カップホルダー）に入れて、ゴミ箱代わり。

塩茹でしたプロッコリーにオリーブオイルをかけると、うまい。ここであの歌を口ずさまないのは、ジャスラックさんに、お金を払いたくないからだ。これがフリーミアム、フリーライダーを生み出す。お金をかけないと。

EVOことエクストラヴァージンオリーブオイルをかける。

今の時期、固まつてしまつ。それならストーブの前に置いて、暖める。こたつの中に入れたり。「はなまるマーケット」みたいな事をしている。

年が開けて継ぎ足し

アサいちという番組ではない、今日の料理だったか、プロッコリーの炊き込み御飯、情報の流出だから暗号で。

「お釜に2号さんを、コンソメスープと塩を他人サジずつ、バター〇のエサであるバターをオオサジ大、それでプロッコ♪ 〇ろっこ♪ JUSRAC♪ を一つ入れて、普通に炊く」

催眠って、書いちやいけないみたいな、ことになつてゐる。

睡〇もダメ。

あと、グッチさんが料理を作つて、それをマキタスポーツさんが食べる、新しいビジーフォーの番組、グルメ系のメシテロ番組、最後に料理にまつわる歌を歌つて、桑田る。（桑田る は違う意味では？ エーニーリィーの歌い方でオースィーと言つたり、新しい桑田る）

日曜の昼ではなく、話半分。実際に作つて視聴率が取れなくても知らない。

あり思の製作日誌 Go

『あり思』制作日誌その十四

第一期終了後に、どこに掲載するか、とりあえず Pixiv に掲載した。それが「バックスページ 731」の第三回である。このまま Pixiv で掲載を続けるかな、と考えあぐねている時に、デザインエッグが名乗りを上げて、パブー継続が決まったが、これからどうなるかは、予断を許さない。

そして、キャラメルボックスの話題には触れないと、いけない。2.5 次ミュージカルの台頭で、人気が翳っていったのか、本編で触れざるをえない話題となった。

ところで、仮題だが「アドラー VS フロイト」という、ゲーム内で戯曲をかけたい。

海外の演劇で似たような戯曲がもうあるなら、それをかけたい。

井上ひさしひとか、やってそう。

先ず予備知識が無いと、わからないと思うが、「レクシコグラファーロマン」と同じで、両雄ならび立たずである。近松門左衛門が心中ものをいくつか作るように、同じ系統の作品、SF、サイエンティスト・フィクションもの、『プレデター対エイリアン』の科学者版が「レクシコグラファーロマン」と「アドラー VS フロイト」になるだろうか。

SF のクリーチャーは、マッドサイエンティストのシャドウなのか、ゲーム史だと、Dr. ワイリーと Dr. ライト、Dr. イーモンと Dr. ワルナッチ、『FF VII』の宝条博士と自分の身体を改造して味方になるヤツ、プレイしたことがないから、名前忘れちゃった。

そんなどうでもいいこと（フォロー FF VII のリメイク好評発売中）は放っておいて、心理学と精神分析は、顕教と密教の違いのような、ブッダ発生の仏教から小乗と大乗、二つに分れるように同じ人間の内面を研究する学問でありながら、流派が分れる。

小説『パンク侍』であった政敵同士の家老二人みたいに、あっちが洋楽を聴くと、こちらは邦楽を聴く。こちらが洋画を観ると、あちらは邦画を観に行く。変な逆張りをして、傍から見るといがみあっていいるように見える。

そのもっともたるもののが、アドラーの目的説かフロイトの原因説かで、もめる。

これは高橋源一郎も、「ヒステリーを起す女性が全て、幼児期に虐待を受けているなら、その被害者の人数から考えて数が合わないのでは？」と、批判的な目を向けていた。原因説で、よく批判される点だろう。この人数のミステリーに目的説・目的論なら、ある程度説明がつく。

ただ、目的が悪いんだと、なってしまうと痴漢に対して声を挙げられないなら、目的が無いから痴漢行為を許してしまう事になる。それは「飛躍がある」と考えるのなら、アドルフ・アドラーに言わないといけない。

ヒステリーを起さないと再び性虐待をされてしまう恐れがある、単なる自己防衛本能であって、そういう本人に意識としての目的なんてないんじゃない？ 機能主義としての遺伝的傾向が実はあるのか、私は知らないが、こうして分子生物学が出てくると、今

までの学問が更新されるので、戦前に生まれたアドラー心理学も、その荒波に揉まれる。ところが学会を作つて、それがなんか“教団”めいている。

ギリシャ哲学由来とか、箔をつけるために権威主義だから、ピタゴラス教団みたいなモノになってしまったんじゃないか。

第一次世界大戦に軍医として従軍して、シェルショックになる兵士たちを「意気地なし共」と思つていたのか、『ブラックジャック』で「アナフィラキシー」の回のような事があつて、と想像はできる。

医療の本質、使い方次第で薬にも毒にもなるというのが、アドラー心理学にもある。万人に効く良薬ではない。毒なめさせられた人が文句言つたら、「教団」の対応をしていたのでは？

という具合に、博士達のディスカッションでダイアローグドラマを作る。

「ソレ、心の瀉血にすぎないんじゃない？」

どの分野でもある、聖徳太子が和を持って尊しと成せの仏教思想を空海と最澄が引き裂いてしまう、歴史の皮肉のような、そんな話である。

折衷案で両方あると、するのが後進の浅知恵、先輩二人を立てていたユングはオカルト研究に向つてしまつて、この二人の“師匠”“先輩”を見つめると、すごくわかる。『稻中卓球部』で友情と恋愛の板ばさみにあつてしまつた電信柱にケンカを売るよう、オカルトに逃げる、オカルトに傾倒するつて、すごくよくわかる。彼のオカルト研究が後のファンタジー小説に影響を及ぼしていると、『エレミ』の元ネタであると、言いたくなる。（たぶん関係ない）

やがて、フロイトに弟子として可愛がられていたユングも、別れてしまう。気を使って二人に否定的な論陣は張らなかつたのに、最終的には師匠と袂を分ける。

アドラーはマイケル・サンデルみたいな共和主義に寄つた学者、どの国にもいるアメリカの共和党支持のおじさんの、ドイツ語圏版じゃないか。どうも、コミュニタリアリズムに、寄せようとする嫌いがある。当時一番のコミュニタリアリズムの勢力は、ナチスドイツだ。

後天的に付けた作家性のために、宗教劇にするつもりだけど、それはアドラーはユダヤ人だけど、ユダヤ教からキリスト教に改宗する。

これまた微妙な人。

だから、アドラー心理学そのものに罪は無くとも、これを利用した、たとえばブラック企業の経営者に悪用されてしまうとか、「おれたちの企業に共同体意識を持て」みたいな、そういう事になつて見返りを求めるんだから、ボーナスも無しとかに社員教育をされていた歴史があつて、密教的に秘して教えられていた、その一番の悪用者と言えるのが、ナチスドイツなんではないか？　ナチスに協力したくて、キリスト教に改宗したのでは？　本人は第二次世界大戦中に亡くなる。

アドラーの言う共同体意識は、簡単に全体主義に回収されてしまつただけなのか、それとも全体主義化するための言説であるか。いろいろ考えると、どうしても、ナチズムと親和性が高そうなのだ。

ショニズムがナチズムの起源であるのは、かなり端折つて説明すると約束の地は東方生存圏になり、ユダヤ民族主義はアトランティス大陸の北側を起源とするアーリア人の

純血主義になっていく。

原因ははっきりせず複数だけど、目的なら一つや二つにできる。大衆心理なら、目的を一つにすれば、コントロールできる。

共同体意識は原語ではわからないが、ナショナリズムかコミュニティの活用的なドイツ語であるはず。ナチスもアドラーが否定的な理想化された共同体なのだけど、アドラーは幾つも予防線を張っている、それは他の学派から攻撃されてきた歴史があるのだろう。

ピンからキリだけど、『三匹のおっさん』みたいな最少の理想化されたコミュニティは実際に無いから、無いからこそフィクションとして求められるのである。

嫌われる量と自由の量は比例する。だが好かれる自由もあるのでは？ 新・自由主義的なことで、嫌われることは多々あるけど、自由主義の報道の自由等を手放すことはできない。

ここに、「嫌われたくなかったら、オレたちの全体主義に入れ」という、アドラーのプロダクトデザイン（同時期の考え）、カバーは共同体主義だけど中身は全体主義の回路になっているんじゃない？ あるいはカバーが同じで回路だけを交換している。

自分たちはフロイト学派につっこみを入れるが、自分たちはつっこまれるのがイヤだと、予防線を張りまくっている。だから、舞台装置的に、いくつものロープが張られて、『嫌われる勇気』でも引かれるアレキサンダー大王が切った結び目のように、こんがらがっている。

一本切るごとに、一場が終わる。

「トラウマは無い」で、記憶力が悪くなつてすぐに思い出せなかつたが、東京五輪の女子バレーボール監督さんと同じ事、骨折している選手に「折れてない」と、事実に則していないことを言って出場させた。まあ、近年の悪質タックルと同じ。「心の瀉血」と、たとえたのは正しい気がする。

否定すべき精神論で、偽薬や暗示をしている事を自白しない。円谷幸吉を追い詰める大松監督、その責任というか、今でもとらせない。

治療法が確立していなかつたから、暗示によって自己暗示を解消する「いたし方のない民間療法」で、根治する事はできないというか、空元気しか与えられないのではないか？ 当然、第二次世界大戦前に出てきた学問だから、古くて時代遅れに決まつてゐる。

賞罰教育がよくないと主張するのも、自己弁護であつて、この体育会系の逆らつたら殴つて思い知らせるのを支持すると、連座で責任を取らされるから詭弁を言つてゐるすぎないんじゃない？

民主党議員の批判の代替案がないと言われると、少し苦しいが、行過ぎた賞罰教育は良くない。エリートは高い賞、ボーナスを受けることを親に教育されている、賞与偏重教育をずっと受けてきて行動基準がボーナス（昇給・賞与・昇進）でしか判断しない人間を意図せず作つてしまつ。（だから人事院があるとコントロールできてしまう？）

エディップス・コンプレックスは最近は否定されているのは、アドラー学派の暗躍で、「トラウマは無い」という学派の主張を強調するあまり、フロイト学派の言説を攻撃しているのではないか？ このあたりの事情は、サイエンスライターも知つてゐたけど、書けないんじゃない？ （アドラー心理学系統なのか進化心理学ではウェスターマーク効果を例にあげてエディップス・コンプレックスに否定的だが、オイディップスストーリー

をかえって裏付けているように見えるシルバーマンらの説がある）

ブレヒトの「三文オペラ」がメッキ・メッサーをヒトラーとなぞらえるか、それともナチスドイツの魔の手から逃れる人かで、ぜんぜん評価が違う。

正直、アドラー心理学には、反発もある。私は末っ子だけど、「末っ子は甘えん坊で問題児だ」と、末っ子をバカにしてないか？ 田舎者・田舎蔑視と同じじゃないか？ みたいなことをアドラー心理学者は書いたりする。それは前述した「ヒステリーを起す女性が全て、幼児期に虐待を受けているなら、その被害者の人数から考えて数が合わないのでは？」と同じように、「それはデータの母数として本当に量的に正しく出ているの？」

実験に非協力的で長男・長女・中の子を除外しましたはないの？」と反論すると、「これだから末っ子はダメなんだよ」と返されるだろう。

それを越えて、人間の内面を探ろうとした人々の話を書きたい。

斎藤美奈子を通過した邪悪な読者だと、末っ子いじめの論理武装を与える、用法を間違えると薬が毒になる優生学と同じ、植松聖被告のような人物を最終的に生み出しあはないか。と、懸念する。

それに対して、自分たちは悪用された被害者だと、どのカルト教団も、被害者を主張する手法に使われた。聖痕を刻まれた、歴史修正主義？

自然科学のように、再現性は得られないから、精神分析や心理は偏りが得られるだけ。再現性を否定する、そのあまのじゃくさんが心理実験に非協力的なのは、否めないのは、仕方ない。

もし、ある国で心理実験の追試をして、そういうあまのじゃくさんがいない結果が出たら、その国は全体主義の国であり、その国民を全体主義化できていることになるサンプルデータが見つかる。（だからアドラーはあまのじゃくを排除したいから全体主義に好意的ではないか？）

普通の科学試験でも「室温が低すぎる or 高すぎる」という地域で実は生まれる再現性が得られなくなる要因はある。（北半球と南半球で違う等）

精神分析と心理学が分れるように、ルドロジーも分れる。

意図か不意図かは、原因論や目的論と同じで、あまり止揚に向ってはいかず、対立の溝を深めるだけ。『パックマン』の作者と言われる方の日本ルドロジー協会側と、それ以外。現実にそうなっているから、アドラーとフロイトの仲間割れの物語にシンパシーを得ている。

脳科学をかじったら、誰でも出せる、わざわざ書く事でもないことだけど。

川島教授のような資金潤沢で設備もある所で、母数調査の量も多い。

被験者に脳波センサー・血流センサーをつけて、パイディアがあるのは、ドーパミンが出ているところから脳波が、血流が集まっている。

光トポグラフィー（トポグラファー？）ですぐわかる。

ルドゥスがあるのは、ベータエンドルフィンが出ている。戦争の眩暈が、アドレナリンが出ていると、考えられる。

ドーパミンが出なくなるのが、あそびに飽きる。逆に飽きないのは、中毒症状で、俗に言うゲーム依存症はこれなのではないか。

さらにオキシトシンが出ているのには、女性向けゲームと男性向けゲームの差が出る。

ジェンダーが発見できる。これをジェンダーの強化に使うか、使わないかで、毒にも薬にもなる。

これは個人差のフローチャンネル、「開けてくれ」「開けられる」の腸詰のスライスである。

脳科学をかじったら、こうして誰でも出せる、私でも出せるから、誰でも出せる。テストチェックは、蛇足ではないだろうか。AINシュタインじゃないが、わかりきっている。

ただ、井上明人さんの「ゲーム性」について、パイドロジー派は決着をつけることができる。

これができなかったら、

「何がダメって、全部ダメ」

優劣コンプレックスでもなく、劣等コンプレックスでもない。

事実ありのまま。

ミもフタもなく言うと、こうなる。

だけど、複合感情は実はある。「教えすぎるな」と「ミもフタもなく言う」に引き裂かれているとまでは言わないが、教えすぎちゃうと自分のものにならない。気づいたことが自分のものになる。

ミもフタもなく言わないと、演出ができない。

どっちかに偏った方がいいのか、どっちつかずを続けるのか、それはわからない。

だけど、新しい観測技術（脳波センサーや脳内物質の計測装置）やルドロジーとパイドロジーの天才が現れたら、刷新される。それが科学史で起きていた事を振り返ると、アドラー心理学も、その時期に来ている。（もうその時期を過ぎて進化心理学がある？）

パラダイムシフトに必死で抵抗する教祖・開祖の教えを守り続けるのは、目的は一つにできる。学会のカルト化にある。

アドラーさんは塹壕が掘られた戦場まで行ってきて、戦争の眩暈を本当に感じてきたのか？ 経験が浅く、シェルショックの人間をただのなまけもの扱いしていないか？

そもそも心理療法ではシェルショックを治せないのを批判されてきたのではないか？

それを患者に責任転嫁していた？

月に一度は、封切られるナチスを素材にした映画みたいにして、戯曲オリジナルの人物でナチスドイツに加担する学者、彼がゲッベルスと通じて、大衆心理をうまく煽る術（目的は一つにできる）、そういうのを抽出して教えている。

ユダヤ人も新しい壁を築くように、フロイトの陣地内に壁を築く、それはイスラエルがパレスチナに築いた新しい壁に見立てられる。

ハルキ・ムラカミのような人物がスピーチしていて、卵が投げつけられて…アドラー心理学会から文句を言われて、作れないんじゃないのか？ テレビドラマにも、文句をつけてきたから、あやしいと感じないといけない。

あの弟と母の話、たしか雨が降ってきたから自分を抱き寄せず、弟を抱き寄せた話を劇のシーンに組み込んで、

「トラウマになってるじゃないか！」

「お前がアンを閉じ込めたんだ」

と、皆に糾弾される。

「リチャードIII世」のオマージュで「死ねっ！」と、子供にも呪われる。

舞台装置で、鍵十字を象徴する、ブロックで中二階、半地下は塹壕内で、深層がわかるような海外には悟られないように、国内のハルキファンだって村上春樹のスピーチを読めば、ノーベル文学賞を取る気が無いのがわからないから、大丈夫だろう。

最後カーテンコールで「わが栄光」がかかれば、なんかカタルシスが得られる。（たぶんヴィクトリーコードみたいなものが入っている）

人々、「シルエットアクター」はシャドウ（精神学用語、そして影）が主人公だから、フロイトの話というか、そういうものを入れたいとは思っていた。

それはフロイトだけじゃダメで、アドラーを出さないと面白くならない。ユングのオカルト話を「耳無し芳一」みたいな怪談として挿入するとか、無理な劇性を与えない芝居にならない。美しい師弟愛の物語にはならない。先輩たちを立てて、分析心理学にしたとか、ユングの葛藤が無いと面白くない。

「屋根裏」的だから坂手洋二、「屋根裏」の密室劇が心、精神、脳内の屋根裏部屋で海外を考えて悟られないように。

「レクシコグラファーロマン」を「ら抜きの殺意」系統だから永井愛さんに、「法王序の避妊法」がある飯島早苗さんで「教会は断食で建つる」、「アドラーVSフロイト」は、（恐る恐るキーを打つ）筒井御大に、それなら「復員者の福音」は別役実さんに、頼みたい。

本当に頼みたい。

後は「影の王子」は、決まっている。

それが成井豊であった。

追記

この間、BSの方で観た、「あの記憶の記録」「熱狂」でもナチスドイツの舞台演劇をしていて、ボクシング・グローブがフライヤーにある「アドラーVSフロイト」に、リヒャルト・ビルクナーさんを「客演」させるのが、正しいのでは？ と思った。これもまた、ありえない未来の思い出だろう。

日記 『あり思』制作日誌その十五

第四巻から、本格的にキンドルでエピソードを順次公開していく方式に。

なる予定。

（「フォオ・クローバー」に新着コーナーを作るか、ラフのネームを掲載である）

手が空いたら修正、正確には、手が空くことがあるのか、連載本でちょっとまとめて、掲載するということはあるかもしれない。

一応は、ここで、これをしとくと、予定は立てていても、アドリブが多すぎ。

正直、全部決めて作りたい。

しかし、実際は場当たり的である。

途中、シルエットが二人いないと、辻褄が合わなくなってしまった。

赤門の先にいけば、通信で他のプレイヤーのシルエットが手伝ってくれるなら、別に大丈夫かと、悪く言えば、「その場しのぎです」だけど。

『スパイダーバース』を観たから、そのまま映画のネタを入れるトキワ荘を中心とした手塚派みたいな、トキワ荘に急に『未知との遭遇』のように光り輝く存在が夜空に浮かび上がる。マンガの未来を見ている。（注・『まんが道』の迷ラストシーンの事だが、こんな読み物を読む人間には説明不要）

光輝くと、ダメージを受けるシルエットが主人公なのに、そんなことしていいのか。

ずっと、「あり思」を読んできた奇特な読者は、今までいなかった人、たとえば「チコタン」の主人公やノリオがいたり、クロスファイアやユエとか、オズマ隊長とか、アマガツとか、出現してビックリする。（こっそりモブシーンで山羊のミツルか隠れていたり）

本来はタマオウが風邪をひいて、外套を持っていって「外套がないぞ」という事が起きていた。仕方なく、イタミが誰かの私服である外套を使うように指示する。それで、ところてん方式で、

紛れも無く、「ななつとみつとひとつ」は、数学者を演じるハリノスケが主人公。ハリノスケが演じた数学者が主人公。

オカマちゃんや障害を負った人や、現在だと問題とされる麻薬常習者やいろいろ動物さんたちは社会のはみ出し者たちである。本当は川原者達であった。今だと差別用語に認識され、大手メディアだと言えない、書けない。

その影を写した

劇団というのは、こういう人たちが集まっている。その方たちをそのまんま出すと、「D」になる。「X」指定・・・本物のせむし男がいて、それで「リチャード三世」のタイロールを演じさせる、というのは、「B」「C」になってしまう。

マリオはピンクトライアングルを襟にしている。それで答えがわかるようにしている。筋繊維の色で、上半身が逆三角形だからという、わけではない。

L G B Tの人、まで言うのは、野暮である。

基本的には媒体のコードでやっているので、マンガだから

商業媒体の雑誌だと、できなかったかも

ドサ周りの大衆演劇なら彼ら、昔「フリークス」と言われた人たちを雇っていたのだ。

小劇場だと学生演劇が先にあって、そうした大学に入った健康な男女、健常者たちが演じるようになってしまう。

だから鈴木メソッドが必要で、可能だった。体という現実が先だった。

寺山修司はもう一度見世物をやろうとして、演劇実験室でいろいろ理論先行型で回帰的なんだけど、これは演劇運動として正しい。

バス山バス代（注・芸名）に歩行をさせられない。

ルドロジーは現代の蘭学。

合同の条件はないが、相似形の条件二つある。

歴史による拡大縮小がなされている。といえばいいか、過去は縮小解釈、未来は拡大解釈、そんな気がする。（気がするだけ？）

ルドロジーはシリアルゲームとして研究するという、蛮書取調所みたいに、扱わないと、基礎研究が出来ない。

シリアルゲームとしてなら、ルドロジーを研究できた。

『ゲーム世界革命』では学生がゲームに興味を持っているから、ゲームプレイでやっている三角測量とかどうやっているのか、カリキュラムに組み込む。

海外事情、理系女学生を受け入れないとか、そういうアカデミーの問題を感じる。

明治大学が動いたけれど、いまさら遅れを取り戻せないだろう。

さらに

近代の戦争の役に立つ、それが近代ゲームで

近代スポーツの運動とは、基本的に良い兵士、良いスポーツマンは兵士の雛形

それはeスポーツでも変わらない。いいプロゲーマーは、無人攻撃機のいいオペレーター

岩谷徹の「社会のため」（シリアルゲームの解釈）は応用科学として何らかの役に立つは、あってほしいと期待・願望するのは、

しかし、役に立つは大塚が学生の親御さんに言われた「息子（娘）に役に立つ事を教えてほしい」と言うのでは、漠然としているが、つまり労働賃金をもらえる事、それが役に立つと「翻訳」すれば、はっきり言えば役に立たないのである。

大塚の『大学論』に語られる、切実な事で即物的だが、虚業で儲けているのか、という心配もあるだろうが、

詐欺になるので、私のゲームニクス、

ゲームクリエーションは別に役には立たない。それは労働賃金をもらえないからだ。

何度も同じことを言う、同じネタをこなしていると思われても、大事なことだから、何度も書く。これから書く。いつも何度も書く。

ルドロジーを純粋に研究したいのにできないからシリアルゲームという言葉を借りているというのが、日本の現状であった。

ご存知研究費用は学者が陳情しにいく、すると御用学者になるしかない。

歴史的には戦争研究はしてはいけない。

日本国内は戦後出した学会の提言で学問を軍事利用してはいけないので、できない。

だから、軍事力でソフトウェアの面で日本は劣ってしまう。

カイヨワはめまいの領域を広げ、パイディアとルドゥスを数直線上のように、ここからを負、ここから正とは必ずしもできないようだが、あそび（とゲーム）を並べた。ホイジンガ時代は位置が遍在していたような、読後そう思う。

それでパイドロジーという考えにはならず、むしろ反対称の人類学、ヨーロッパの中心はフランスである考えに引き寄せようとしていたようだ。シオマネキのように。

対称性人類学とは逆で、クロード＝レヴィ・ストロースとは論敵になる。

これは法家がやがて兵法家になるように、思想は戦争論化してしまうものなのである。ホップズも国家論としての『リヴァイアサン』を書いた後に『ビヒモス』という対話形式で戦争を語っている。

似たようなもので、カイヨワは『戦争論』を書いていて、あそびからゲーム、ゲームから戦争（数詞はバトル）に考え、思想をシフトしている。

『あそびと人間』の英題の邦訳、「人はあそぶか、ゲームをするか」そして、戦争をする。

スポーツのような貴族戦争…

視聴率 80 パーセントぐらいの E テレの番組でも放送したので、説明は不要なので詳述しないが、原始戦争、古代帝国戦争、貴族戦争、近代戦争に、フレームが分れる。

古代戦争はアレキサンダー大王のファランクスとカタパルトの部隊・兵器イノベーションで、古代帝国戦争になったと考えられる。さらに兵站も優れていたという。

かつて E T V の前身の教育テレビでカイヨワのインタビューが 1973 年一月七日放送されている。「日本文化と遊びの精神」だ。

このアーカイブスはおそらく残っていない。

朝ドラも 1980 年の「マー姉ちゃん」から、ちゃんとテープを保存するようになった。

ご政道批判、幕政批判はしてはいけない。

それは現在でも、おおやけで上司の批判をしてはいけない日本の文化のように根付いている。せめて上司に自分の意見を言えるのは、いい方だ。

コンツェルン化、狩猟採集時代で女子を交換するような、グループ形成をしているのである。

国許が任天堂、江戸表がソニー（ S I E ）という、二重幕政が敷かれているようなものなのか、 D Q 11 はスマートフォンに出せばいいのに、 3 D S と P S 4 共にリリースという、任天堂も S I E もスクウェアエニックスの株式を持っているのだろう。

すると徳川親藩を作るために家斉が各藩に子供たちを押し付けたように、公開株式を買って株主となる。そういう株式保有が正妻と嫡子を江戸に置くような、跡継ぎになる子は徳川家（とくせんけ）の血が入ってる人みたいに、ある程度株式を保有していれば経営者を決められるので、株主よりの人が選ばれ、生え抜きが経営者にならないみたいな、ことが起る。（勤皇派＝任天堂か、開国派＝ソニーというのは、ちょっとつじつまが合わないたとえになる）

気づいたら、いつのまにか、そうなっていたようだ。

あるいは、敷かれたレールを通る「時刻表」、あるいは「ダイヤ」を知らなかっただけである。

あれだけ株式買い付けで企業支配を進めるライブドア問題で「会社は誰のものか」と論じ、株主優位に否定的な論調を作つておいて、大手スポンサーが似たようなことをしていたら、何も言わない。それはダブルスタンダードな気がする。

マスコミじゃないから、言える。

陽だまりの樹になるまで、続く。

ガンホーの話、『パズル&ドラゴン』が出てヒットしたら、任天堂が市場から株式保有でちょっと上がったと思われる。『インベスターZ』でもゲーキチ社（私のこと？）という銘柄になっているが、投機家筋が後追いして買って、爆上げしたのではないか？

それは結局任天堂の内部留保の資産価値を上げただけなのか、『インベスターZ』の主人公は損切りで手放す。『インベスターZ』で語るべきは、こうしたインサイダー情報を先輩から、「差益確保のために下がるぞ。今の内に売つておけ」と忠告されるのが、正しいような後だしジャンケンである。

後に、3DSでパズドラのソフトが出て、マリオを換装した続編も出て、一度は成功している。だが、任天堂と共同開発したスマホゲームは、

どうも振り返ると、いわっちが正しかったのか、バンクマン君島氏（「89の勢い」の告発があった当時は人事のトップ）の継続経営が今に出ているのか、もうちょっと資料調査や会社動向の観測がいる。

ポケモンがSa.Gaのモチーフを使ってもよかったのは、当時任天堂がスクウェアの株式を20パーセント持っていたという、裏取りはしていないが、そういう話もある。

何が言いたいかと言うと、ポトラッチの財産破棄みたいなことになつてないか。
(注・ポトラッチについてはこんな読み物を読む人間には説明不要)

それはテレビCMのスマップのギャラに溶けているような…話を変えよう。(香川県が条例も)

ドラクエが、

攻撃力 - 防御力 \propto 2 = ダメージ量

なのは、「攻撃力-防御力=ダメージ量」だとプログラム構文が同じになつてしまうから、著作権対策として、この式になつているのでは？ パソコンで『夢幻の心臓』などが先に出ていたが、計算式が割らないものになつている。

割る2がコード文も少なくすむと思われ、解釈としてバイキルトはコード文を解除している、プログラムコードを呪文という「コード」で無化している二重否定と言うか、再コード化（賛成の反対なのだ）というか、呪文としてたいした事が無いが、プログラミングコードでは含蓄ある。

DQIは512Kビットで作らないといけない。バイト数に直すと64Kバイトである。

単純な行列式（プログラムの量は引いている）でポリゴンは約3500ほどしか作れない。

RPG計算式で力+武器の力を攻撃回数を増やすやレベルを掛け算する（一防御でダメージ数）になるFFでは、そちらの進歩に向っていったのが、なんとなくわかる。

それを昔は、ザルで見えていた。また「ゲームラボ」に出てるソフトウェアの内容を見れる魔法の機材など、ソースコードを見れた。たまに、いじっていた。

それは坂口博信も、Wizで善の忍者を作っていた（出典『ゲームの話をしよう第三集』）と、プログラマーは見ればだいたい何を書いているのか、わかるのである。

構文も短くて学生プログラマーが授業中にノートに書いてから、放課後パソコンに向って入力する内職もしていたと、話に聞く。（要出典）

Win7か8ぐらいで、約一千万行のプログラム構文があるとされる。すると、『小林さんのメイドラゴン』でセリフだけはあった「統合テスト」で一部のユニット・パーツごとに作っていたプログラムがうまくいかなくなるのが、目に見えている。

このネタは前にした気がするが苦米地さんがSEの会社でアスペルガー症候群のようなプログラマーほど、技術的にすごいとされる。コンピュータプログラムに「全振り」して、私も同じゲーム開発に全振りしている。

ともかく、そういう人でないと、約一千万行のプログラム構文に不備があるのを、脳内で把握するのは、常人には無理である。

魂をコンピュータにとられた人間で

さて、いろいろケースが考えられるが、判明していないから、自分の企画で語らないと、結果的にそうなったのか、意図してそうしたのか、わからない。

結果的にそうなったのは、運だけに頼っているから、

だから、コロプラが株式を市場に出していないから、

位置情報ゲーム、

「ちょっと、うち（ナイアンテック）のところをマネしてませんか」と、任天堂がいろいろと、ちょっかいを出しているのは、任天堂はコロプラをアンダーコントロールするため、ワーナーみたいになってないか、あんまり大きな声では言われない。

さらに株式保有でファミリー企業？ に特許を使わせる。

コロプラの方が国内では先で、

任天堂ハードにソフトリリースさせるために、ちょっかいを出してきて昔なら東映やクザ映画でそういうシーンがありそうである。

こういうのは、山内は大学で法律関係、おそらく会社法を学んで、さらに他の企業家たちとの交流で戦略資産、米国のカード製造業の視察を経て、特許や法人の著作権があるプログラム構文を流用できる特性が、「コンツェルン」というよりは日本型株式持ち寄り制には、ある。

山内型経営

HAL研究所、というのは、山内組の二次三次団体ということか、

一応、私は親父に杯を分けてもらっていないが、横井組の看板を背負っている。

松山洋に「お前の競技人生は十年前に終わった」と、フットスタンプ。

「女子中学生に手を出しているじゃねえぞ」と。

ヨコイズムを捨てろと。

ドアノブを渡すために「ありえない未来の思い出たち」を描いている。「じゃあドアノブはなんなのか」と、美学に反する事と、書評ではネタバラしはできるだけ避ける、そのように書くのが日本の短い書評の不文律。

別に作られた自分縛りのルールを破れば、

『ゲームの父 横井軍平』で子供のために、ゲームボーイを改造した話。

復刻書籍といえる同内容の『任天堂ノスタルジー』にも書かれている。

なんのために改造したか、それはもちろん手の不自由な子供のために、勝手に改造したのである。母親が息子の

しかし、大企業となってしまった任天堂では、このようなことは大規模になってしまふので、やりたくてもできない。障害児童、および母親にも歯口を促しても、口に戸板は立てられない。

この件を国民の敵・多根清史も書いているように、尾ヒレがついて、ゲームボーイを任天堂に送れば、無料で修理してくれると、高橋名人が一日警察署長をしただけで、麻薬所持で逮捕の噂が流れたように、噂になったのだ。

そして、生まれたのが、四葉型のボタンのワンダースワン。

メンターとして横井さんを選んでよかった。

それでヨコイズムを捨てろと。

いくらでも、「ファミ通」出禁になっても、かまわない。

結論を言えば、日本国内でルドロジーはいらない。

私のモノは20年前のルドロジーで、もっといいのがある。

明治大学は中沢新一さんと中川大地さん、この両中がなんとかやってくれると思うが、パイドロジーをやりたいのと、パイドロジーにしろという圧力の中で何ができるか。

ルドロジーは究極的には、コンバットシミュレーターを作る事になる。物理科学が核開発に向ったように、ウィリー・ビギンボーサム博士からの宿命を背負っている。

日記 『あり思』製作日誌その十六

象さん、パオぞうの角、じゃねえや。

キバを描かなかった。

ジャマなんだよ。

それから打ち切り感を出さないといけない。

コピー版は、ペン入れしたくなかったから、はじめたけど、ロットリングは疲れる、疲れるのを無理に続けると痛くなる。板垣恵介さんは、ペン入れが終わったら、トレーニングを始める、そうしないと疲労物質や痛みが取れないので正しい。

見たらわかるように、クオリティーが低い。描き版みたいな事をやりたかったから、それは仕方ない。

変な事を言うように聞こえるかもしれないが、プランナーはデザイナーでないと、企画が通らない。

これは言っていいのか、結果から逆算すると、そうなる。

デザイナーの書いた企画書じゃないと、内容がわからないらしい。カプコンのソフトはほとんど、デザイナーの企画が採用されていた時代があった。

第一巻で書いた、描いた通り、一枚のスチールからゲームが出来る、とするならそれをちゃんと描く事が重要。

ところが、それを文字でちゃんと書かれている

動詞理論の

無形のデザインではなく 視覚的

絵でわかっちゃったものを選ぶようである。

他のテキストの企画はわからなかったのか、というと、口が裂けても「わからなかった」とは言わない。査定の対象になる。自分に能力が無い事は、サラリーマン社会では言っちゃいけない。

企画段階から決めすぎないというか、

それは上げ底されたプレゼンテーション能力であって、宮本茂がそのゲタを履かされた部分を除いて、核となる部分をきちんと判断しようと、

そこに矛盾がある、宮本さん自体はプロダクトデザイナーなのである。

プレゼンテーションのカバーを外して、中をちゃんと見るのである。カバーさえ良ければいいというわけではない。（いわゆる「同業者は同業者に厳しい」）

見た目主義

というのは、生物の本能的な

動物化するポストモダン

だから、核心をつくことしか基本的に書きたくない。

マンガを描くというのは、自分本来の美学・哲学から、外れているのだが、伝達性を考えて、

私はもう悩まなくていいけれど、はっきり言うと、怖いと思う。

何か成功するためには、女性は美人でなかったり、しないといけない（美貌格差）

ところが、調べてみると、男性の方が顔が良くないといけない、あるパターンだと成功しない（報酬が少ない）という検証もある。『言ってはいけない』で例として、顔の

幅が広いと、陪審員制度下では有罪になりやすい。さらに裁判官が決める量刑も増える。すると生涯賃金も変わってくる。

あんまり言いたくないけど見た目社会で、性的魅力が無いと、なんとなく就職できない、面接で受からないというのが、男女ともにあるみたいだ。

もしかしたら、ハンサムで見た目のいい芸能人が何らかの刑法裁判なった時、量刑が平均より少なくされるといった、検証結果が出るかもしれない。

計量分析ならぬ、刑量分析したら、こういう怖い結果が出るのは、どうやら目に見えているようだ。

そこで、「製作日誌その十」の続き のような話である。

赤毛のアンか、瞳がアメジストのマリアさん、本当にバレエダンサーの才能を持って生まれた娘がだんだん成長とともに、ミディアム・ブロンドで金髪じゃなくなる。

女子フィギュアスケーターと同じく、飛翔力・ジャンプの全盛期も過ぎていき、胸も大きくなり、『荻家の三姉妹』のように胸が大きいから、男性社会で出世するようになるわけじゃない。バレエ界では、プリマにはなれないのである。

バレエを辞めて、ドレッサーとして働くようになって、シルエットに出会い女優業をはじめる。

そして、シルエットと分れる。

メインストーリーがシルエット側の話なら、サブストーリーがマリアさんの物語になる。

彼女はすでに俳優になっている。こういうのは、実在する人物をモデルには、できない。創作のキャラクターになる。

あまり、「これが演技の真髄だ」みたいなことは避けてきた。先入観を与えるから。そもそもそういう地位・立場の人でもない。

もう演劇論では、否定的な見解が多い、メソード演技であるが、その俳優訓練になっている。

感情訓練として体得しようとしている。感情体験を手に入れて、モノにする。たとえ、本当にダンナさんが蒸発しても、もう女優として生きていける。そう女優になってしまったのだ。「影の王子」の針子姫の役を再びする時、シルエットの喪失を再現され、俳優訓練で得た感情で表現する。

それが出来ない人は、元々役者に向かない。

後付で余裕があったら、ガンパレードマーチ的にマリアさんの周回プレイを可能になり、本当にプレ色彩少女である。（ガンパレをやったことがないので、「一秒もプレイしていない」が完成したら参考にプレイしよう思う）

麗しのカラーフルガール。

思い出の白黒に、音楽著作権協会に色をつけてくれよ、である。

印税を多く支払え、という意味ではない。

こうした近代演劇の大与党、スタニースラフスキーシステムのメソード演技であるが、

だいたい反動で回帰する。

しかし、そうした亜流、非スタンダードスキーシステムは今しか観れない。一代限りとか、後進が育たなかったとか、そういう問題が、ところどころ出始める。逆輸入しないといけなくなるとか、ありそうなのだ。

新劇でメソード演技が確立して、能・狂言に回帰が鈴木忠志で、鈴木を観ていたつかこうへいが、大衆演劇に回帰して口立てをして、俳優…昔ながらの言葉で役者たちにセリフを言って、口調を真似させる

セリフを覚え、口調も覚える、発音のイントネーション

「生得言語獲得能力」で、母語獲得するのか、本来人が持っている機能である。外国に行きたがる人は、この能力が優勢に生まれてくるようだ。

「夢芝居」を歌いだす白塗りのダンゴベエか、CMをやっている時にしかわからない、レモン色にして冷蔵庫の中に梅宮辰夫がいる。

「梅沢富美男だろ」

梅宮さん亡くなったから、ロバート秋山さんで

こうした女性が女優になるという話は、ジェンダー問題を如実に表している。
よく女は女を演じているというし、
オカマの人が女性を演じるのも、極端な例としては、出せるだろう。

マリオが姫を救いに行くという、あまり説明が要らない。

なぜいらないかというと、ジェンダーが刷り込まれているから、ストーリーに疑問を挿む余地は無い。（母親がフェミニストでも幼稚園児で兄弟同盟的にジェンダーが刷り込まれ親の影響は漂白されるという話もある。だからお受験をする）

プリンセスエスコートストーリーと高畠勲は宮崎アニメを評したけど、『カリオストロの城』はどうも、そのジェンダー的には法則のようなモノに則している。

それで観客が魔法に掛けられているというか、

ルパンに動機が無くても、ジェンダーで説明がつくというか、かわいいクラリスを助けたいということで、納得していて、映画を観ている最中は気づかない。

偽札の原版は、偽札を捨てたからいらないので、カリオストロ城に浸入しなくていい。何が彼をそうさせるのか、説明は

花嫁衣裳のクラリスが

自己弁護を試みると、これはテキスト量を減らすためであった。

守旧的既存のジェンダー文化に依存せざるをえない時代があった。ジェンダーに頼れば、説明をしなくていいのである。

『プリンセスメーカー』を作った岡田斗司夫は、文化的背景が守護霊のように決める、と語っている。

作品評価を守護霊に決められている。

守護霊に物語の補完をされている。

北朝鮮の軍事パレードは、北朝鮮国内の人民にはガッツポーズだけど、日本に住む人々には「笑い」がこみ上げてくるみたいなことを、語っている。（出展『東大オタク学講座』）

その教材のひとつに、ケモちゃんと 731 があり、

それなら、改造マリオではないけれど、1Mビット以内で、ちゃんと女性の権利が保たれている、ゲームソフトを作ってほしい。開発して、自分の子供達にプレゼントすべき、と考える

実際、童話効果とされる事をやって子供を教化する
シンデレラ・コンプレックスの刷り込みを応用した、
シンデレラの刷り込み返し、呪い返し

具体的には、精子バンクで購入して、子供を得る女性は、生まれてきた子供に絵本を読ませるのである。危ない。

これはけっこう危険な事で、
今、そういう技法を受けて絵本を読まされた人を
後追い取材・追跡調査をしてほしい。

今までのお姫様物語のカウンターとしてジェンダー童話「クレバープリンセス」を作るような事。大衆の人気は得られないかもしれないが、小さなグループ間で貸し借りして、遊ばせればいいと思う。

テレビゲームが嫌いだから、ジェンダー問題を橋頭堡にして攻めるのではなく、自分たちの子供に良いゲームとは何か、教える。副次的にジェンダー教育になるし、それが正しい気がする。

そうすると、自然にテレビゲームに関心を示さなくなる。『もっと言ってはいけない』にあるように、子供は親の言う事を聞かない。（だからお受験をさせて兄弟同盟の汚染から逃れさせようとするが学習院でも）

このゲームを面白いよという、薦めはやがて、ゲームというジャンルを卒業する切っ掛けとなるだろう。親が読んでくれた絵本を読まなくなるような、

ジェンダーマリオは結局ゲーム依存者を減らす効用があるかもしれない。

改造マリオの一種、

裏返せば、自分のジェンダーを肯定する事に商品価値を見出し、自然にお金を払っている。だから、少年のジェンダーを肯定するジャンパイズムにはいずれ卒業しなくていけない。ビジネスとしては、やれるけど、それはテキスト量を減らすという、どうしてもやらざるを得なかった事である。

ジャンパイズムも

童話効果のインプリンティングの一種で

マインドコントロールを解除するように、

少年と言うジェンダーの刷り込みは、けしていいものじゃない。

Reフォオ・クローバー

著者 ゴトチヒ

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
